

令和4年度 第2回 豊中市まち・ひと・しごと創生総合戦略委員会

【日時】令和4年（2022年）7月12日（火）18時～20時

【場所】ZoomによるWEB会議または豊中市役所 第一庁舎4階 第1会議室

次 第

1. 総合戦略の進捗状況の検証の諮問について
2. 昨年度の振り返り
3. 総合戦略の進捗状況の検証について
4. 令和3年度地方創生関係交付金に係る事業報告について

5. その他

<今後の日程>

【第3回の日程】

令和4年8月22日(月)18時～20時

ZoomによるWEB会議または豊中市役所 第一庁舎4階 第1会議室

<資料>

【資料1】令和3年度豊中市まち・ひと・しごと創生総合戦略委員会審議結果について

【資料2】第2期総合戦略のKGIとKPIの進捗状況について

【資料3】転出入アンケートについて

【資料4】令和3年度地方創生推進交付金に係る事業報告について

【参考1】第2期豊中市まち・ひと・しごと創生総合戦略

【参考2】人口に関する他市比較

【参考3】転出入アンケート質問用紙

【参考4】改訂版 転出入アンケート質問用紙

II. 審議結果

1. 第2期豊中市まち・ひと・しごと創生総合戦略の進捗状況について

KGI^{※1}として設定している推計人口や年少人口の割合などが目標に対して順調に推移していることや、基本目標に設定されている社会増加数などのKPI^{※2}の実績値から、コロナ禍にあっても、目標達成に向け概ね順調に進んでいるものと判断できる。ただし、新型コロナウイルス感染症は市内経済や子育て環境等に大きな影響を与えており、さらなる長期化、深刻化も予想されることから、今後の状況に十分に留意して計画を推進していくことが必要である。

当市の人口増加の要因については、転入超過による社会増によるところが大きい。その社会増の要因分析については、これまでの委員会での指摘をふまえて、昨年度より転出入の手続きをされる方を対象に「転出入に関するアンケート」を実施されている。このアンケートによると、転入される方の多くは、市内の親族・知人等から情報を入手し当市を選んでいる。一方、転出される方については、豊中市に満足し、機会があればもう一度住みたいと回答している方が多い。このことから、市民満足度を高めることが転入増に繋がる可能性が高いと考えられる。このように、本アンケートのデータを分析することで今後の施策立案にも有効活用できることから、より多くの人に回答してもらいやすい方法を検討し、継続的に実施していただきたい。また、要因分析の精度を高めるために、回答者の負担にならない範囲で、転出入理由の詳細や居住年数を質問に追加するなどの工夫も検討されたい。

現在、当市の人口は増加傾向にあるが、将来的に人口が減少に転じることを考慮に入れると、地域と継続的に多様な形でかかわる関係人口は地方創生における地域の活性化のために重要な要因の一つとなる。そのため、関係人口の中でも、特に市外に在住しながらも本市に強い関心を持ち積極的に関わろうとする人たちを把握し、その人たちと連携して地域の活性化に資する取組みにつなげられるよう検討されたい。

今後も新型コロナウイルス感染症の影響を注視しながら、第2期豊中市総合戦略に掲げる基本目標の達成に向けて、人口増減についての要因分析と施策の検討を進められたい。

※1：重要目標達成指標（Key Goal Indicator）のこと。組織の最終目標が達成されているかを計測するための指標をさす。第2期豊中市総合戦略においては、推計人口、年少人口の割合、生産年齢人口の割合を設定。

※2：重要業績評価指標（Key Performance Indicators）のこと。組織の目標を達成するための重要な業績評価の指標を意味し、達成状況を定点観測することで、目標達成に向けた組織のパフォーマンスの動向を把握できる。第2期豊中市総合戦略においては、社会増加数、就業率（対象：15～49歳）、合計特殊出生率等を設定。

2. 令和2年度地方創生関係交付金に係る事業報告について

地方創生推進交付金を活用して令和元年度(2019年度)より実施している「働き方改革実現のための就労困難者と地域企業をつなぐ、地域の人材雇用促進・企業活性化ステップアップ事業」は、コロナ禍においても新たに職場体験・職業訓練事業受入れ企業の開拓のK P I を達成しており、新たな事業の取組みが進んでいる。また就労困難者が抱える課題に対応した就労支援プログラムなどの講座を引き続き実施することで、就職者数などのK P I を達成することで、コロナ禍でも一定の効果があつたものと判断できる。

新型コロナウイルス感染症の影響で経営状況が非常に厳しい企業がある一方で、人材不足が課題となっている企業もあることから、今後も引き続き、本事業を広く周知し、協力してくれる企業を増やす取組みを続けることで、就労希望者と地域企業とのマッチングを進められたい。

第2期総合戦略のKGIとKPIの進捗状況について

資料2

1. KGI(重要目標達成指標)

項目	第2期総合戦略策定時(H31)	令和2年度	令和3年度	令和4年度	目標 (短期・令和4年)	目標 (長期・令和22年)	指標の説明	出典
(1) 推計人口	398,479人	400,737人	400,955人	399,965人	40万人	38万人	各年の4月1日現在の推計人口	大阪府推計人口
(2) 年少人口の割合	13.7%	13.7%	13.6%	13.5%	13.6%	12.4%	各年の4月1日現在の0歳から14歳までの推計人口に占める割合	大阪府推計人口
(3) 生産年齢人口の割合	60.7%	60.6%	60.6%	60.7%	60.2%	56.6%	各年の4月1日現在の15歳から64歳までの推計人口に占める割合	大阪府推計人口

2. KPI(重要業績評価指標)

基本目標(1) “住みたい”“訪れたい”魅力あふれるまち とよなか

項目	第2期総合戦略策定時(H31)	令和2年度	令和3年度	令和4年度	目標 (令和4年)	指標の説明	出典	
①住み続けたいと感じている市民の割合 (対象：18～49歳の市民)	83.3%	—	84.8%	—	85%	市民8,000人を対象に2年に1度実施	市民意識調査	
【参考】住み続けたいと感じている市民の割合(全年齢)	85.0%	—	86.5%	—	—			
②社会増加数	865人	1325人	314人		3年間で3000人増加	各年の1月～12月までの転入数－転出数	豊中市統計書	
③市内の各駅乗降客数(1日平均)	411,610人 (平成29年度)	420,577人 (令和元年度)	320,569人 (令和2年度)		維持	阪急電鉄(1日平均人数)＋北大阪急行電鉄(年1回実施している調査日1日の人数)＋大阪モノレール(1日平均人数) ※実績値は1年遅れ	豊中市統計書	
④【参考】関係人口	964件 (R1.12.31現在)	2,055件	4,765件		—	ふるさと納税等の豊中市外からの寄附の件数	担当課調査	
(補足指標)	・市内の交通空白地	0.02km ²	0.02km ²	0km ²		—	電車の駅から半径1キロ及びバス停から半径500メートル以外の地域	担当課調査(公共交通改善計画に基づく算出)
	・滞在人口率 (平日と休日、昼間と夜間の比較)	平日 昼間:0.86倍 夜間:0.94倍 休日 昼間:0.89倍 夜間:0.95倍 (令和2年1月)	平日 昼間:0.93倍 夜間:0.99倍 休日 昼間:0.98倍 夜間:1.00倍 (令和2年4月)	平日 昼間:0.89倍 夜間:0.98倍 休日 昼間:0.94倍 夜間:1.00倍 (令和3年4月)		—	スマートフォンアプリ利用者の位置情報により、午前4時時点で滞在している自治体を出発地として2時間以上特定の地域に留まった場合を「滞在」としてカウント。昼間は14時、夜間は20時とする	RESAS

基本目標(2) 働く場をつくるまち とよなか

項目		第2期総合戦略 策定時(H31)	令和2年度	令和3年度	令和4年度	目標 (令和4年)	指標の説明	出典
①	就業率(対象:15~49歳)	62.1% (平成27年)	—	58.8% (令和2年)	—	維持	就業者数÷総人口	国勢調査
	【参考】就業率	51.6% (平成27年)	—	49.8% (令和2年)	—	—		
②	市内事業所数	13,044事業所 (平成28年)	—	13,237事業所 (令和3年度速報値)	—	維持	—	経済センサス 活動調査
③	市内事業所の従業員数	127,496人 (平成28年)	—	140,122人 (令和3年度速報値)	—	維持	—	経済センサス 活動調査
④	開業率	5.60% (平成28年度)	—	—	—	7.50%	[新設事業所数÷経済センサスの調査期間(36ヵ月)×12ヵ月] ÷期初の事業所数	経済センサス 活動調査
⑤	廃業率	8.67% (平成28年度)	—	—	—	開業率を 下回る	[廃業事業所数÷経済センサスの調査期間(36ヵ月)×12ヵ月] ÷期初の事業所数	経済センサス 活動調査
(補足指標)	・くらし再建パーソナルサポートセンターの新規相談件数	1,445件	6,828件	3,735件	—	—	就労に関することや、失業等によってくらしに不安を感じている市民の相談件数	担当課調査
	・(追加案)緊急小口資金貸付件数(コロナ特例含む)	25件	3,649件	1,535件	—	—	生活が安定するまでのつなぎの小口資金の貸付件数	豊中市社会福祉協議会 の事業報告書
	・セーフティネット保証制度認定件数(4号5号)	156件	540件	320件	—	—	経営の安定に支障を生じている中小企業等に対する融資限度枠の別枠化(4号:突発的災害、5号:業況の悪化している業種(全国的))の件数	担当課調査

基本目標(3) 地域でつながり支え合うまち とよなか

項目		第2期総合戦略 策定時(H31)	令和2年度	令和3年度	令和4年度	目標 (令和4年)	指標の説明	出典
①	誰もが安全に安心して暮らせる環境が整っているまちだと思ふ理由として、地域住民同士が支えあう環境があるからと答えた市民の割合(対象:15~49歳)	20.7%	—	18.5%	—	23.0%	市民8,000人を対象に2年に1度実施	市民意識調査
	【参考】地域住民同士が支えあう環境があるからと答えた市民の割合(全年齢)	21.9%	—	20.9%	—	—		
②	校区単位自主防災組織の組織率	65.8%	70.7%	73.2%	—	73.0%	小学校区単位(41校)	担当課調査
③	地域自治組織の数	7団体	8団体	8団体	—	15団体	小学校区単位(41校)	担当課調査
④	CSW(コミュニティソーシャルワーカー)相談支援件数	1,048件	1,000件	811件	—	1,080件	—	豊中市社会福祉協議会 報告書
⑤	とよなか地域創生塾卒業後の活動者数	29人	43人	54人	—	増加	—	担当課調査
(補足指標)	・「地域のみんで見守る」OTTADE!見守りアプリを入れている人の数	—	—	—	—	—	アプリをインストールしたスマートフォンを持つ人やタクシーなどが見守りスポットとして機能する	担当課調査
	・(代替案)「地域のみんで見守る」OTTADE!アプリによる見守りカバー率	—	19.5%	100%	—	—	[導入校区数÷41校区](※)「地域のみんで見守る」OTTADE! ・・・基地局や、アプリをインストールしたスマートフォンを持つ人やタクシーの近くを児童が通ること、位置情報が保護者等に通知されるサービス	担当課調査
	・コロナ総合相談窓口の相談件数	—	408件	730件	—	—	新型コロナウイルス感染症に関する市民の不安を解消するための総合相談窓口の相談件数	担当課調査

基本目標(4) 安心して産み育てられるまち とよなか

項目		第2期総合戦略 策定時(H31)	令和2年度	令和3年度	令和4年度	目標 (令和4年)	指標の説明	出典
①自然増加数		▲246人	▲393人	▲908人		増加に転じる	各年の1月～12月までの出生数－死亡数	豊中市統計書
②子育てがしやすいまちであると感じている市民の割合 (対象：18歳以下の子どもがいる、18～49歳の市民)		62.2%	—	68.1%	—	65.0%	市民8,000人を対象に2年に1度実施	市民意識調査
【参考】子育てがしやすいまちであると感じている市民の割合 (全年齢)		43.2%	—	48.60%	—	—		
③合計特殊出生率		1.52 (平成30年度)	1.45 (令和元年度)	1.47 (令和2年度)		上昇	一人の女性が15歳から49歳までに産む子供の数の平均 ※実績値は1年遅れ	担当課調査
④待機児童数		0人	0人	0人	0人	維持	各年4月1日の保育所等の待機児童数 (国基準に基づく)	担当課調査
⑤妊娠出産について満足している者の割合		78.2%	77.2%	79.40%		80.0%	「産後、退院してからの1か月程度、助産師や保健師等から指導、ケアは十分に受けることができた」人の割合	担当課調査
⑥子育て応援団登録数		185団体	200団体	212団体		220団体	授乳スペース、子ども向け食事メニュー、親子サークル等のサービス提供に協力いただいている登録団体数	担当課調査
(補足指標)	・ 宿泊型及びデイサービス型産後ケア事業の利用者数	42組	74組	117組		—	退院直後の母子に対して実施する心身のケアや育児のサポート等の産後ケア事業利用者数	担当課調査
	・ 訪問指導件数 (支援が必要な人への家庭訪問)	5641件	5661件	5156件		—	保健師、助産師等が訪問して行う相談や指導の件数	担当課調査

基本目標(5) 子どもが育ち・学び、社会で活躍するまち とよなか

項目		第2期総合戦略 策定時(H31)	令和2年度	令和3年度	令和4年度	目標 (令和4年)	指標の説明	出典
①保育・教育環境が充実していると感じる市民の割合(18歳以下の子どもがいる、18~49歳の市民)		52.6%	—	60.3%	—	55.0%	市民8,000人を対象に2年に1度実施	市民意識調査
【参考】保育・教育環境が充実していると感じている市民の割合(全年齢)		40.8%	—	46.5%	—	—		
②地域や社会をよくするために何をすべきか考えることがあると答えた児童・生徒の割合(「当てはまる」と答えた児童生徒の割合)		小学校:17.5% 中学校:11.5%	— (コロナのため未実施)	—	—	増加	R1の調査では「当てはまる」のみ集計していたものをR3では「当てはまる」「どちらかといえば当てはまる」を合算し集計しており、集計方法が異なる。 ※令和3年度 全国学力・学習状況調査 全国(小学校:52.4%、中学校:43.8%) 大阪府(小学校:48.6%、中学校:39.6%)	全国学力・学習状況調査
【参考】地域や社会をよくするために何をすべきか考えることがあると答えた児童・生徒の割合(「当てはまる」、「どちらかといえば当てはまる」と答えた児童生徒の割合)		小学校:50.5% 中学校:36.0%	—	小学校:52.0% 中学校:38.9%	—	—		
③若者就業率(対象:15~34歳)		51.3% (平成27年)	—	49.8% (令和2年)	—	維持	就業者数(15~34歳)÷人口(15~34歳)	令和2年国勢調査
(補足指標)	・とよなかつこラインの相談件数	—	154件	308件	—	—	18歳未満の子どもが友達や家族関係についての悩み等をLINEで相談できるサービスの相談件数	担当課調査
	・これまでに受けた授業で、コンピュータなどのICT機器を週1回以上使用した	—	(未実施)	小学校:41.5% 中学校:31.6%	—	—	※令和3年度全国学力・学習状況調査 全国(小学校:40.1%、中学校:33.4%) 大阪府(小学校:41.6%、中学校:33.9%)	全国学力・学習状況調査

○全体に係る補足指標(デジタルガバメント戦略:新たな生活様式に対応)

項目		第2期総合戦略 策定時(H31)	令和2年度	令和3年度	令和4年度	目標 (令和4年)	指標の説明	出典
・オンライン申請・決済等公共施設予約 手続き実施率						—	—	担当課調査
・(代替案)オンライン申請 対応率		4.0%	20.7%	50.30%		—	オンライン申請に対応している手続き数÷総手続き数(法的理由等によりオンライン対応できない手続きを除く)	担当課調査
・オンライン相談・面談 対応率			1件			—	—	担当課調査
・キャッシュレス 手続き実施率						—	—	担当課調査
・(代替案)窓口でのキャッシュレス決済 対応率		0% (R2.2時点)	17.3%	100%		—	キャッシュレス決済に対応している窓口数÷決済のある窓口数	担当課調査
・(代替案)高齢者施設等におけるタブレット端末によるオンライン面会実施回数		—	1,043回 (13施設)	1,873回 (6施設)		—	タブレット端末を施設に貸出すことで、施設利用者と家族が互いに顔を見ながらのオンライン面談が可能になる	担当課調査

令和4年度 転出入アンケート（報告）

<目的>

転入・転出のタイミングで、転入・転出のきっかけやまちの魅力を聞くことにより、豊中市が選ばれている（他市を選んだ）理由を把握し、社会増減の要因分析に役立てる。

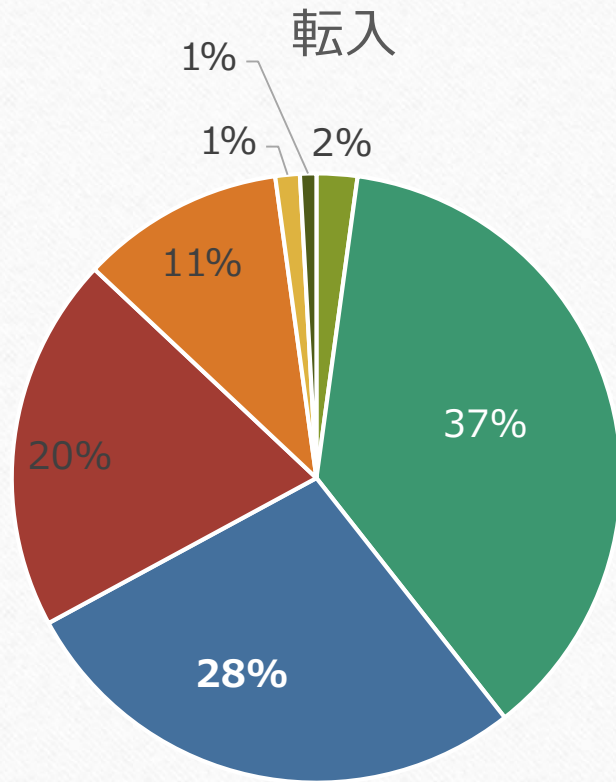
<概要>

- ・ 期 間：令和3年（2021年）4月～令和4年（2022年）3月31日 ※継続実施中
- ・ 対 象 者：市民課、庄内出張所、新千里出張所に転入届、転出届を出した人（任意）
- ・ 回答者数：転入 232人 転出 259人
- ・ 回 答 率：約2%
(※令和3年（2021年）4月～令和4年（2022年）3月の回答数／住民基本台帳の移動世帯数)
- ・ 質問内容：別紙のとおり
- ・ 回答形式：QRコードをスマートフォンで読み取り、豊中市電子申込システムから回答

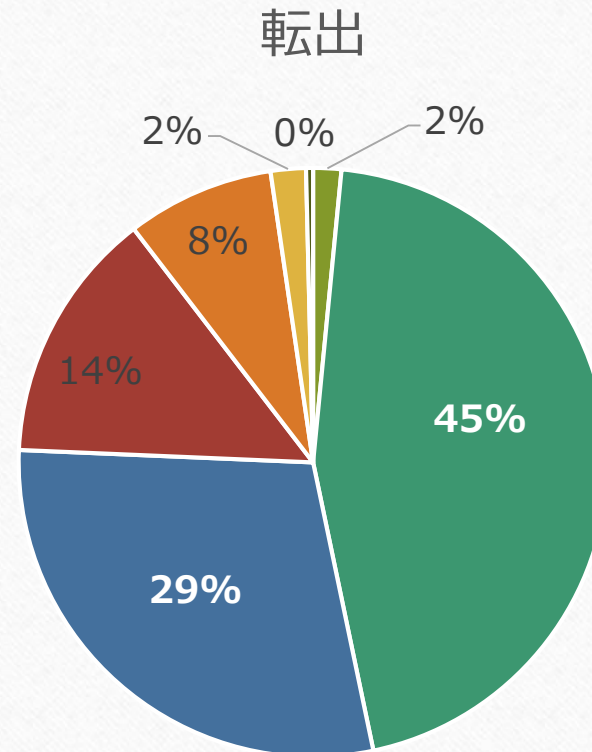
昨年度の振り返り

- 件数がさらに蓄積したら地域別、属性別のクロス集計など分析を行い、さらに転出入の要因分析を進める。
- 今回の結果を受け、アンケートの設問を要因分析しやすいものにする。

転入・転出 基本属性



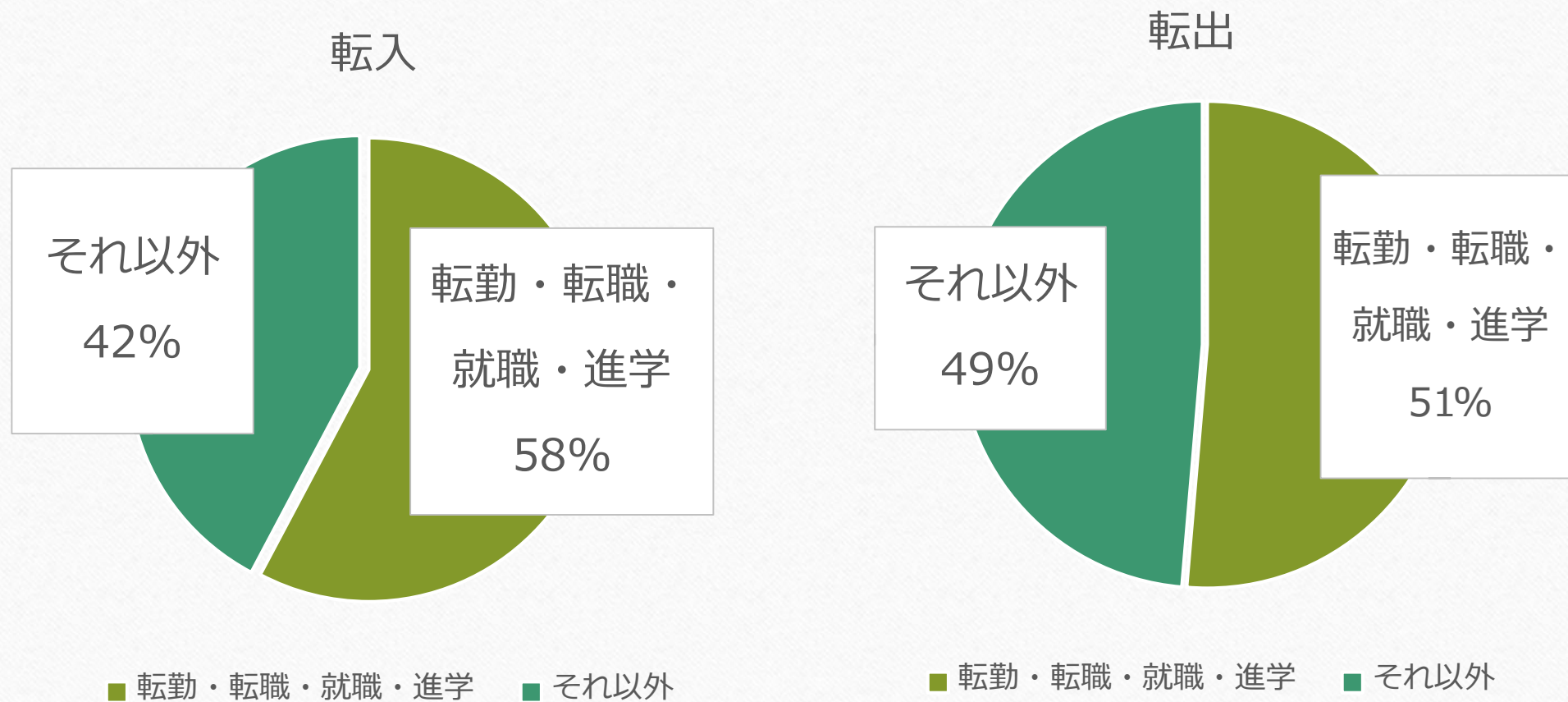
■ 10歳代 ■ 20歳代 ■ 30歳代 ■ 40歳代
■ 50歳代 ■ 60歳代 ■ 70歳代



■ 10歳代 ■ 20歳代 ■ 30歳代 ■ 40歳代
■ 50歳代 ■ 60歳代 ■ 70歳代

回答者の7割が20代・30代。

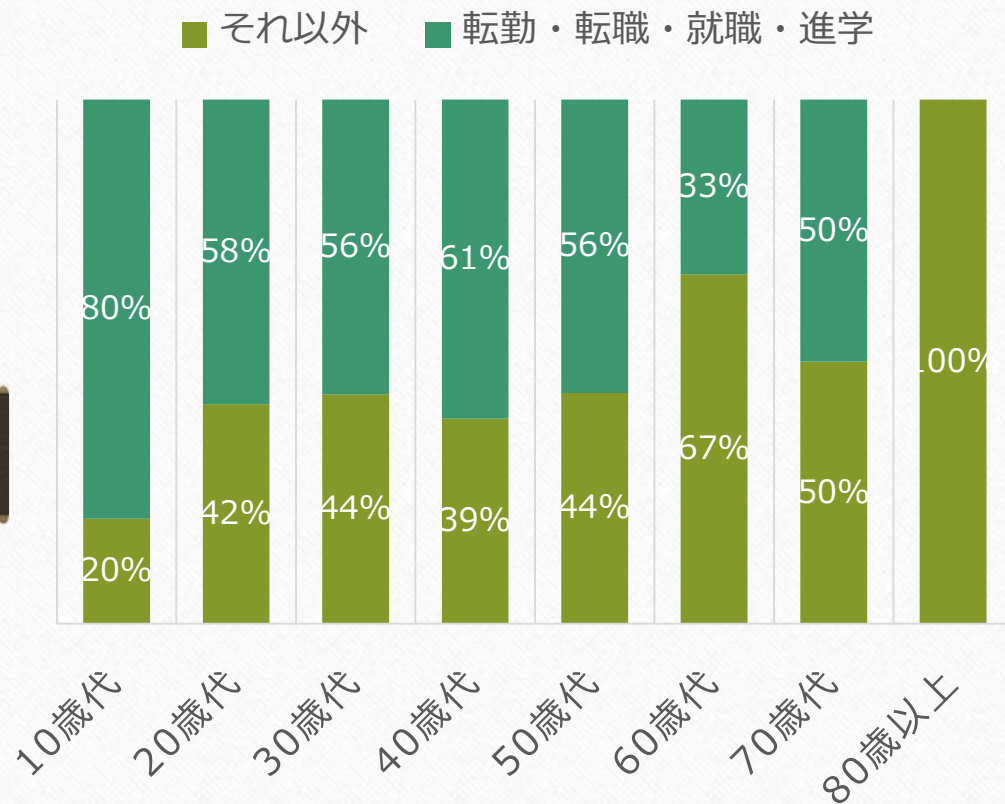
転入・転出 きっかけ



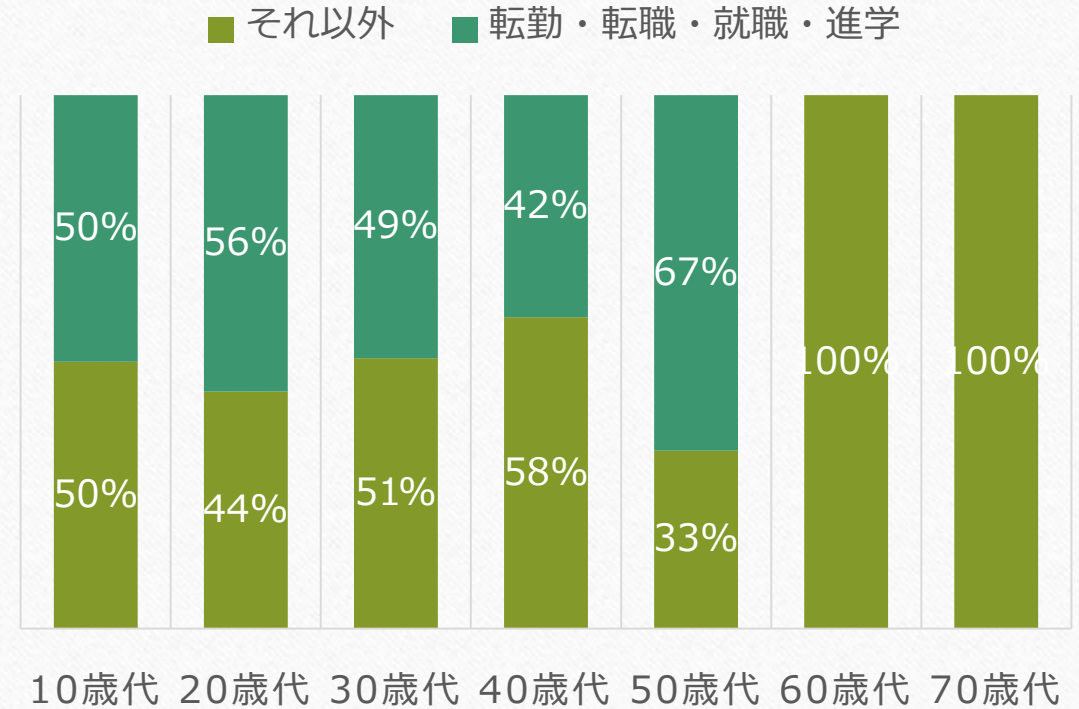
転入・転出ともに、転勤・転職・就職・進学が半数以上を占める。

転入・転出 年代別のきっかけ

転入のきっかけ



転出のきっかけ

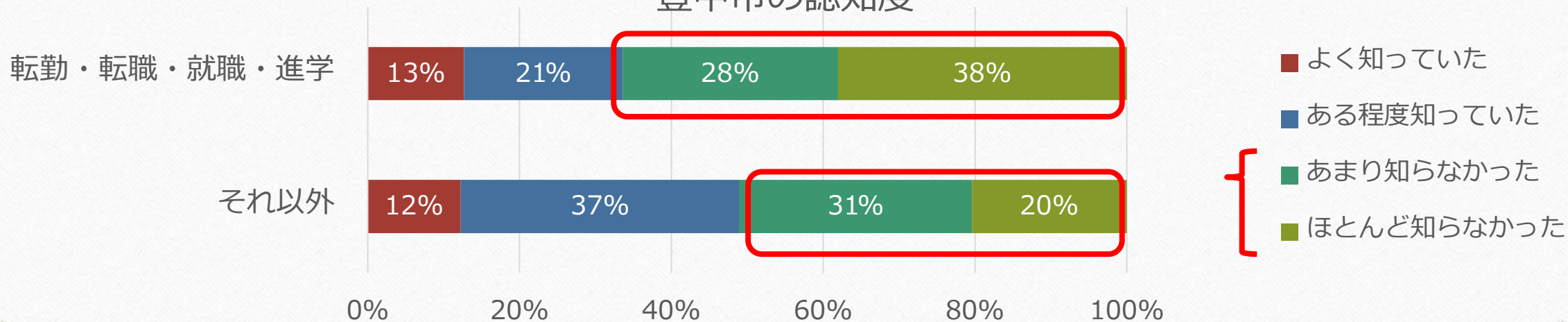


転入の場合、10～50代では転勤等による移動が半数以上を占める。

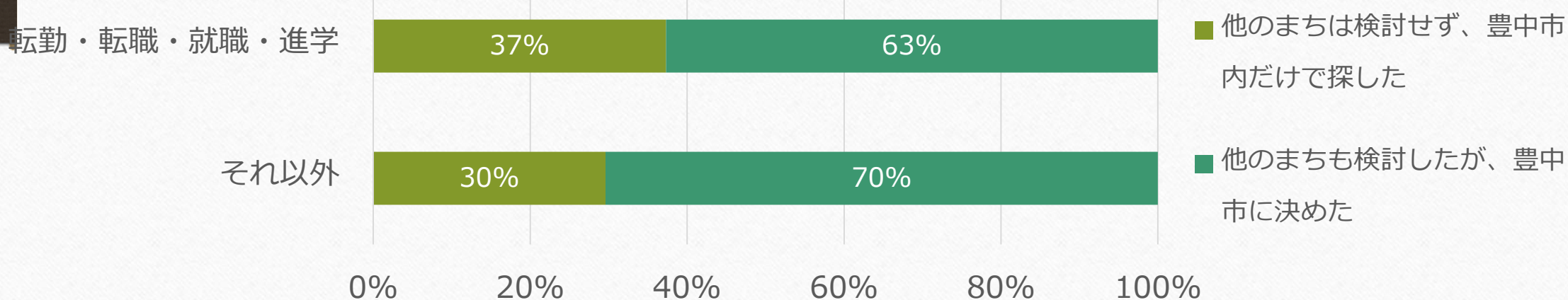
転出の場合、10～20代、50代では転勤等の理由が半数以上を占めるが、30代～40代、60代以上ではそれ以外の理由が半数以上を占める。

転入 認知度と他市との検討

豊中市の認知度



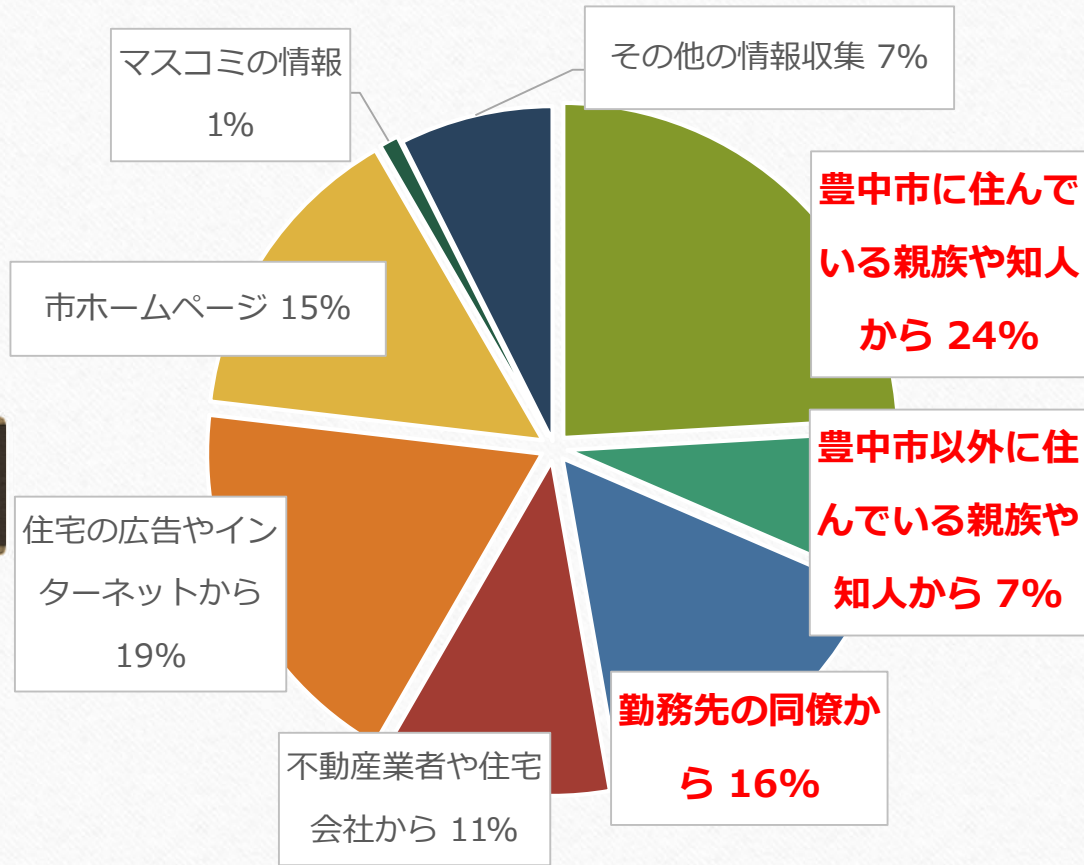
他市との検討について



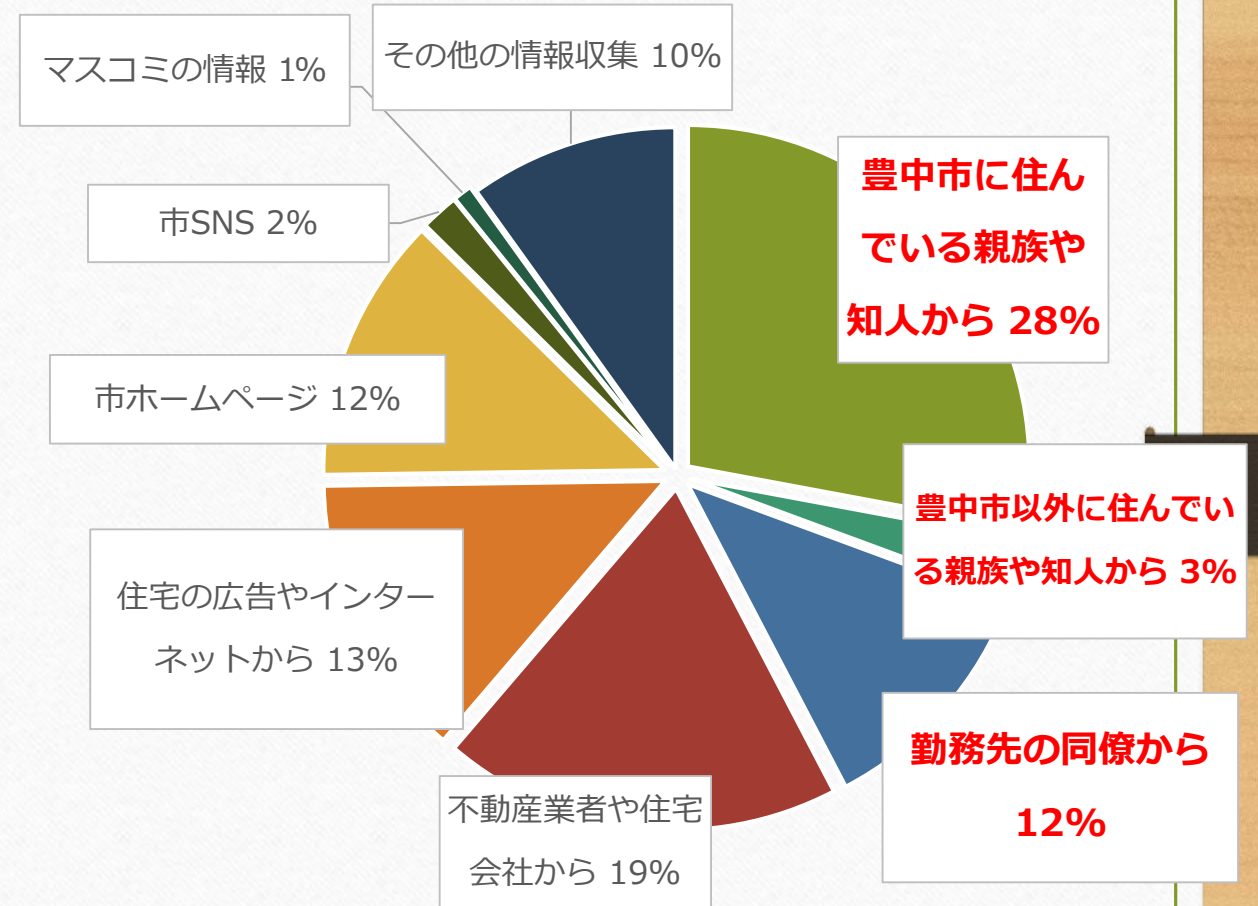
転勤等では約7割の人が、豊中市のことをあまり知らない状態で転入。
転勤等・それ以外のどちらも、他市と検討して豊中市を選んだ人が多数。

転入にあたって 情報収集

転勤・転職・就職・進学

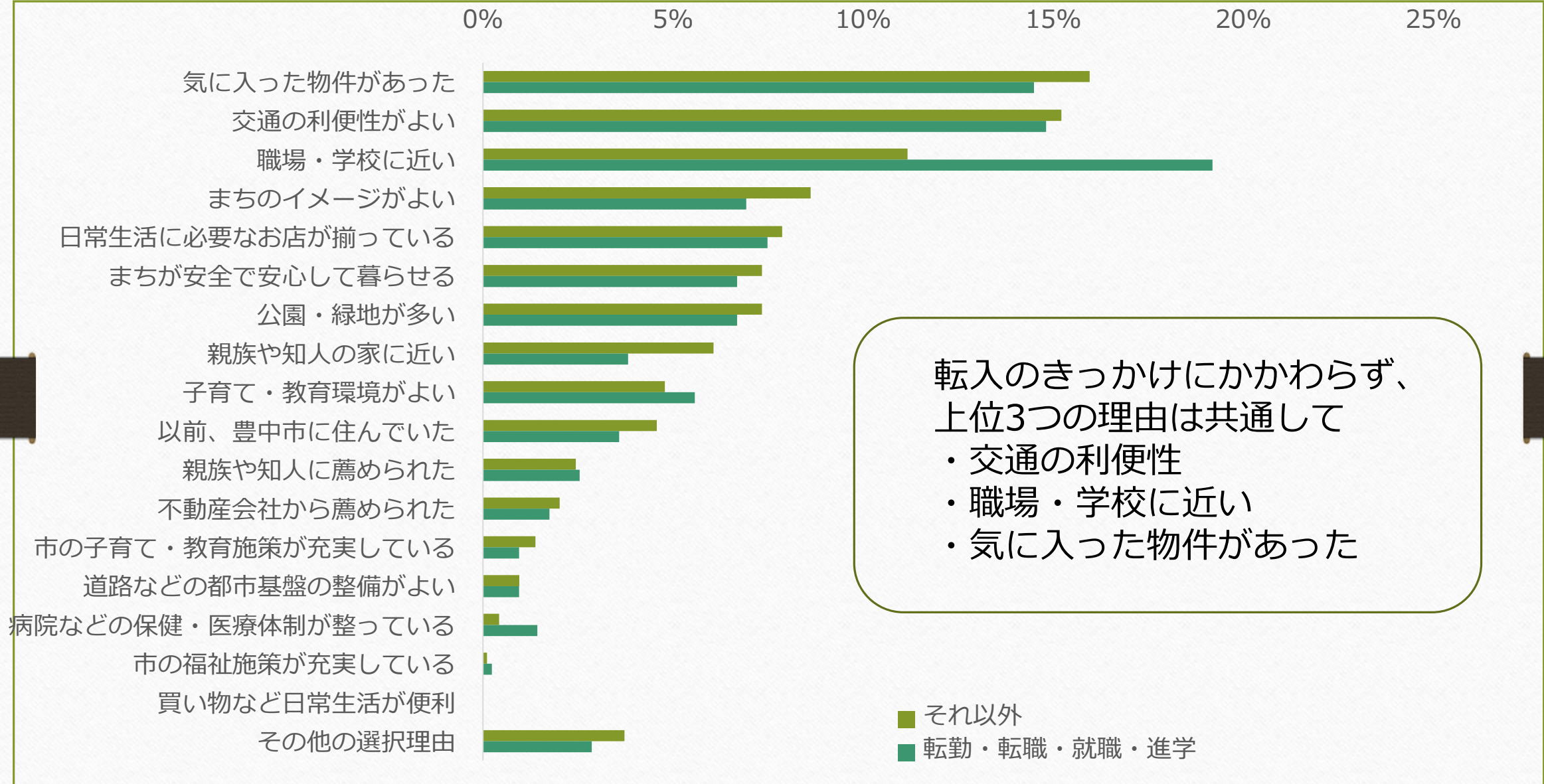


それ以外



どちらも、知人や同僚等からの口コミで転入した人が4割以上。

転入 豊中市を選んだ理由

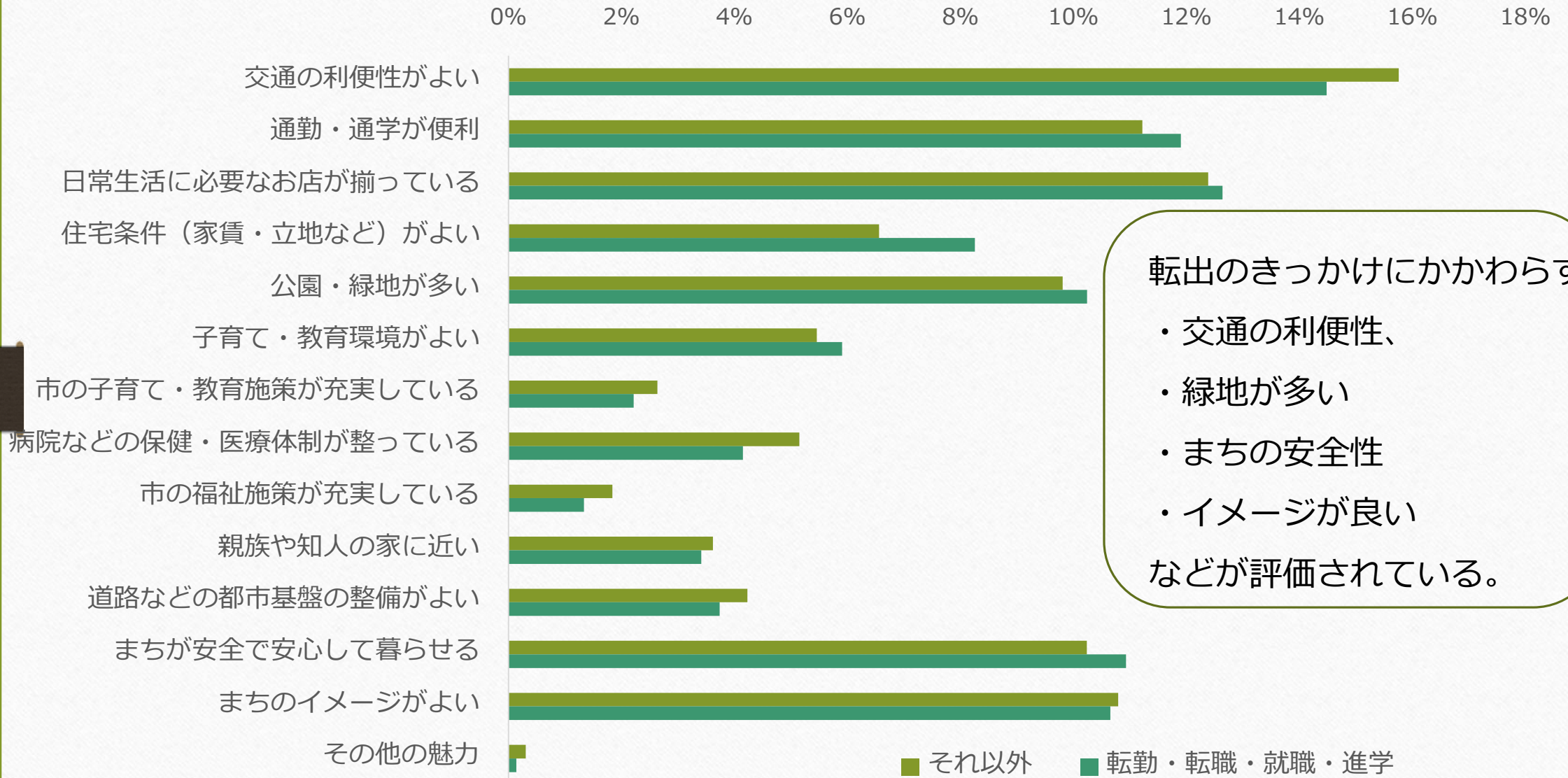


転入のきっかけにかかわらず、
上位3つの理由は共通して

- ・交通の利便性
- ・職場・学校に近い
- ・気に入った物件があった

■ それ以外
■ 転勤・転職・就職・進学

転出者 豊中市の魅力

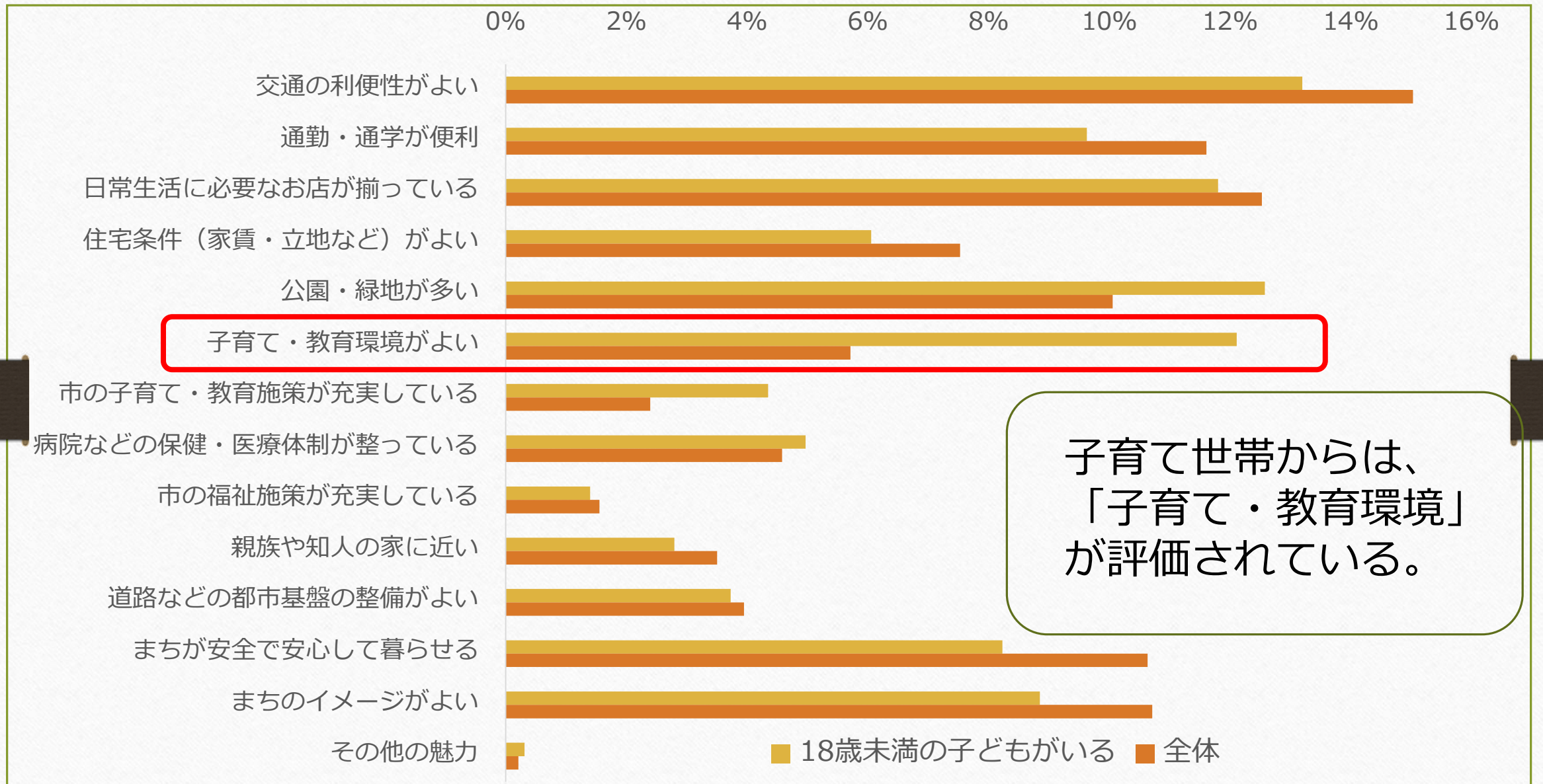


転出のきっかけにかかわらず、

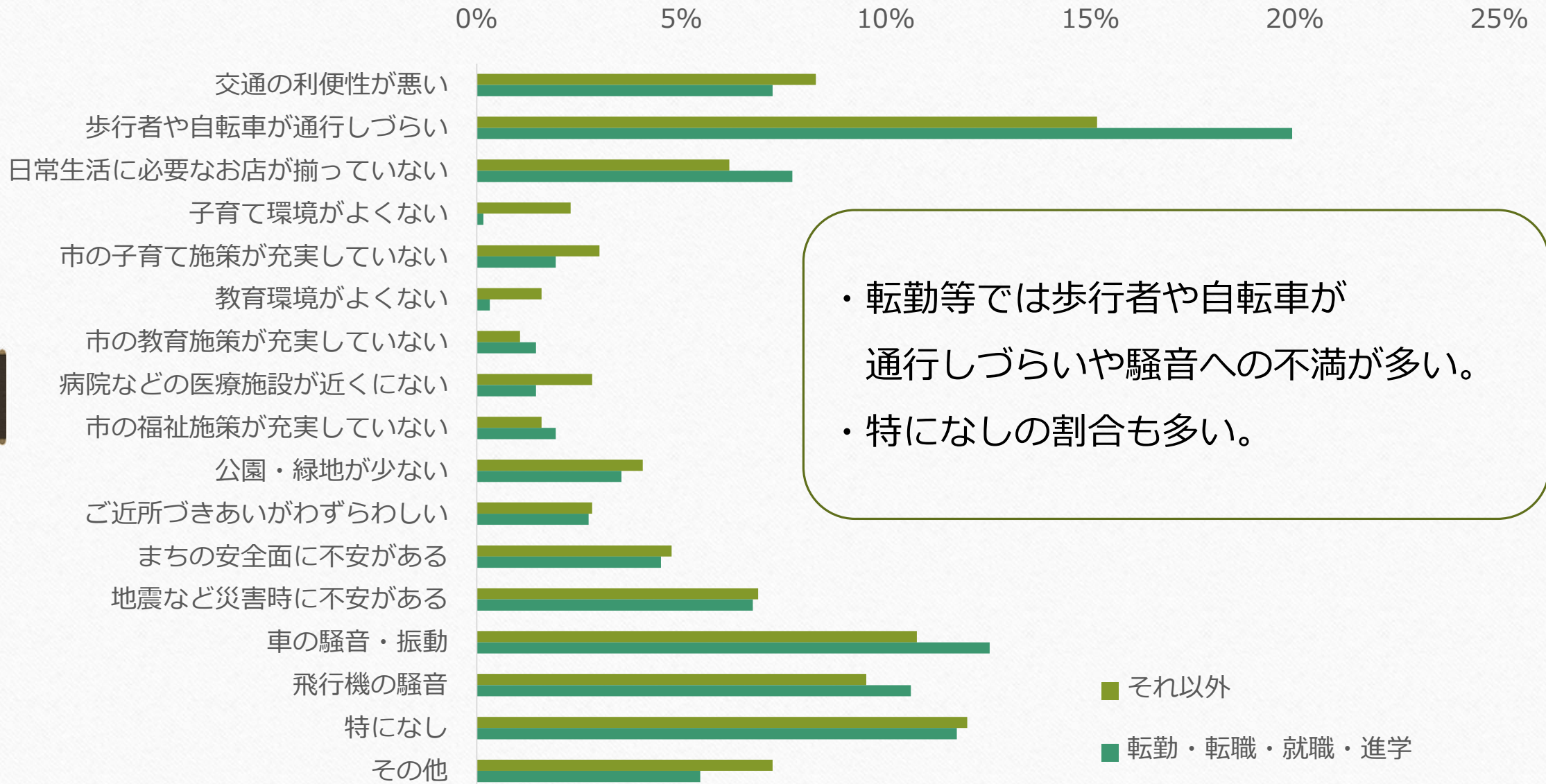
- ・ 交通の利便性、
- ・ 緑地が多い
- ・ まちの安全性
- ・ イメージが良い

などが評価されている。

転出者 豊中市の魅力 ※18歳未満の子どもがいると答えた人と全体の比較



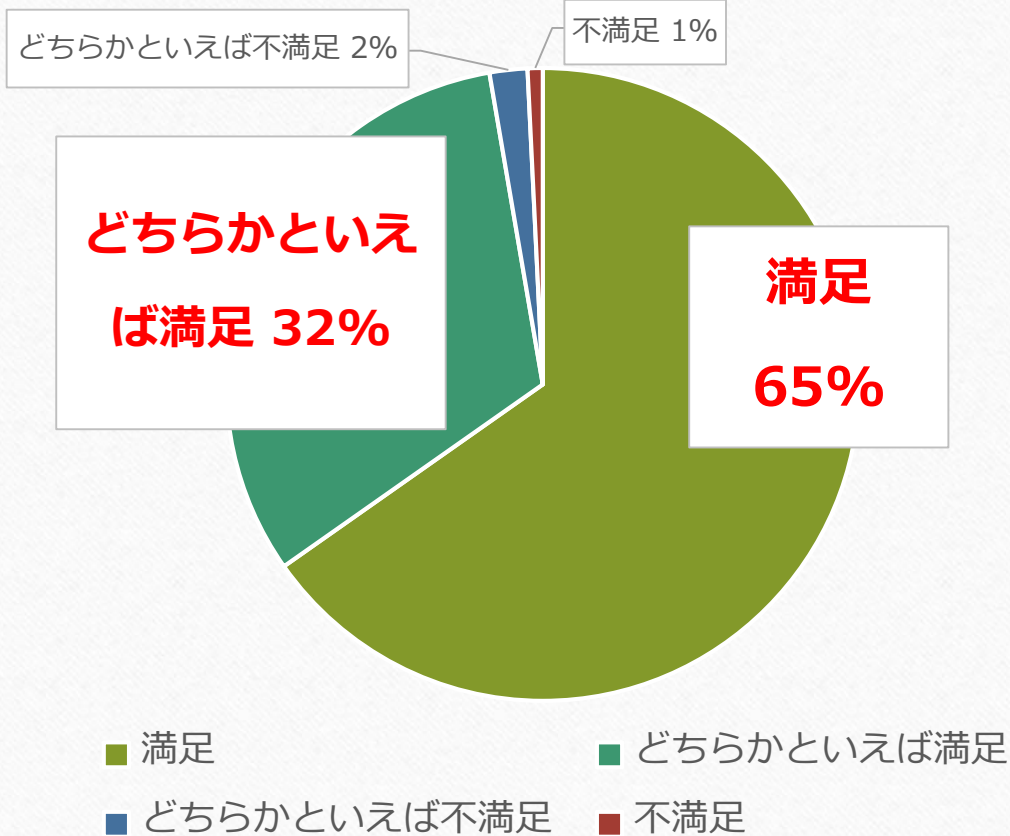
転出者 豊中市の不満点



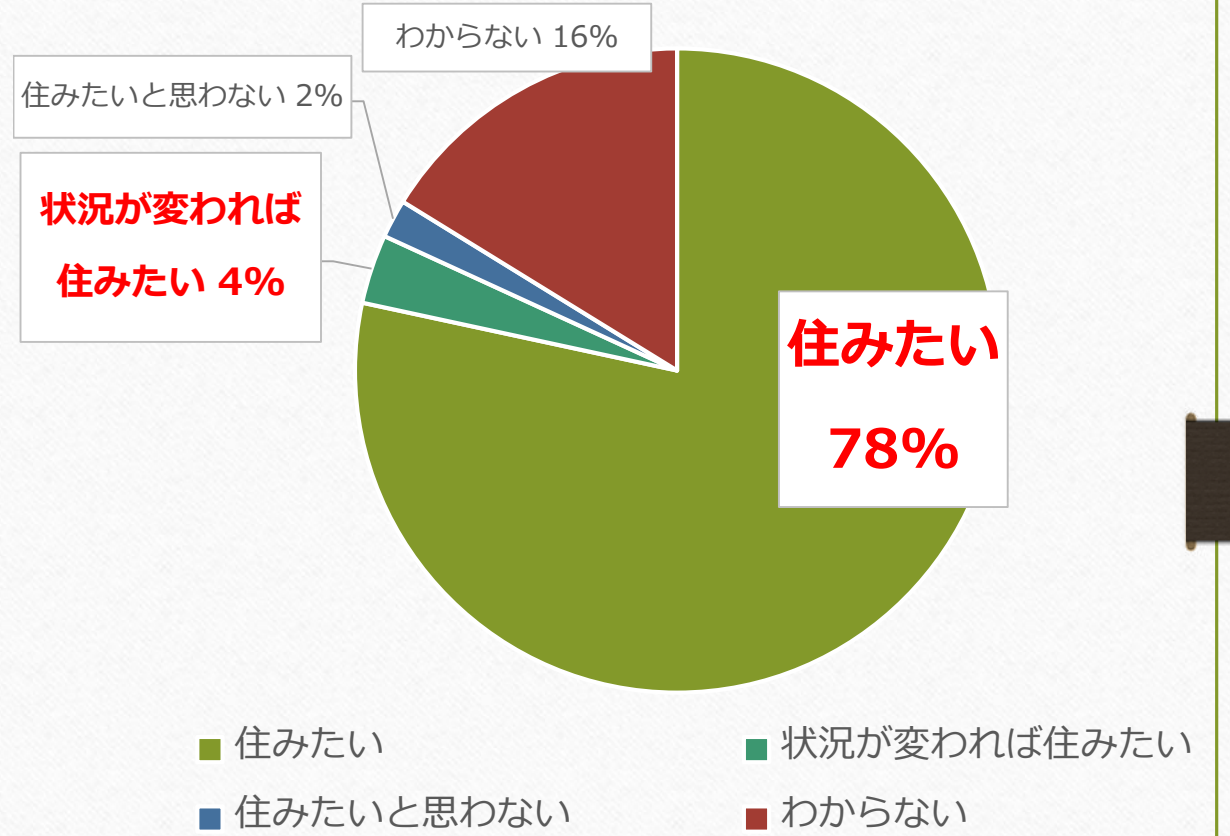
・ 転勤等では歩行者や自転車が通行しづらいや騒音への不満が多い。
 ・ 特になしの割合も多い。

転出者 満足度

豊中市の満足度



また豊中に住みたいか



9割の人が満足、どちらかといえ
ば満足と回答。
8割の人がまた住みたいと回答。

地域別集計

- ・ 期間 : 令和2年(2020年)9月~令和4年(2022年)3月31日 ※継続実施中
- ・ 回答者数 : 転入 803人 転出 862人
- ・ 回答率 : 約7%

(※令和3年(2021年)4月~令和4年(2022年)3月の回答数/住民基本台帳の移動世帯数)

地域別※ 転入・転出のきっかけ

※豊中市都市計画マスタープランに基づく地域区分

<転入>

	それ以外	転勤・転職・就職・進学
北部	30%	70%
北東部	44%	56%
中北部	36%	64%
中部	41%	59%
東部	50%	50%
西部	35%	65%
南部	50%	50%
無回答	38%	62%
総計	41%	59%

<転出>

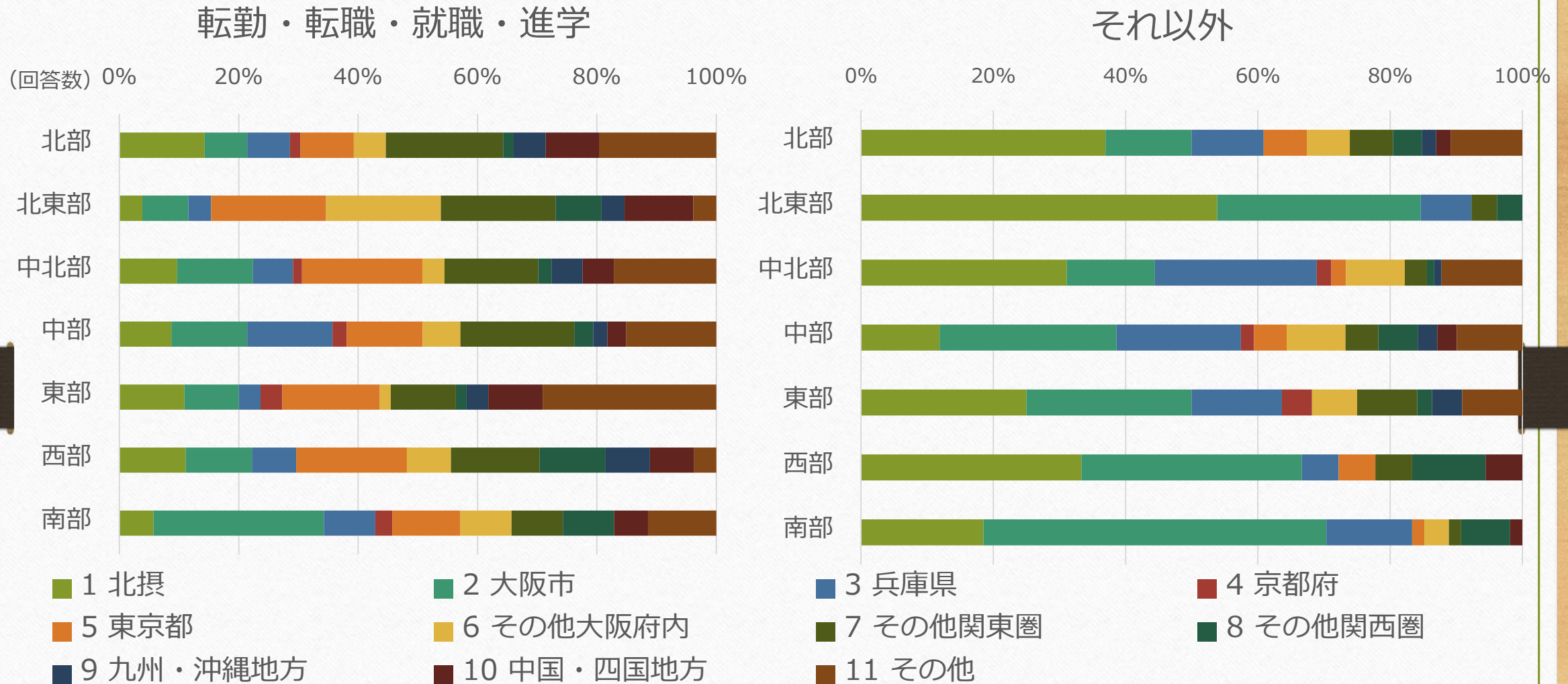
	それ以外	転勤・転職・就職・進学
北部	45%	55%
北東部	50%	50%
中北部	40%	60%
中部	44%	56%
東部	43%	57%
西部	40%	60%
南部	61%	39%
無回答	52%	48%
総計	45%	55%

全体に共通して、転勤等を理由に転入した人割合が多い。

南部地域は、転勤等以外の理由で転出することが多い。

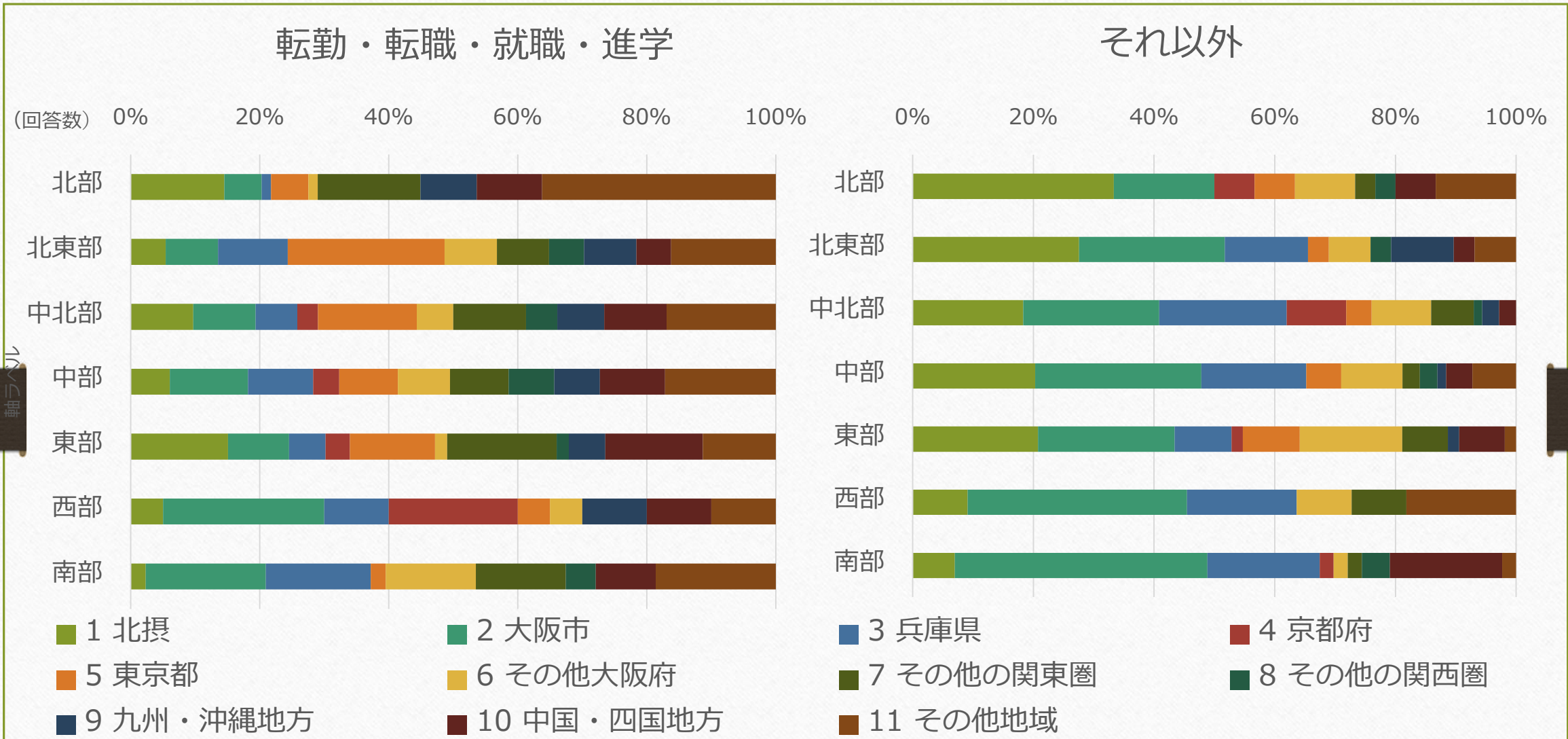
(南部地域は住宅の都合、配偶者パートナーとの同居などが多い。)

地域別 転出 主な転出先



それ以外では、北部・北東部は北摂に、中部・南部は大阪市内に転出することが多い。特に南部は、転勤等でもそれ以外でも大阪市内に転出しており、大阪市内との結びつきが強いことが分かる。

地域別 転入 主な転入前の住所



転勤等では南部・西部は大阪市内からの転入が多い。

それ以外では北部・北東部は北摂からの転入が多く、南部・西部は大阪市からの転入が多い。

地域別 転出者 豊中市の魅力

	北部	北東部	中北部	中部	東部	西部	南部	無回答	総計
交通の利便性がよい	14%	14%	15%	16%	13%	18%	18%	17%	15%
通勤・通学が便利	12%	12%	11%	12%	10%	13%	12%	17%	12%
日常生活に必要なお店が揃っている	11%	11%	13%	13%	7%	13%	18%	13%	13%
住宅条件（家賃・立地など）がよい	7%	6%	7%	8%	9%	8%	7%	9%	8%
公園・緑地が多い	10%	14%	8%	10%	15%	7%	7%	8%	10%
子育て・教育環境がよい	8%	5%	6%	5%	8%	4%	4%	4%	6%
市の子育て・教育施策が充実している	3%	1%	3%	2%	4%	2%	2%	3%	2%
病院などの保健・医療体制が整っている	6%	5%	5%	3%	4%	5%	4%	4%	5%
市の福祉施策が充実している	2%	2%	1%	2%	1%	3%	2%	2%	2%
親族や知人の家に近い	3%	3%	3%	3%	3%	3%	6%	3%	4%
道路などの都市基盤の整備がよい	5%	6%	4%	4%	4%	2%	3%	1%	4%
まちが安全で安心して暮らせる	11%	11%	11%	10%	11%	12%	8%	12%	11%
まちのイメージがよい	10%	10%	12%	11%	11%	10%	9%	8%	11%

いずれの地域でも、交通利便性や日常生活圏のお店、まちのイメージが評価されている。

地域別 転出者 豊中市の不满

	北部	北東部	中北部	中部	東部	西部	南部	無回答	総計
交通の利便性が悪い	8%	4%	9%	6%	12%	8%	6%	11%	7%
歩行者や自転車が通行しづらい	18%	15%	24%	17%	16%	18%	10%	15%	16%
日常生活に必要なお店が揃っていない	8%	3%	7%	6%	14%	11%	4%	9%	6%
子育て環境がよくない	1%	5%	0%	1%	0%	2%	3%	0%	1%
市の子育て施策が充実していない	2%	7%	2%	3%	1%	0%	3%	2%	2%
教育環境がよくない	1%	4%	0%	1%	1%	0%	2%	0%	1%
市の教育施策が充実していない	1%	5%	1%	1%	2%	0%	0%	0%	1%
病院などの医療施設が近くにない	0%	3%	2%	4%	2%	2%	1%	2%	2%
市の福祉施策が充実していない	3%	5%	1%	2%	2%	2%	1%	0%	2%
公園・緑地が少ない	7%	0%	6%	2%	1%	5%	5%	9%	3%
ご近所づきあいがわずらわしい	3%	7%	2%	2%	4%	0%	3%	2%	2%
まちの安全面に不安がある	2%	1%	2%	5%	4%	6%	12%	2%	4%
地震など災害時に不安がある	6%	5%	9%	7%	3%	5%	7%	11%	6%
車の騒音・振動	14%	5%	9%	10%	14%	18%	16%	11%	10%
飛行機の騒音	5%	0%	4%	17%	6%	15%	17%	13%	9%
特になし	18%	18%	14%	11%	10%	6%	6%	9%	11%
その他	4%	11%	7%	6%	8%	3%	5%	4%	16%

いずれの地域でも、歩行者や自転車が通行しづらいが上位。特になしの割合も高い。

地域別 転入 豊中市を選んだ理由

	北部	北東部	中北部	中部	東部	西部	南部	無回答	総計
交通の利便性がよい	13%	16%	16%	14%	14%	13%	17%	20%	15%
日常生活に必要なお店が揃っている	7%	8%	8%	7%	5%	10%	13%	5%	8%
職場・学校に近い	20%	12%	15%	16%	10%	20%	20%	21%	16%
気に入った物件があった	14%	11%	16%	14%	16%	14%	17%	19%	15%
子育て・教育環境がよい	9%	8%	5%	4%	8%	1%	1%	3%	5%
市の子育て・教育施策が充実している	1%	3%	1%	2%	0%	0%	1%	1%	1%
病院などの保健・医療体制が整っている	2%	1%	1%	1%	1%	0%	0%	0%	1%
市の福祉施策が充実している	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	1%	0%
公園・緑地が多い	5%	8%	5%	7%	13%	7%	5%	4%	7%
道路などの都市基盤の整備がよい	1%	3%	1%	0%	1%	0%	0%	1%	1%
まちが安全で安心して暮らせる	8%	7%	8%	7%	8%	4%	4%	6%	7%
まちのイメージがよい	6%	8%	9%	7%	8%	7%	6%	9%	8%
買い物など日常生活が便利	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%
以前、豊中市に住んでいた	3%	4%	5%	5%	3%	1%	4%	2%	4%
親族や知人の家に近い	2%	5%	4%	7%	3%	9%	5%	3%	5%
親族や知人に薦められた	2%	3%	3%	3%	3%	3%	2%	2%	3%
不動産会社から薦められた	2%	3%	1%	2%	2%	6%	1%	1%	2%
その他の選択理由	5%	3%	3%	2%	4%	4%	3%	4%	3%

いずれの地域でも「交通の利便性がよい」、「職場・学校に近い」、「気に入った物件があった」が上位。

今後について

- アンケートの回収率を上げるために、実施方法の検討を行う。
- アンケート集計結果を全庁的に活用できるよう検討する。

令和3年度 地方創生推進交付金 事業一覧

【資料4】

交付対象事業の名称		働き方改革実現のための就労困難者と地域企業をつなぐ、地域の人材雇用促進・企業活性化ステップアップ事業						
事業の目的 (目指すべき姿)		働く意欲や希望はありながら、就労を妨げる様々な要因を有するために就職が実現しない求職者(以下「就労困難者等」と言う。)への支援を行い、それぞれの能力に応じて戦力として活躍できるよう育成し、市無料職業紹介事業を活用し、地域の企業へ人材の紹介を行うことで、人手不足等で脆弱化する産業や中小企業の活性化につなげるものである。 就労困難者等の支援においては、それぞれの特性に応じた支援プログラムに加え、民間企業等における実践的な職業体験・訓練が効果的であることから、地域の企業(業界)に協力頂き、職業体験・訓練が実施できる仕組みを構築する。なお、本事業は3か年で事業スキームの構築を行い、事業終了後も、本スキーム及び支援ノウハウを活用して、既存の地域就労支援事業及び市無料職業紹介事業に引き継ぎ継続実施する。						
取組み内容		就労困難者の特性をふまえた次の4分野にて、参加者の就労に向けた意欲喚起を行いながら、座学、グループワーク、実習のほか、職業理解の講座や職業体験に加え、個別キャリアカウンセリングを実施することで職業適性の見極めを行い、個々の適性を踏まえた産業・企業への就職マッチングを行う。 ①常用雇用をめざすシングルマザー ②常用雇用をめざす就業経験の少ない求職者 (ひきこもり経験者、ニート、フリーター等) ③1年以内に常用雇用をめざす女性 ④メンタル的な不安を抱えながら再就職を希望する求職者				職業体験受入企業開拓・プログラム等作成事業で作成したプログラムを元に開拓企業や地元企業と連携した講座を開催する。講座では、職種や仕事に対するイメージがなく、希望職種を記入できない求職者に対し、業界や仕事に関する具体的な情報や自身の職業適性について考える場を提供し、仕事内容及び自身の職業適性の理解を通じて、自発的な職種選択を促す。		就職をめざして、開拓職場での実践的な体験訓練を実施
委託事業名称		①地方創生推進交付金を活用した就労支援プログラム事業「常用雇用をめざすシングルマザー」	②地方創生推進交付金を活用した就労支援プログラム事業「常用雇用をめざす就業経験の少ない若年求職者」	③地方創生推進交付金を活用した就労支援プログラム事業「1年以内の就職を希望する女性」	④地方創生推進交付金を活用した就労支援プログラム事業「メンタル面の不安を抱えながら再就職を希望する求職者」	とよなか仕事講座(業界別仕事講座)		職業体験・訓練の実施
事業費総額 (交付額)		8,431,949円 (4,215,974円)						
R3年度	KPI	参加者数 80名、就職者数 35名、職場体験・職業訓練事業受入れ参加企業数25社						
	実績	参加者数 92名、就職者数 34名、職場体験・職業訓練事業受入れ参加企業数50社						
	実績値の内訳	参加者数5名、就職者数3名	参加者数17名、就職者数3名	参加者数15名、就職者数3名 ※講座開始時点の就労を継続7名	参加者数5名、就職者数2名	講座、会社説明会、会社見学会 実参加者数41名 延べ参加者数148名 講座終了後、就労につながった人数16名	実習参加者数9名 実習後、就労が決定した人数7名	
(参考) R2年度	KPI	参加者数60名、就職者数30名、職場体験・職業訓練事業受入れ参加企業数15社						
	実績	参加者数78名、就職者数30名、職場体験・職業訓練事業受入れ参加企業数47社						
	実績値の内訳	参加者数5名、就職者数5名	参加者数19名、就職者数6名	参加者数20名、就職者数9名	参加者数10名、就職者数5名	連続講座(5回) 実参加者数21名 延べ参加者数52名 講座終了後就職につながった人数4名	開拓企業18社 業界別仕事講座カリキュラム作成2分野 実習参加者3名 就職者1名	
(参考) R元年度	KPI	参加者数40名、就職者25名						
	実績	参加者数50名、就職者25名						
	実績値の内訳	参加者数6名、就職者数3名	参加者数16名、就職者数7名	参加者数20名、就職者数11名	参加者数8名、就職者数4名	開拓企業29社、 業界別仕事講座 3分野		

第2期豊中市まち・ひと・しごと 創生総合戦略

令和2年（2020年）3月

豊中市

目 次

1. 策定にあたって	1
(1) 総合戦略策定の趣旨	1
(2) 位置付け	2
(3) 計画期間	2
(4) 進行管理	2
(5) 第1期豊中市総合戦略の振り返り	3
2. 豊中市の人口について	4
(1) 豊中市人口ビジョンについて	4
(2) 出生・死亡数（自然増減）の動向	7
(3) 転出・転入数（社会増減）の動向	10
3. 基本目標	19
(1) 第2期豊中市総合戦略の考え方及び新たな視点	19
(2) 第2期豊中市総合戦略の基本目標	20
4. 施策体系	21
5. 重要目標達成指標(KGI)と基本目標の重要業績評価指標(KPI)	23
基本目標 (1) “住みたい” “訪れたい” 魅力あふれるまち とよなか	25
基本目標 (2) 働く場をつくるまち とよなか	27
基本目標 (3) 地域でつながり支え合うまち とよなか	29
基本目標 (4) 安心して産み育てられるまち とよなか	31
基本目標 (5) 子どもが育ち・学び、社会で活躍するまち とよなか	33

参考資料

- (1) 地域別の人口分析(中部・中北部・東部・西部)
- (2) 第1期総合戦略での答申内容について

(1) 総合戦略策定の趣旨

- 我が国が直面する人口減少・少子高齢化という課題に対し、政府一体となって取り組み、将来にわたって活力ある日本社会を維持する観点から、国は平成26年(2014年)11月に「まち・ひと・しごと創生法」を制定しました。そして同年12月には、人口の現状と将来の姿を示し、今後目指すべき将来の方向を提示した「まち・ひと・しごと創生長期ビジョン」及び5か年(平成27年度(2015年度)～令和元年度(2019年度))の目標や施策の基本的方向及び具体的な施策をまとめた「まち・ひと・しごと創生総合戦略」を策定し、すべての都道府県及び市町村において「地方人口ビジョン」とともに、「地方版総合戦略」の策定に努めることが求められました。
- 豊中市においても、平成27年(2015年)10月に『豊中市まち・ひと・しごと創生人口ビジョン』(以下「豊中市人口ビジョン」という。)と『豊中市まち・ひと・しごと創生総合戦略』(以下「豊中市総合戦略」という。)を策定しました。
- 国は、「まち・ひと・しごと創生総合戦略(2018改訂版)」において、令和元年度(2019年度)は第1期の総仕上げに取り組むとともに、地方創生の次のステージに向け、第2期総合戦略策定の準備を開始することとしています。さらに、地方公共団体においても、地方創生の深化に向け、切れ目のない取組みを要請しています。
- こうした国の動きをふまえ、引き続き人口減少問題に取り組んでいくため、第2期豊中市総合戦略を策定します。

(2) 位置付け

- 第4次豊中市総合計画前期基本計画（以下「前期基本計画」という。）は、「まちの将来像」を実現するための施策を網羅的にまとめています。
- 第2期豊中市総合戦略は、前期基本計画に包含され、前期基本計画の中から「人口減少・少子高齢化」に歯止めをかけるために効果が高い施策・事業をまとめたものと位置づけます。

第4次豊中市総合計画前期基本計画	第1章 子ども・若者が夢や希望をもてるまちづくり	創生総合戦略 第2期豊中市まち・ひと・しごと リーディングプロジェクト 南部地域活性化プロジェクト
	第2章 安全に安心して暮らせるまちづくり	
	第3章 活力ある快適なまちづくり	
	第4章 いきいきと心豊かに暮らせるまちづくり	
	第5章 施策推進に向けた取組み	

(3) 計画期間

- 第2期豊中市総合戦略の計画期間は、令和2年度（2020年度）から令和4年度（2022年度）までの3年間とします。

(4) 進行管理

- 計画策定にあたっては、第2期豊中市総合戦略の重要目標達成指標（KGI）と、それを達成するための柱となる基本目標および重要業績評価指標（KPI）を設定します。
- 第2期豊中市総合戦略に掲げた施策を着実に実施し、KGIを達成していくために、PDCAサイクルによる進行管理を行います。
- 客観性・透明性を確保するために、引き続き外部有識者等による検証機関を設置します。
- 検証機関は、KGIや基本目標に係るKPIの達成度を検証し、必要に応じて、総合戦略の見直しの提言を行います。
- 市は、検証機関による検証結果等を踏まえて施策を見直すとともに、必要に応じて、総合戦略を改定します。
- PDCAサイクルの期間は、原則、1年間とします。

(5) 第1期豊中市総合戦略の振り返り

○第1期豊中市総合戦略の進捗状況については、豊中市まち・ひと・しごと創生総合戦略委員会にて毎年度検証しています。

○平成27年度（2015年度）から平成30年度（2018年度）の進捗状況についての主な意見は下記のとおりです。

- ① 施策の進捗状況について、目標達成に向け、K P I の実績値の根拠となる要因の分析を進めていただきたい。
- ② 市民意識調査を活用するK P I 等については、数値のみを見るのではなく、年代別と地域別を組み合わせたクロス集計などを行うなど、数値の示す背景も分析いただきたい。また、背景が見えにくいものについては、他市比較をするなどの方法も検討されたい。
- ③ 総合戦略に掲げている人口の減少に歯止めをかける観点では、現在、微増ながら人口は増えている。要因は社会増加数によるものだが、これがどういう政策の効果の結果であるのか、また社会増加数だけでなく自然増加数も検証するなどの検討も必要である。そのために、社会増加数の分析を行い、転入・転出している人の年齢構成や地域ごとの転入・転出の状況等を検証する必要がある。

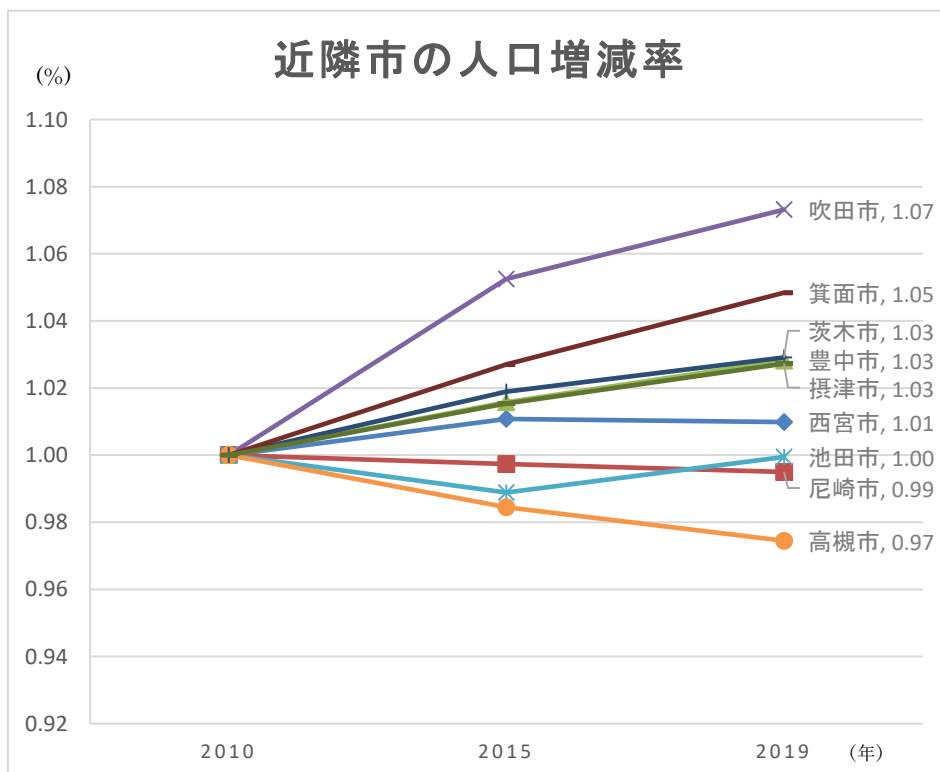
2

豊中市の人口について

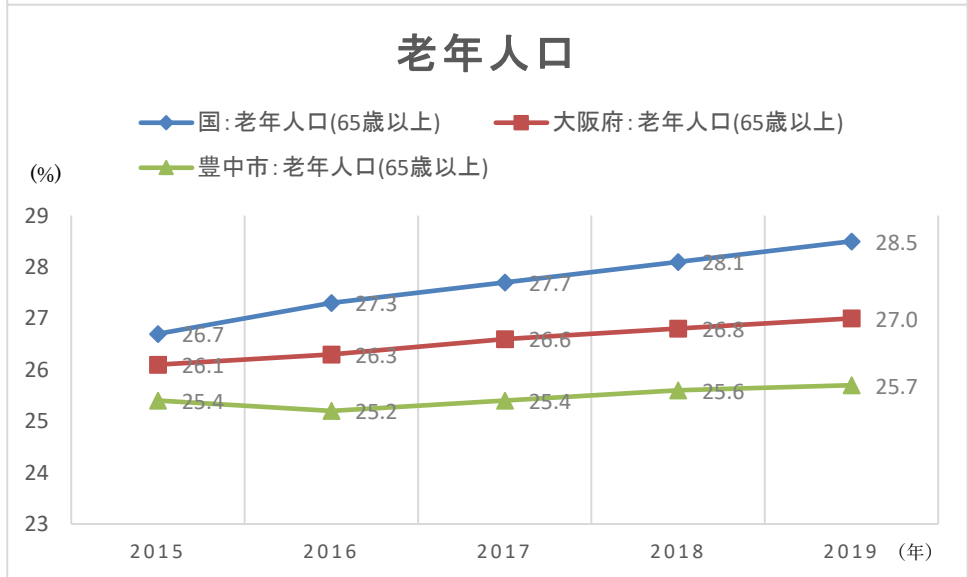
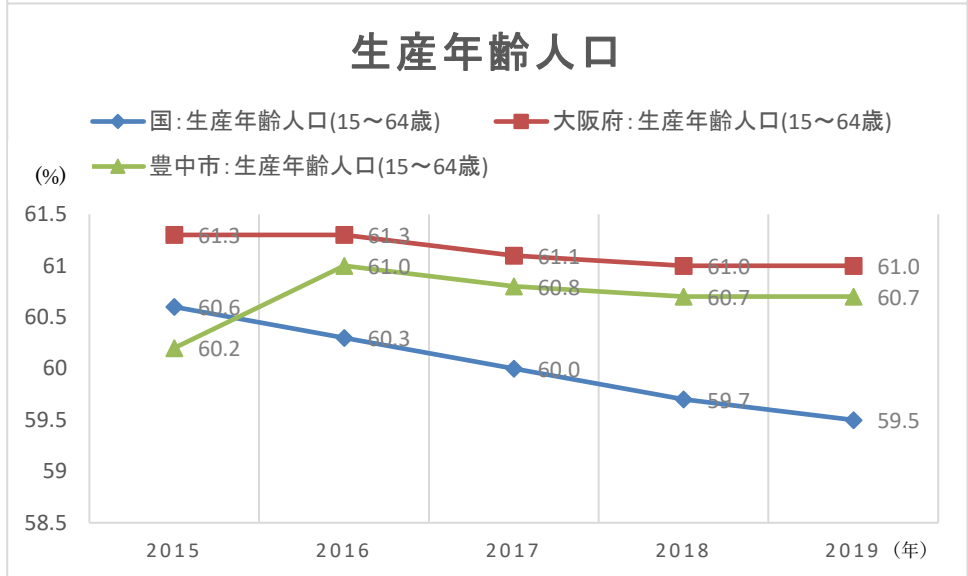
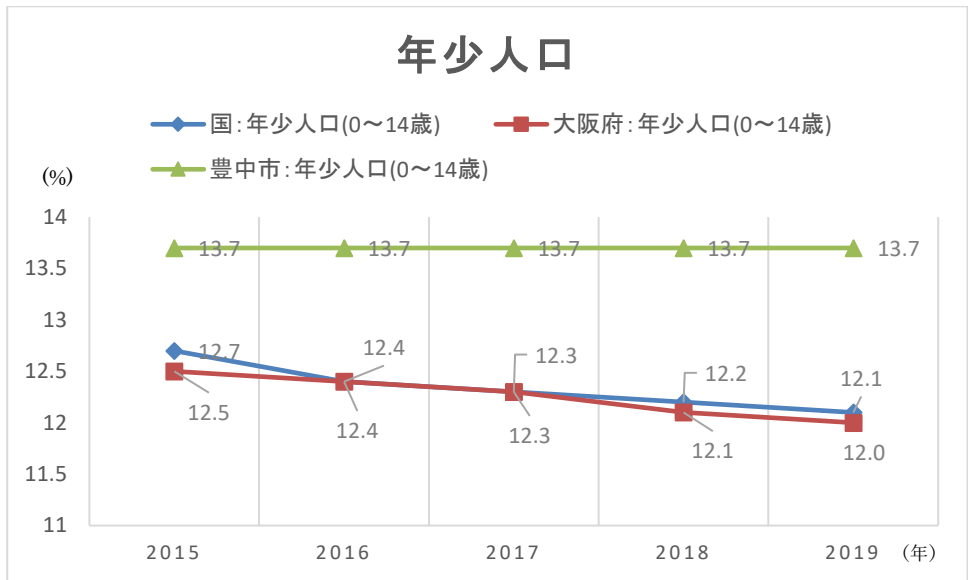
(1) 豊中市人口ビジョンについて

- 本市では、「まち・ひと・しごと創生法」に基づき、豊中市の人口等の現状分析を行い、今後めざすべき将来の方向と人口の将来展望を示す「豊中市人口ビジョン」を、平成 27 年（2015 年）に策定しました。
- 豊中市人口ビジョンでは、令和 22 年（2040 年）における将来人口を 38 万人と展望しています。
- 第 4 次豊中市総合計画では、目標年次である令和 9 年度（2027 年度）及び前期基本計画の目標年次である令和 4 年度（2022 年度）の本市の人口を約 40 万人と想定しています。
- 豊中市人口ビジョンは、令和 2 年度（2020 年度）の将来人口を 397,578 人と展望していますが、令和元年(2019 年)12 月 1 日現在の推計人口が 400,496 人と誤差の範囲とみなし、豊中市人口ビジョンの見直しを行わないこととします。
- ただし、人口減少対策においては、様々な視点をもつことが重要であることから、各地域の人口動向の分析を行うとともに、短期では前期基本計画の想定人口、長期では豊中市人口ビジョンの将来展望を見ていくこととします。

【参考】



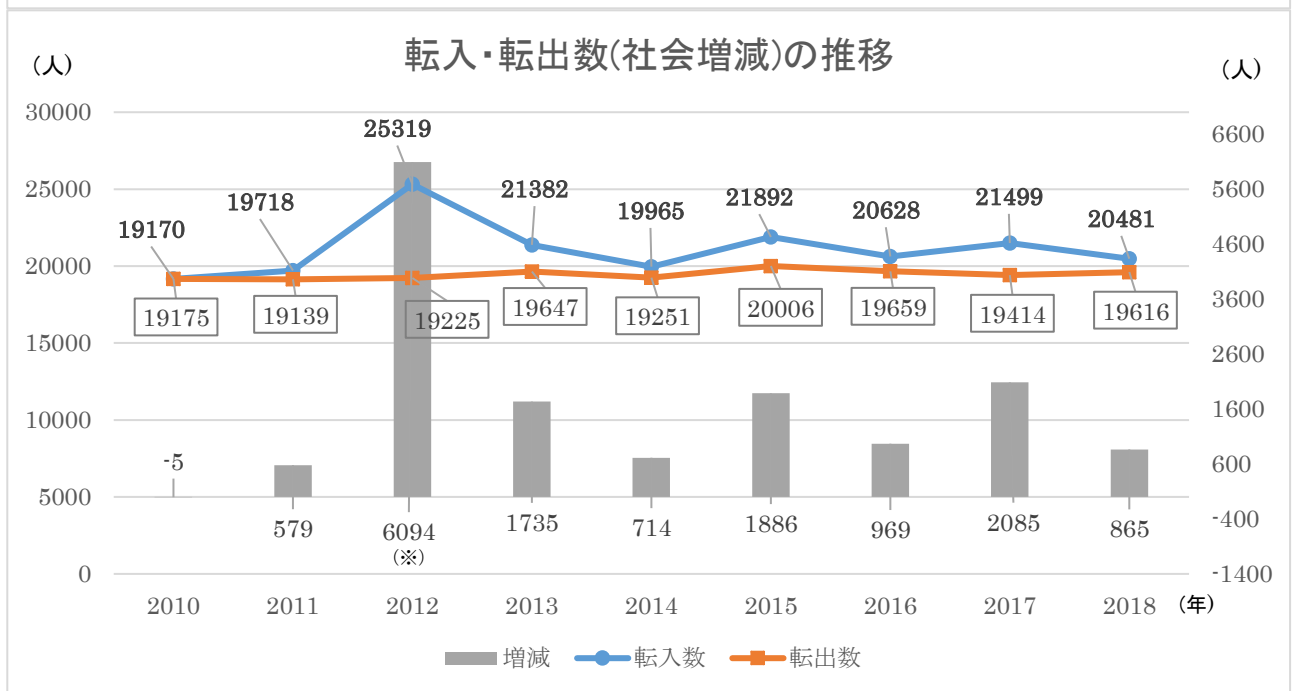
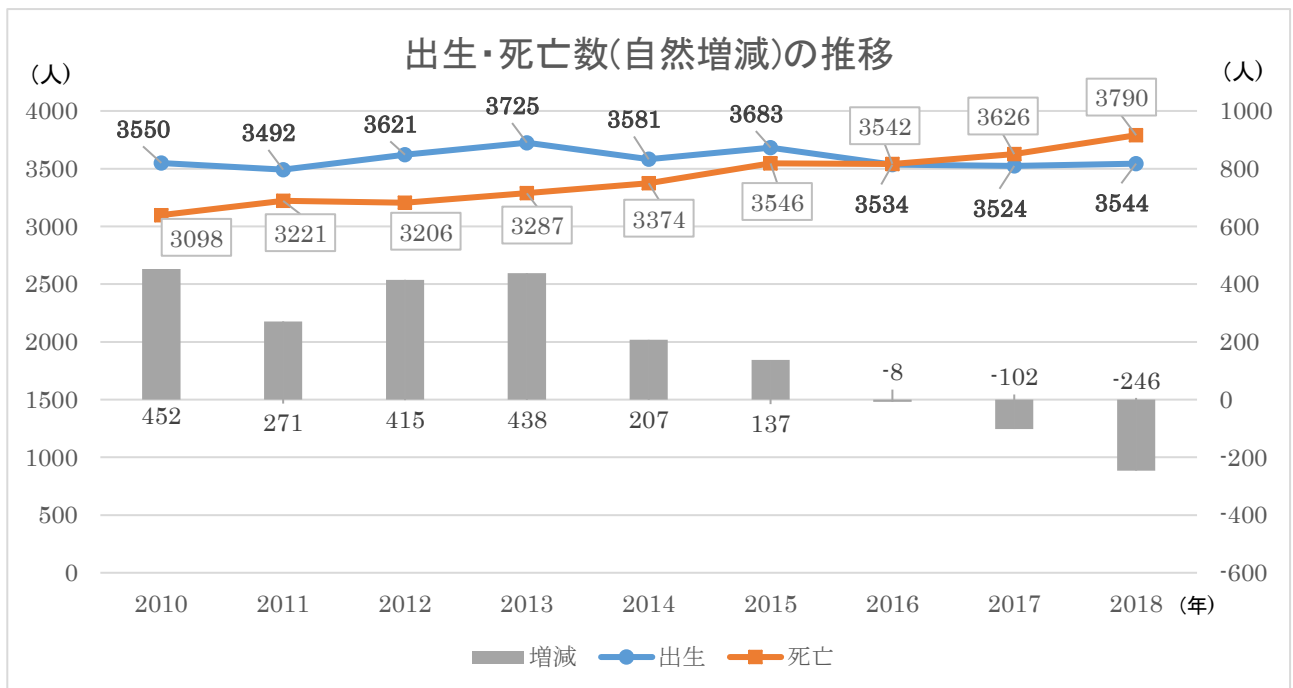
資料：大阪府推計人口、兵庫県推計人口



資料：総務省統計局人口推計、大阪府推計人口

○本市の年少人口の割合は、直近5年間同程度を維持しており、国・大阪府を上回っています。

○本市の生産年齢人口の割合は、平成28年（2016年）に国を上回り、以後同程度を維持しています。



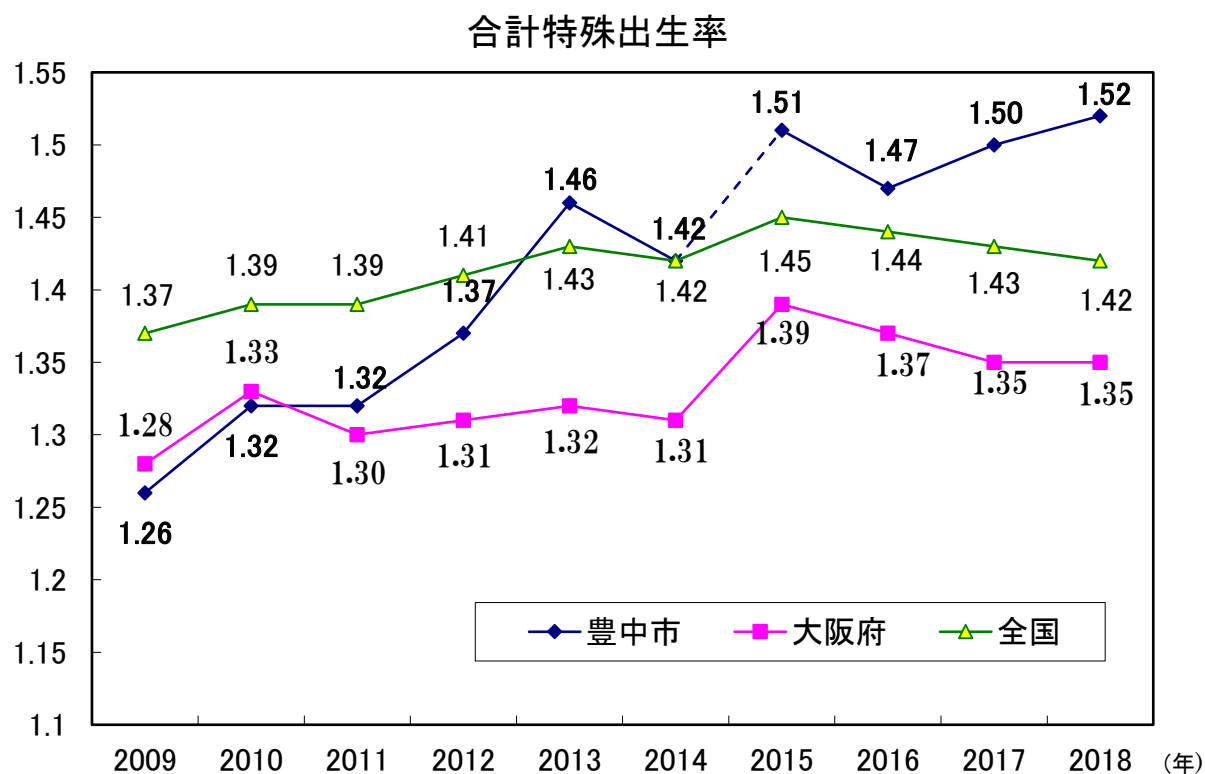
資料：豊中市統計書より（各年4月1日現在）

- 本市の出生・死亡数の推移をみると、平成28年（2016年）以降、毎年出生数が死亡数を下回る「自然減」が続いています。
- 本市の転入・転出数の推移をみると、平成23年（2011年）以降、毎年転入数が転出数を上回る「社会増」が続いています。
- 平成28年（2016年）以降は、自然減ですが、社会増が上回っているため、市の人口は増加しています。

※平成24年（2012年）の社会増減が著しく多い理由は、平成24年（2012年）7月9日施行の住民基本台帳法改正により、外国人住民を住民基本台帳に登録したためです。

(2) 出生・死亡数(自然増減)の動向

○本市の合計特殊出生率は、近年全国・大阪府の数値を上回っています。



資料：住民基本台帳・政府統計

※大阪府、全国の合計特殊出生率は推計人口及び人口動態統計による。

豊中市の合計特殊出生率は住民基本台帳及び人口動態統計をもとに独自に算出したもの。

※最新年の値は概数であり、後日変更の可能性がある。

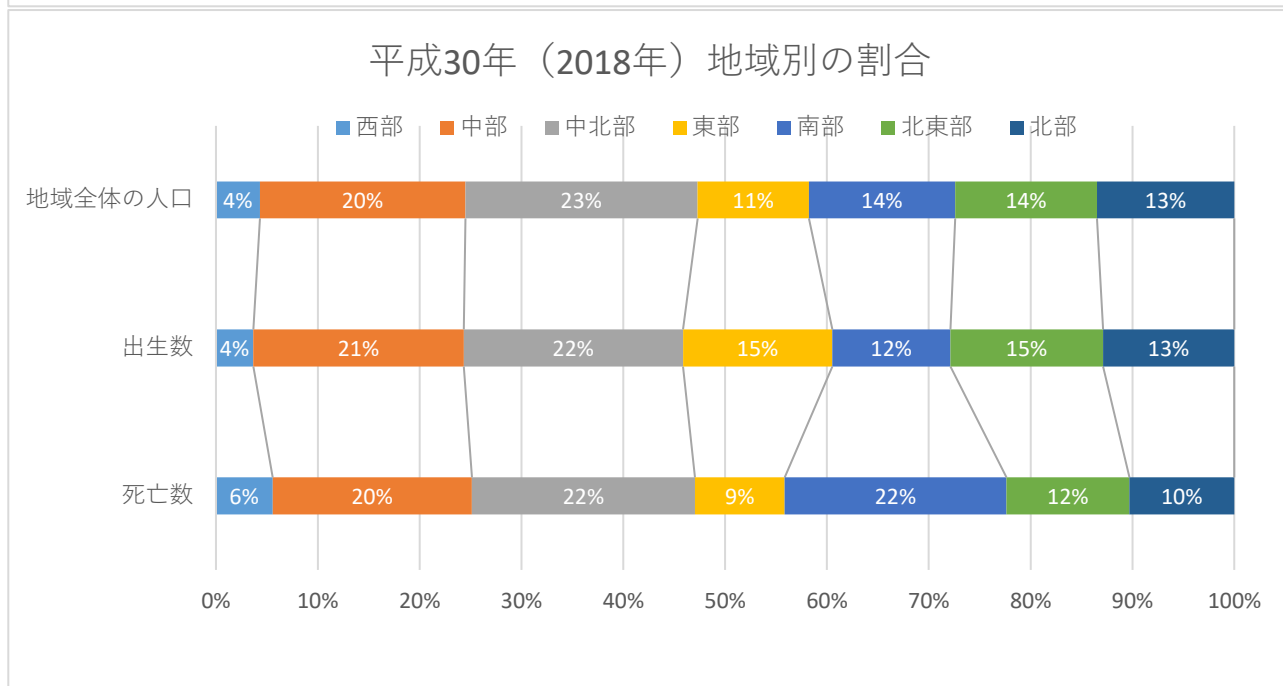
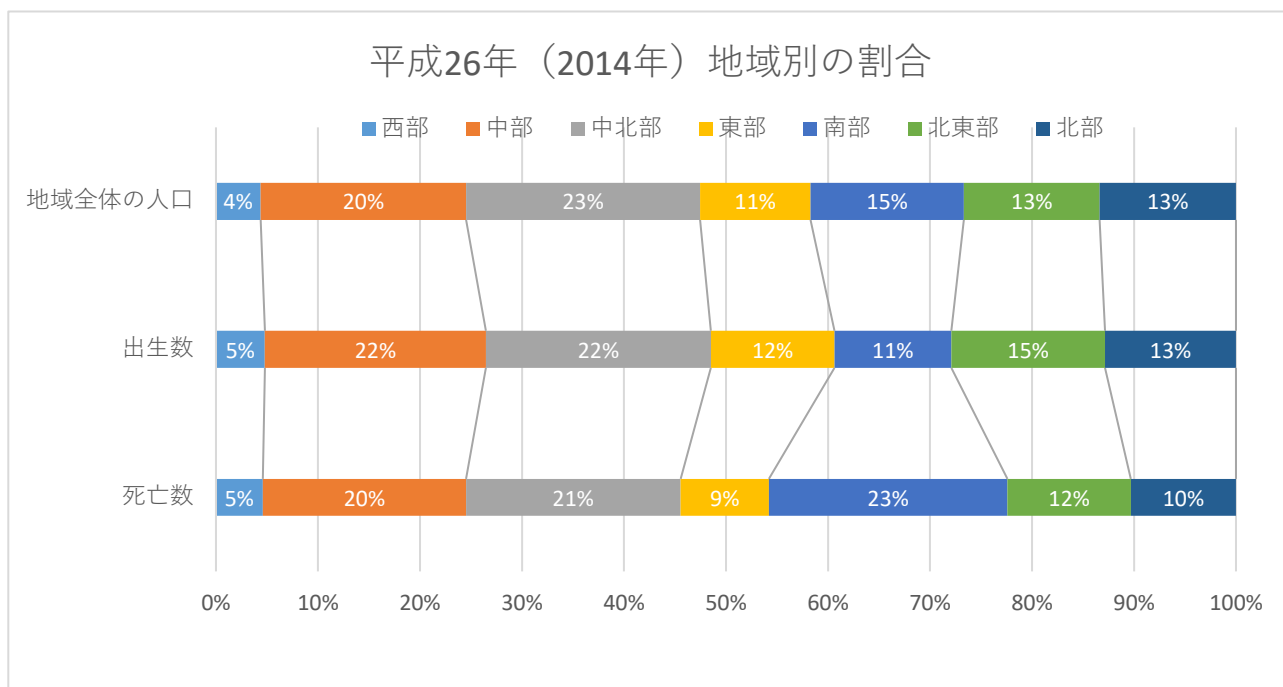
※合計特殊出生率とは、女性の出産可能年齢と仮定される15～49歳の年齢別出生率を合計したものの、

1人の女性が生涯に出産する平均の子ども数とみなされる。

※出生率算出に用いる女性人口について

豊中市は、平成26年(2014年)までは外国人住民を含む女性人口を用いていたが、平成27年(2015年)以降は国・府の算出方法にあわせるため、外国人住民を除く日本人の女性人口を用いている。

○本市の地域別（都市計画マスタープランで定めている7地域区分）の人口の割合と出生数・死亡数の割合は、以下のとおりです。



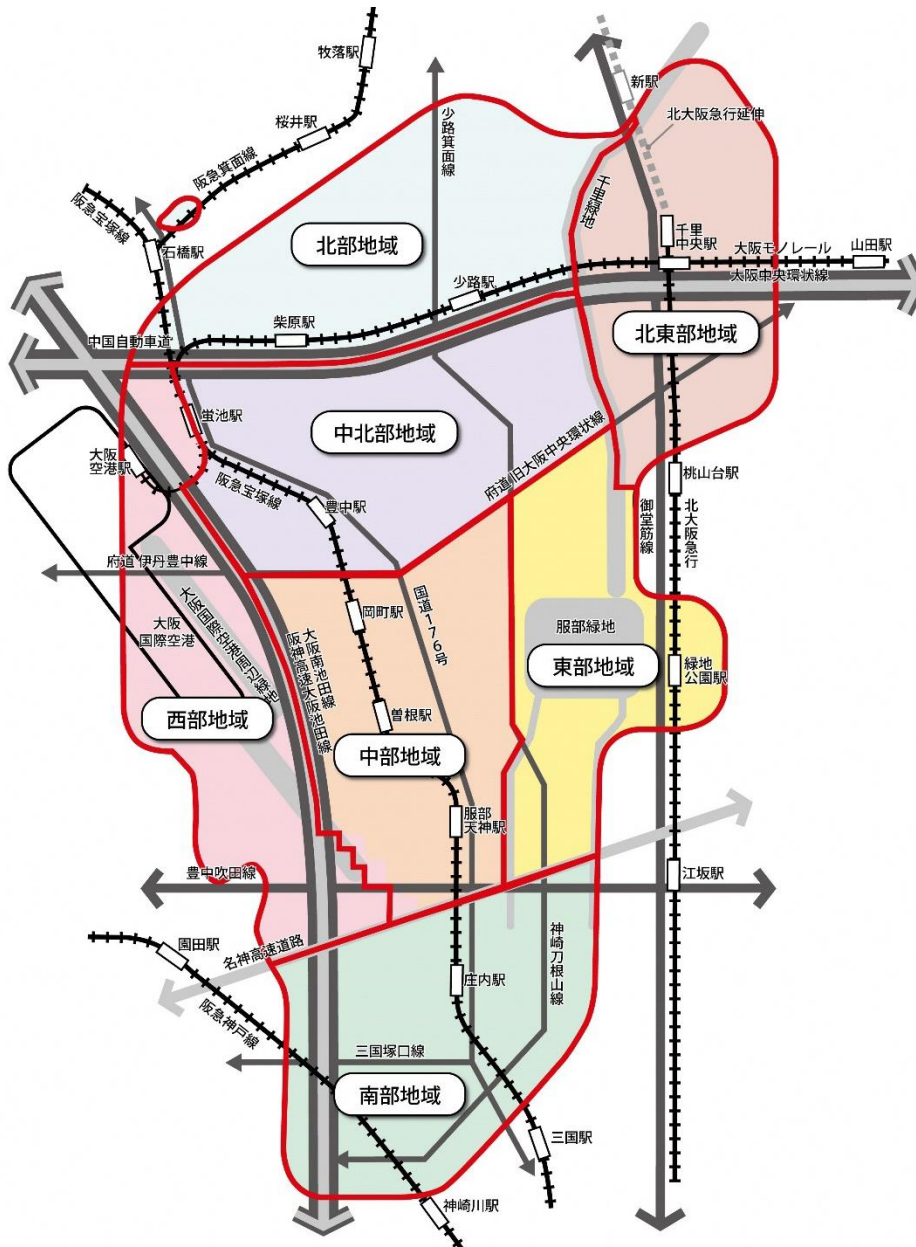
資料：住民基本台帳

○各地域の人口割合に大きな変化は見られません。

○平成26年（2014年）に比べると、平成30年（2018年）は東部地域での出生の割合が増えています。

○死亡数の割合では、平成30年（2018年）も依然として、南部地域の割合が高くなっています。

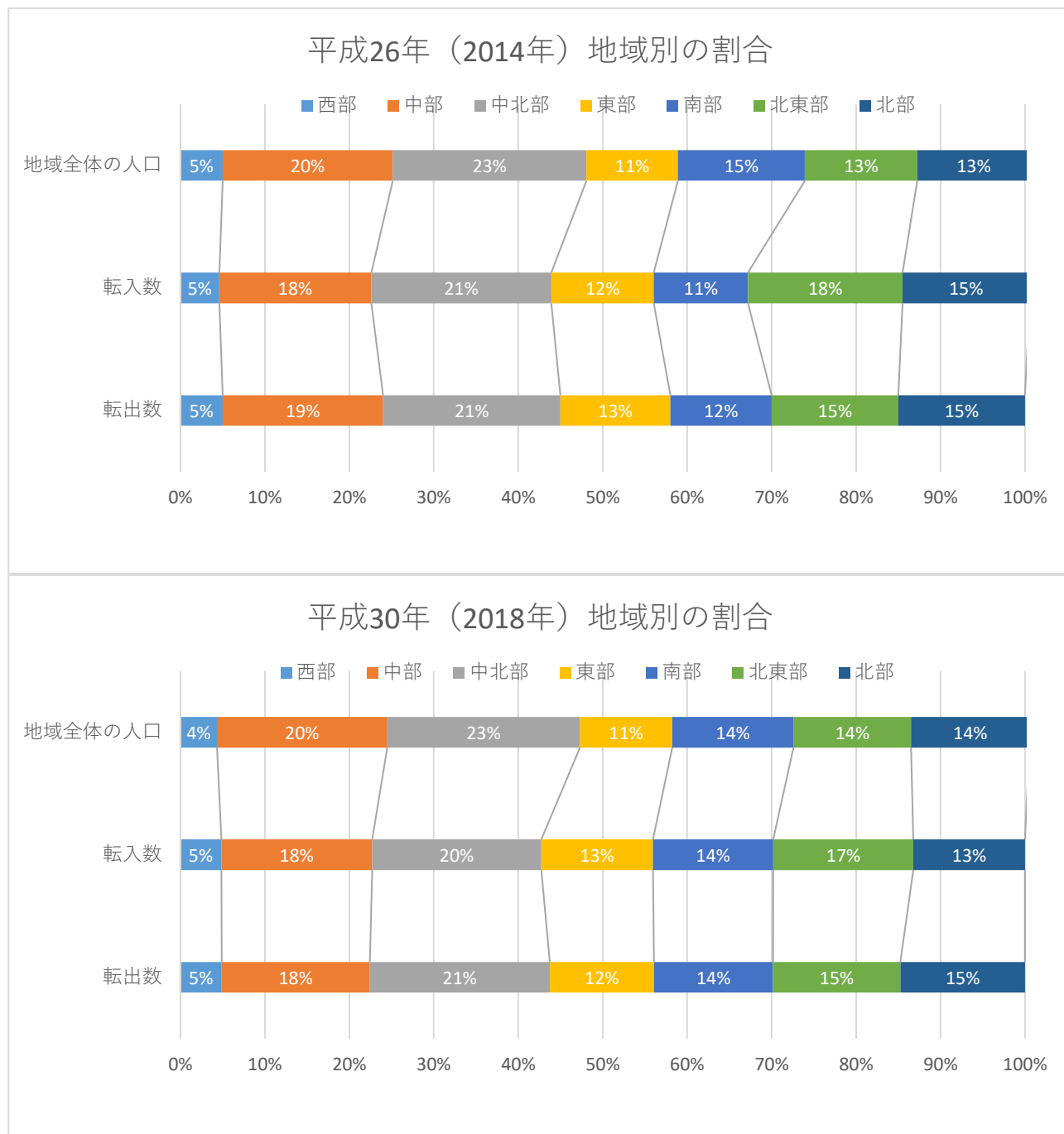
【地域区分図】



地 域	地 域 区 分
北 部	大阪中央環状線以北の地域および千里緑地以西の地域
北 東 部	千里ニュータウンおよび上新田からなる千里緑地以東の地域
中 北 部	阪急宝塚線沿線地域で千里緑地以西および府道旧大阪中央環状線以北の地域
中 部	阪急宝塚線沿線地域で府道旧大阪中央環状線以南および名神高速道路以北の地域
西 部	阪神高速大阪池田線、大阪国際空港周辺緑地および阪急蛍池駅以西の地域
東 部	北大阪急行・御堂筋線沿線地域で天竺川以東および名神高速道路以北の地域
南 部	名神高速道路以南の地域

(3) 転出・転入数(社会増減)の動向

○本市の地域別（都市計画マスタープランで定めている7地域区分）の人口の割合と転入数・転出数の割合は、以下のとおりです。

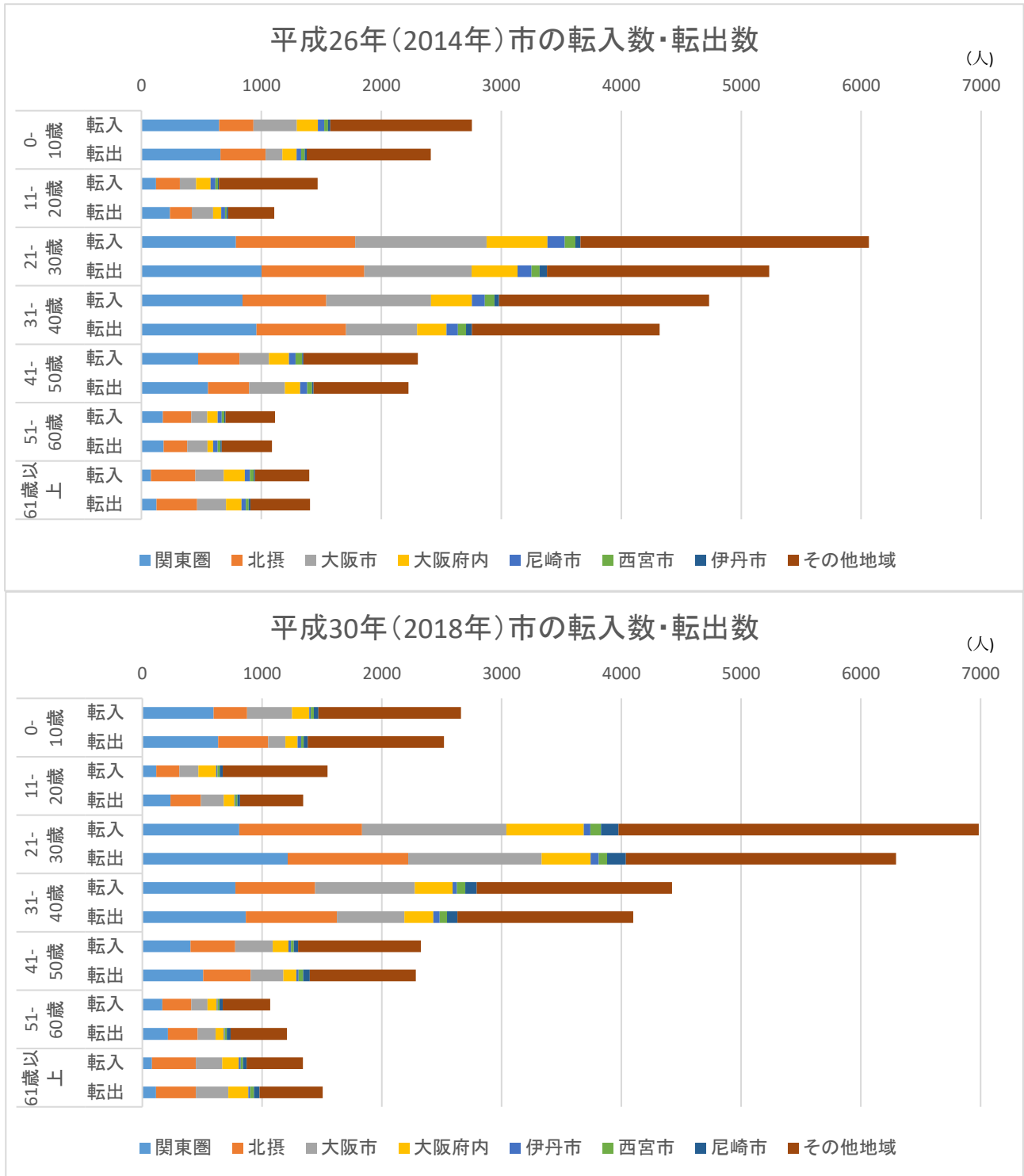


資料：住民基本台帳

○市の転入数・転出数の割合を見ると、北部及び北東部でともに多くなっています。

○平成26年（2014年）と比べると、平成30年（2018年）は南部地域の転入・転出の割合が増加しています。

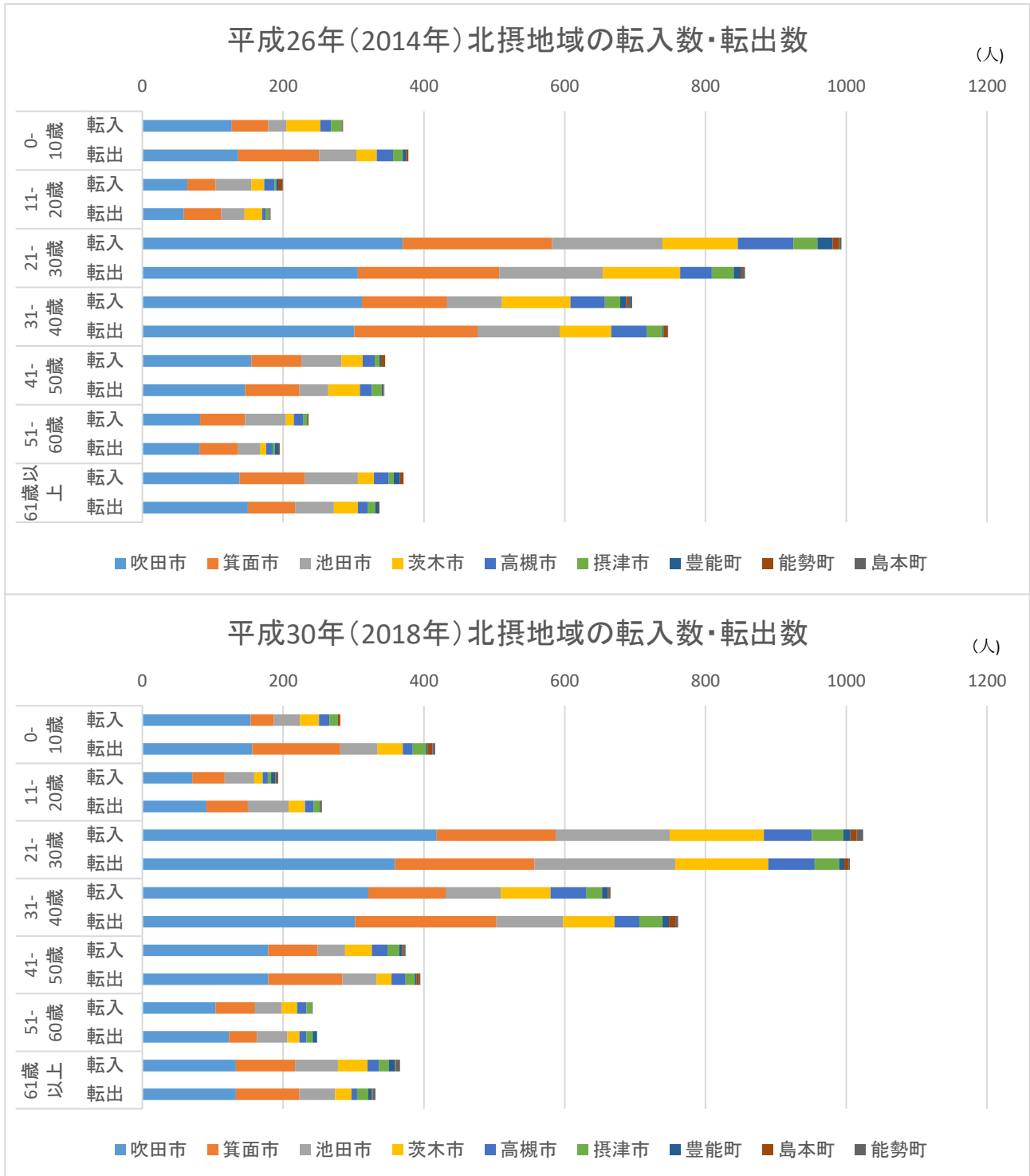
○本市の年齢別の転入数・転出数は以下のとおりです。



○本市は、20～40歳までの転入数・転出数が多く、50歳までは転入超過になっています。

○地域別では、関東圏・北摂地域・大阪市の割合が高くなっています。

○北摂地域の転入数・転出数の内訳は以下のとおりです。



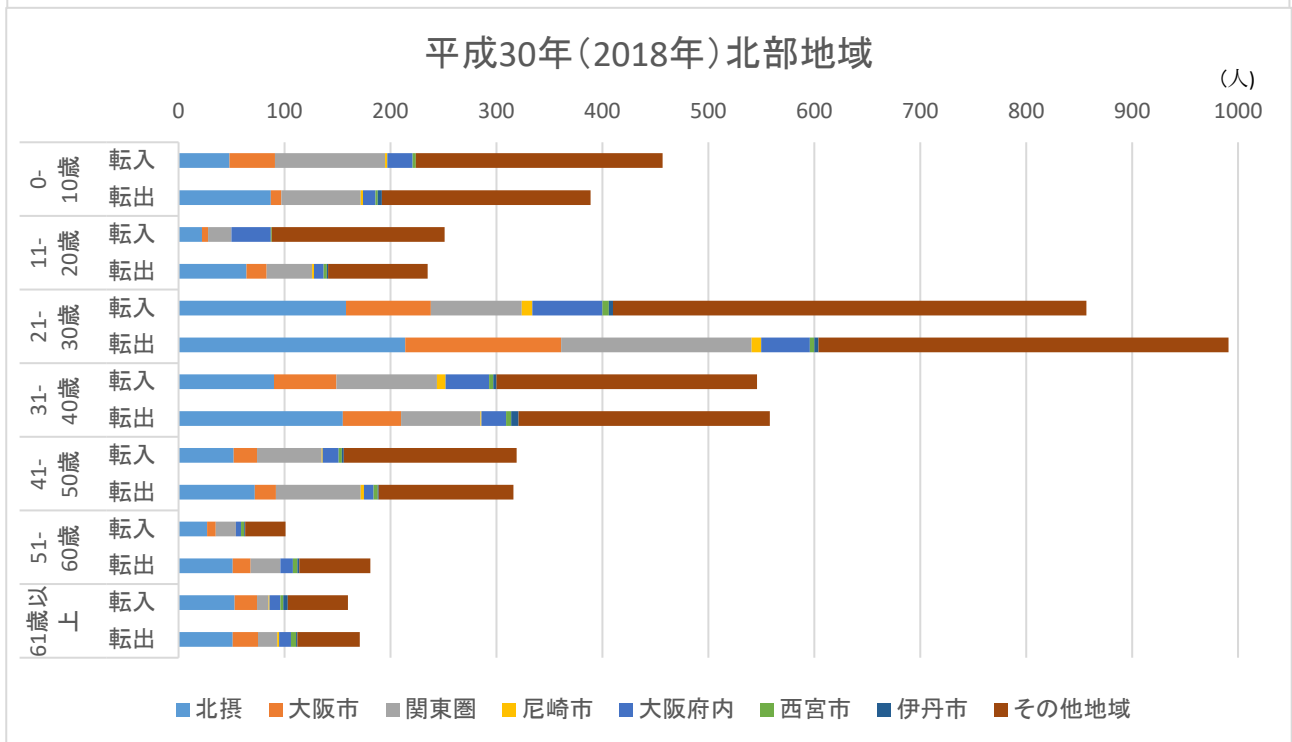
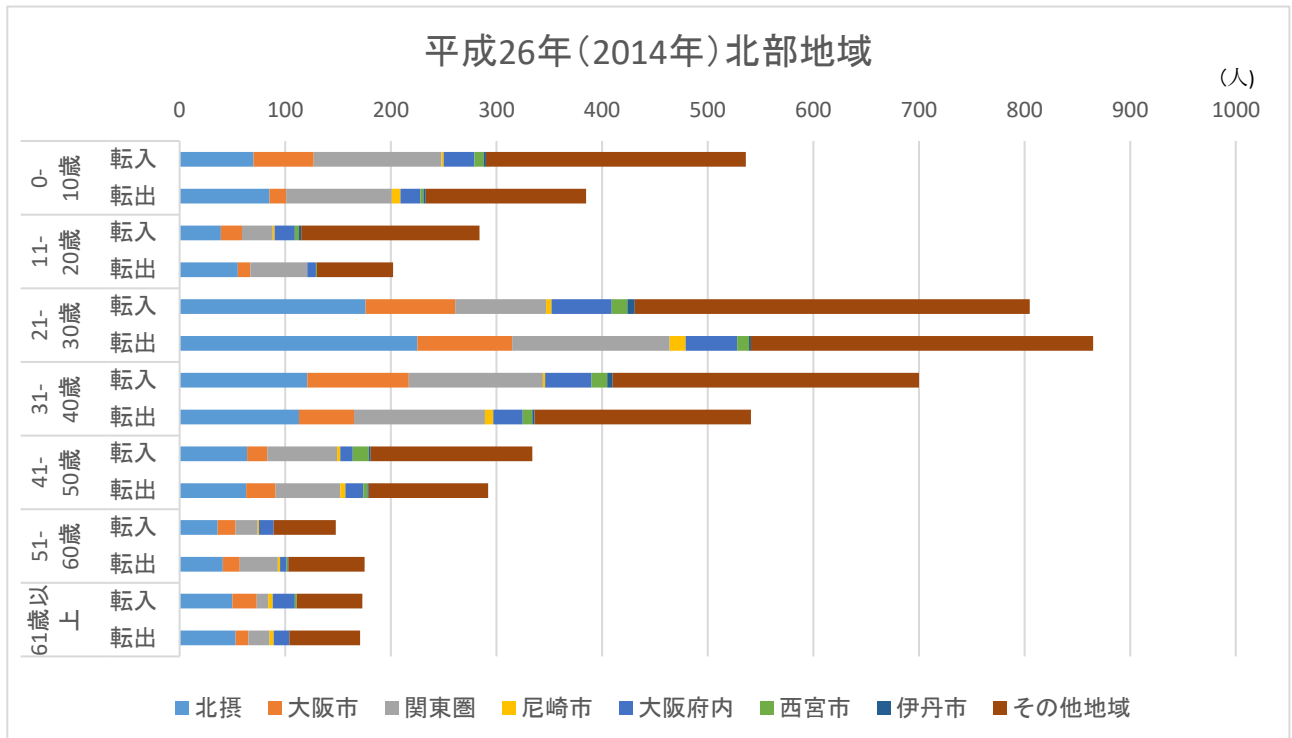
○北摂地域で見ても、20～40歳の転入数・転出数が多くなっています。

○地域別では、吹田市や箕面市の割合が高くなっています。

○次に北部・北東部・南部の3地域について分析します。

なお、他の4地域については参考資料として巻末に掲載します。

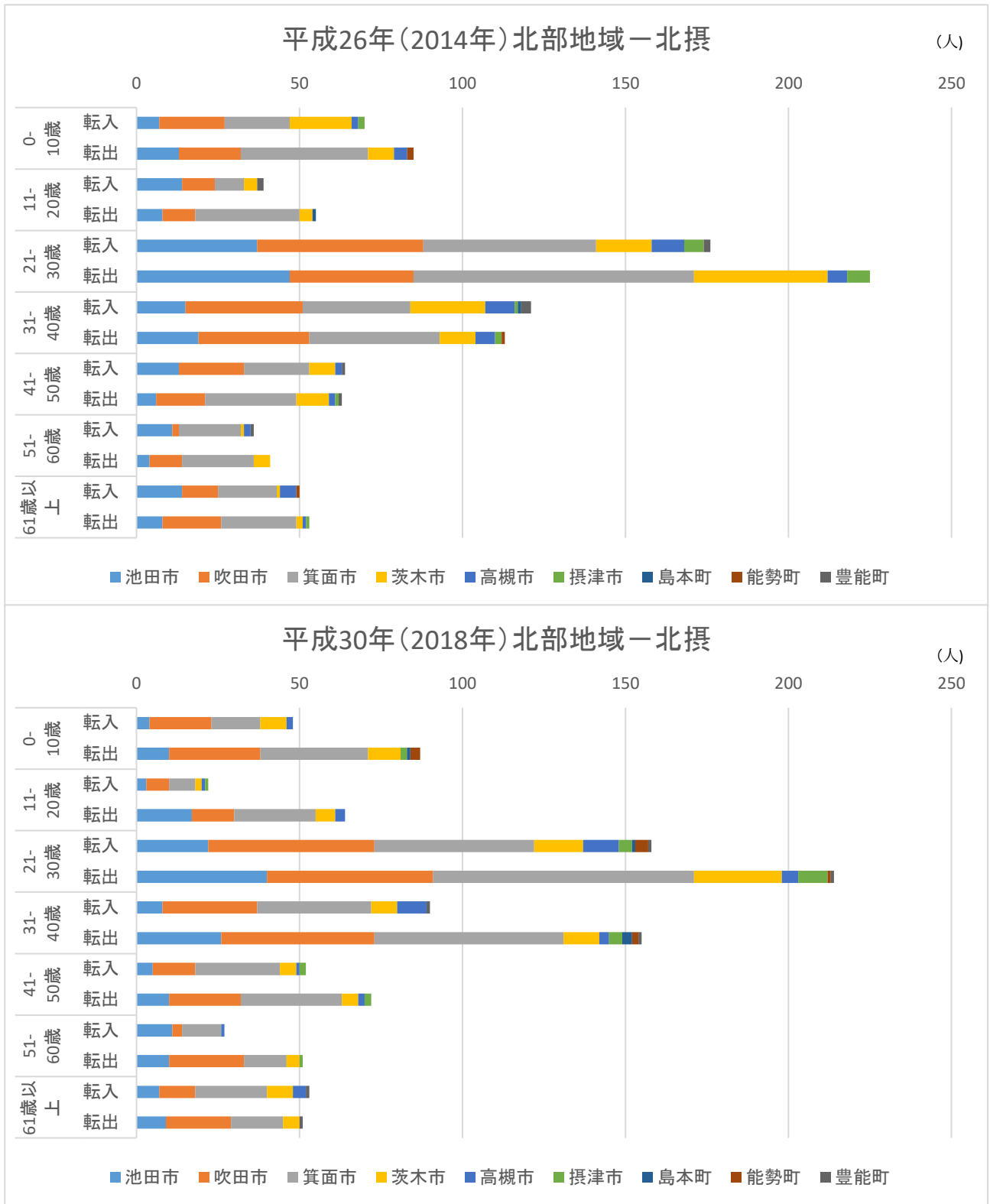
●北部地域



資料：住民基本台帳

○北部地域では、0～20歳までは転入超過ですが、平成30年(2018年)は21～40歳、51歳以上が転出超過になっています。

○地域別では、北摂地域や大阪市の割合が高くなっています。

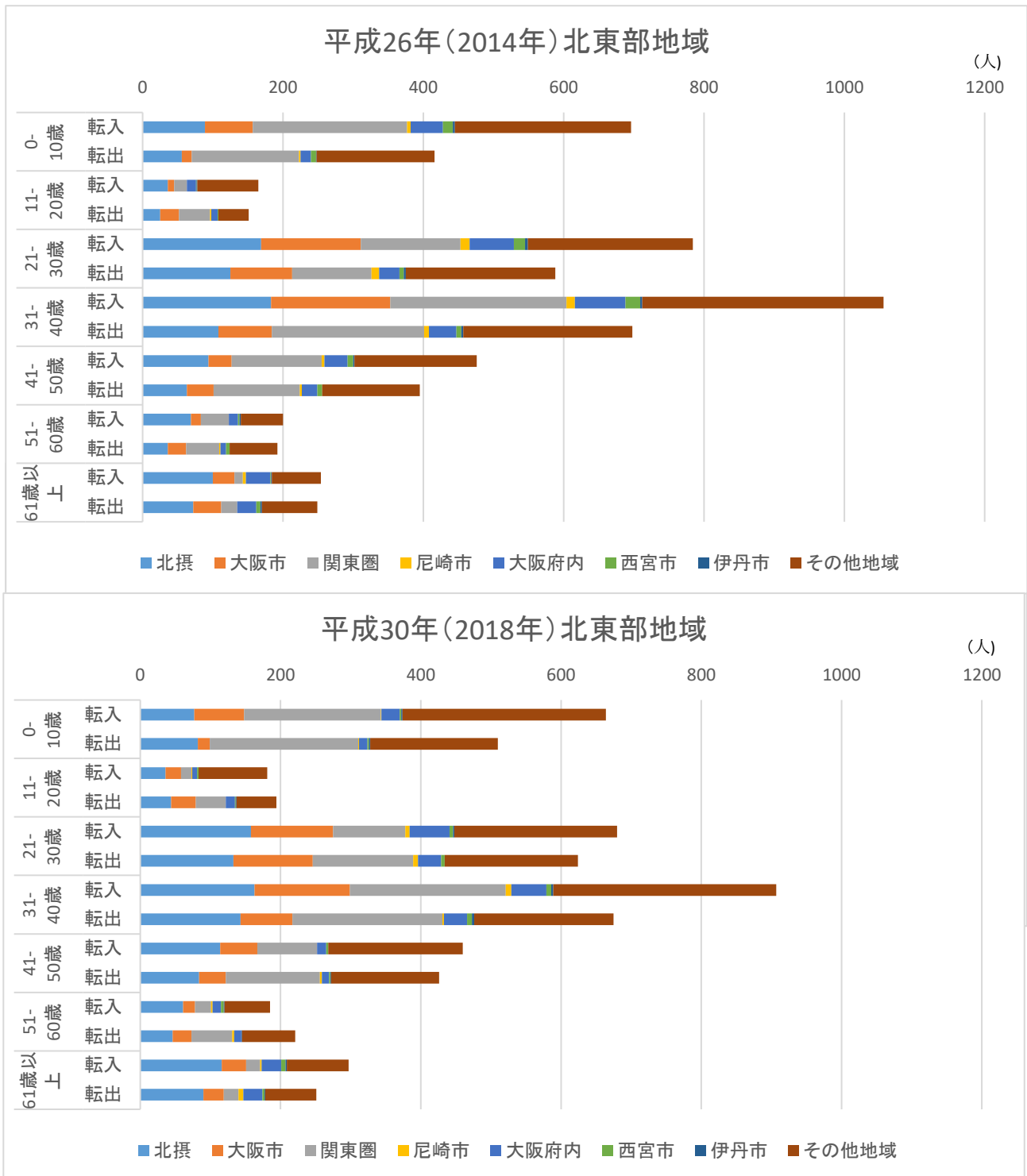


資料：住民基本台帳

○北摂地域に限ってみると、ほとんどの年齢で転出超過になっています。

○地域別では、池田市・吹田市・箕面市の割合が高くなっています。

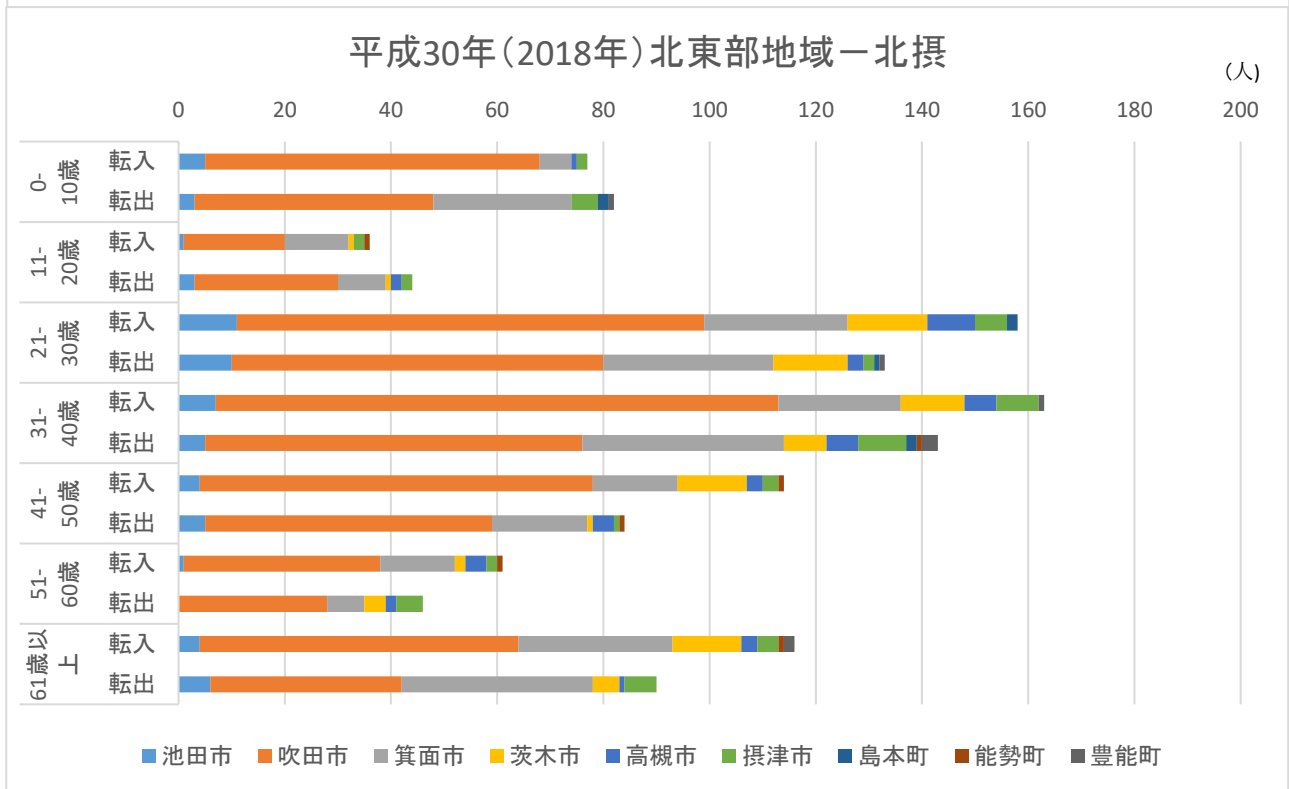
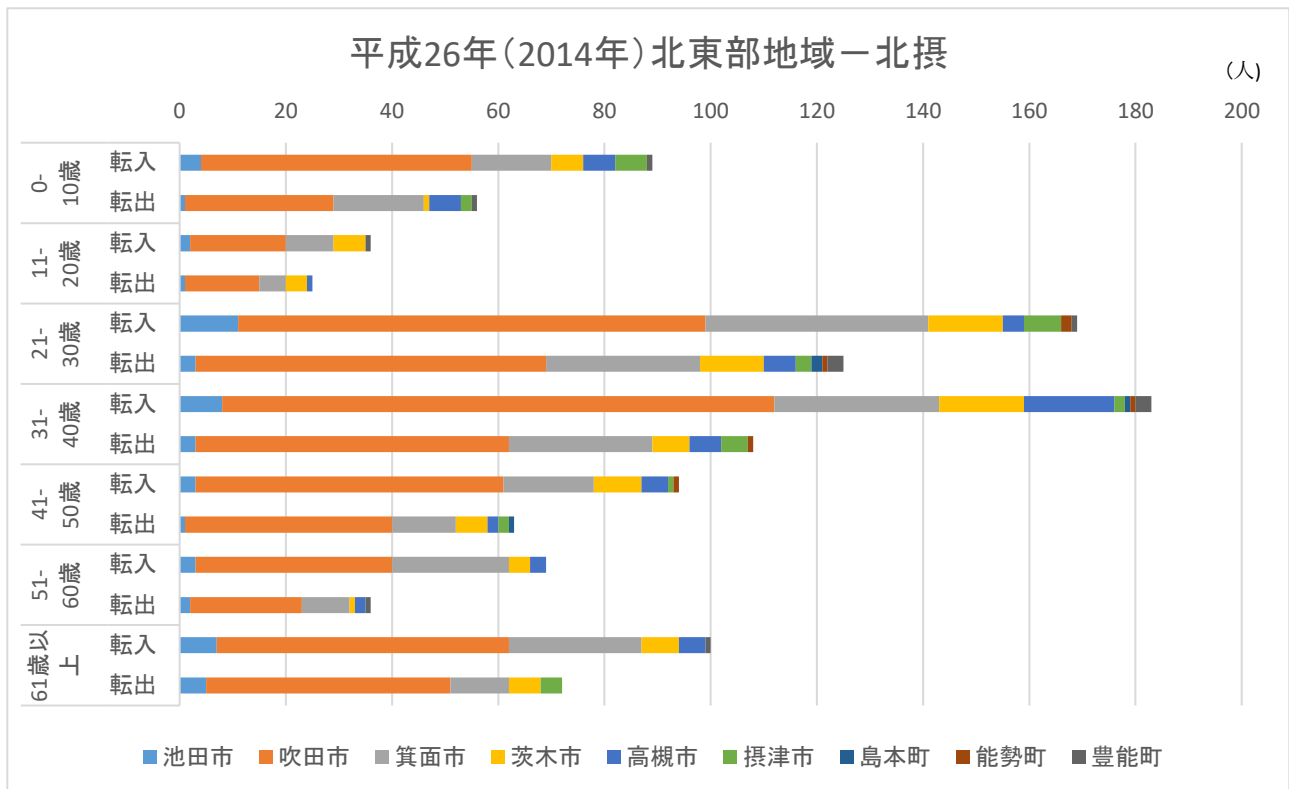
●北東部地域



資料：住民基本台帳

○北東部地域では、ほとんどの年齢で転入超過になっています。

○地域別では、北摂地域や関東圏の割合が高くなっています。

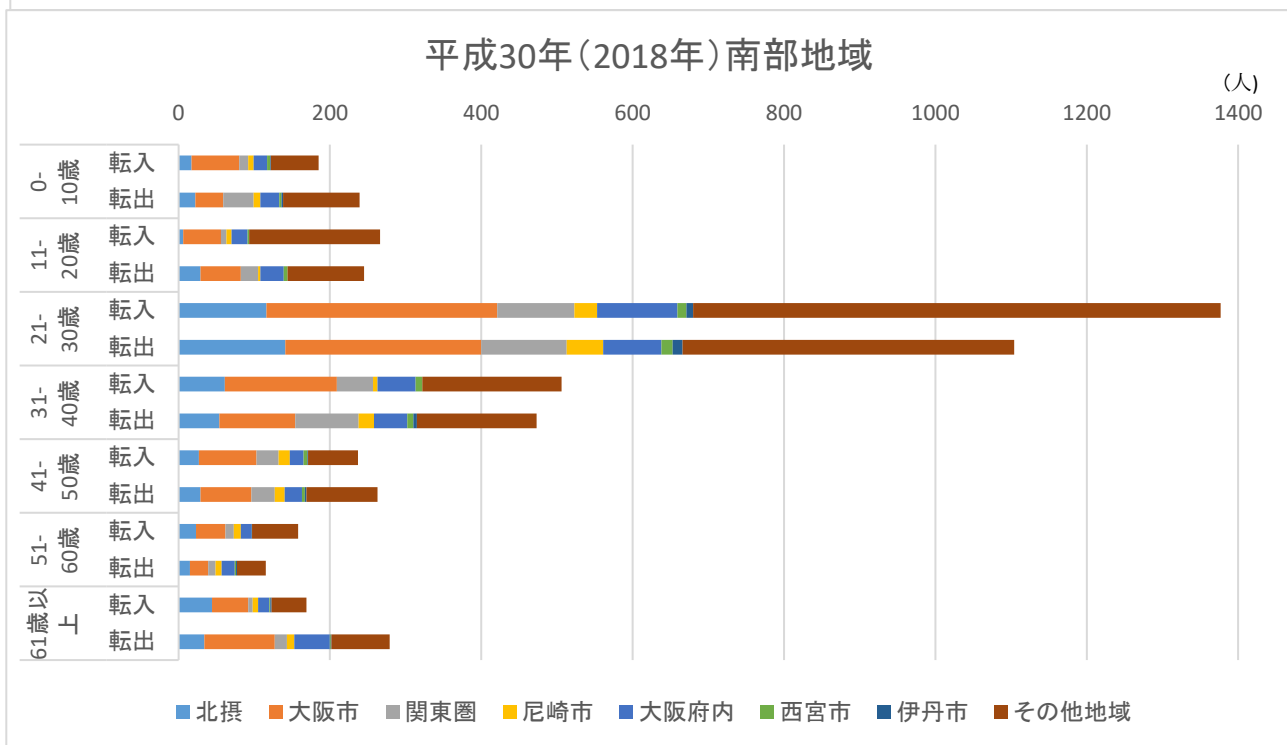
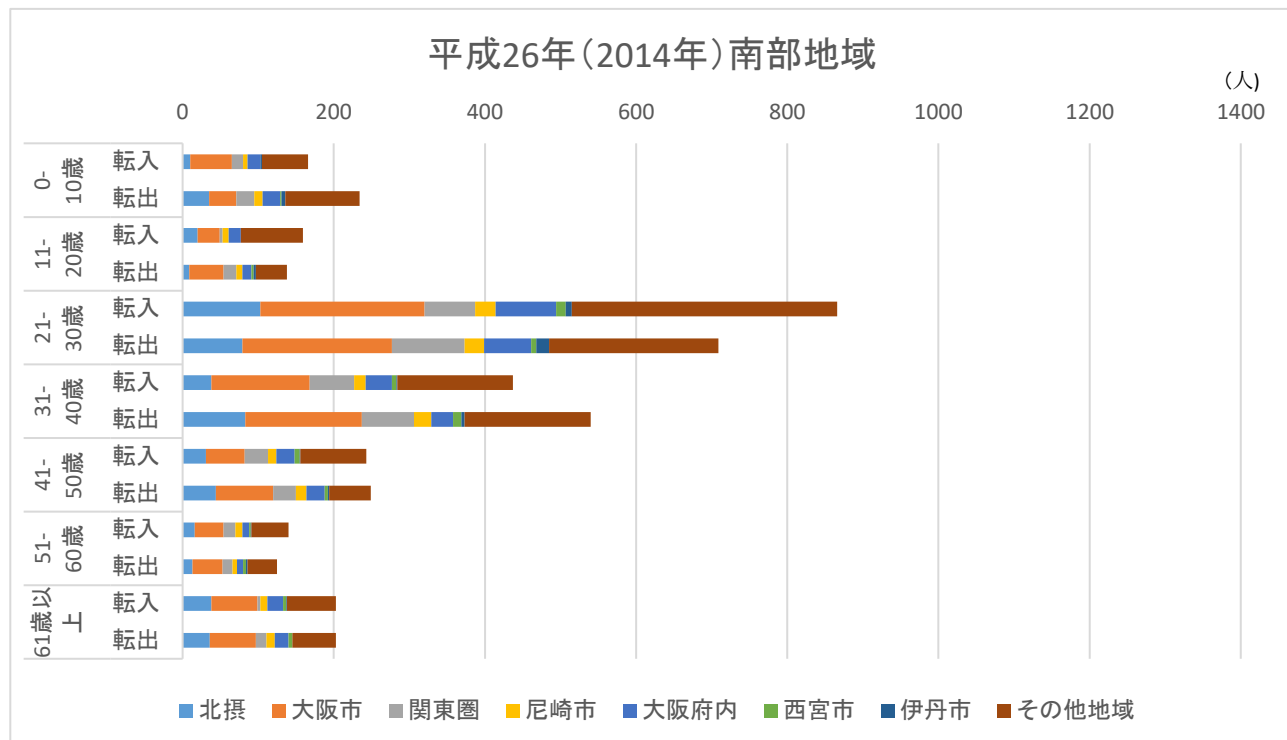


資料：住民基本台帳

○北摂地域に限ってみると、平成26年(2014年)は全年代転入超過でしたが、平成30年(2018年)は傾向が変わり、0~20歳は転出超過、それ以外の年齢は転入超過になっています。

○地域別では、吹田市の割合がかなり高くなっています。

●南部地域

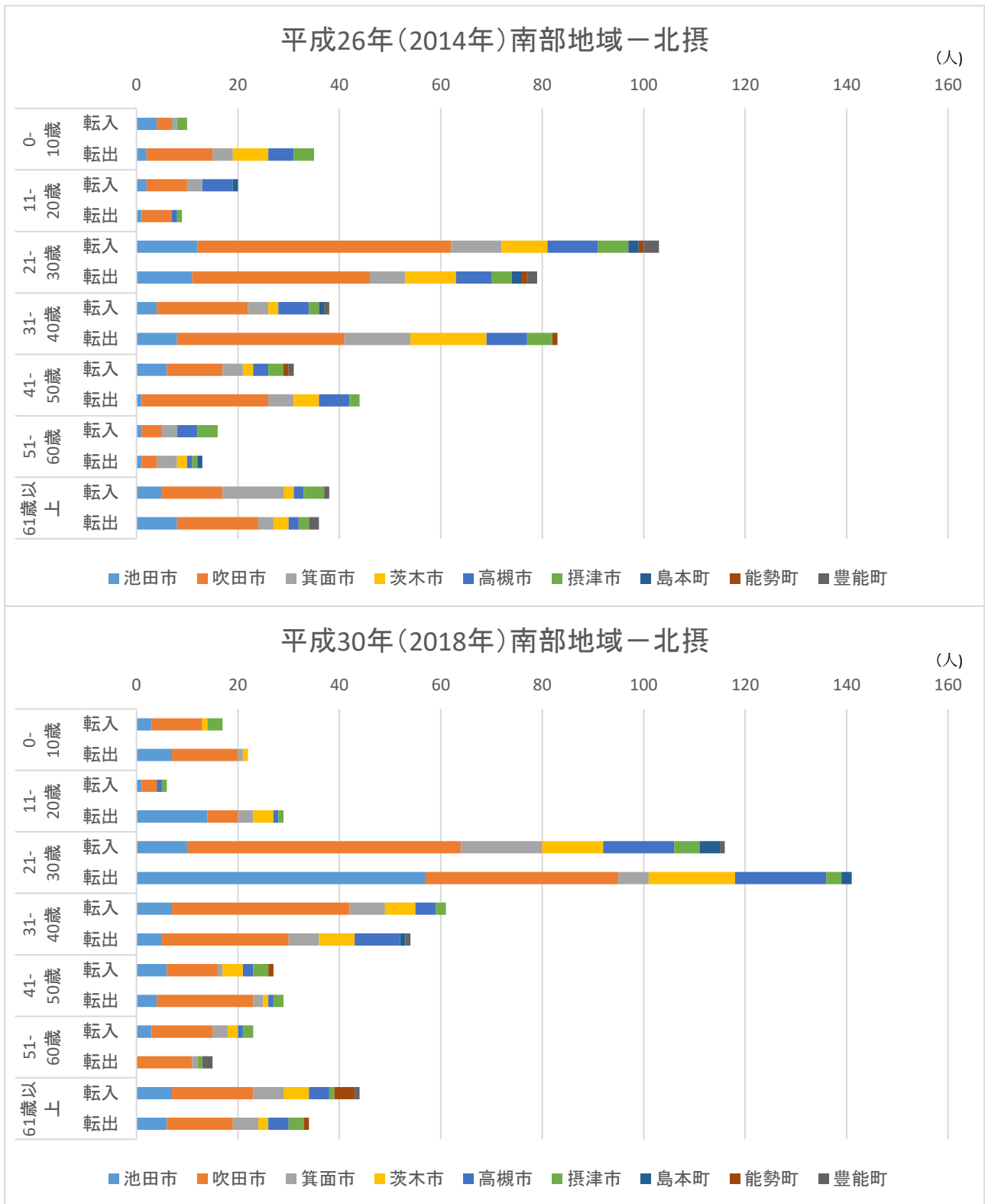


資料：住民基本台帳

○南部地域では、平成26年(2014年)から平成30年(2018年)で、全体的に転入数・転出数が増加しています。特に21～30歳で大幅な転入超過になっています。

○平成30年(2018年)は、特に21～40歳の若い世代が転入超過になっていますが、0～10歳、41～50歳の子育て世代は転出超過になっています。

○地域別では、大阪市の割合が高くなっています。



資料：住民基本台帳

○北摂地域に限ってみると、0～30歳は転出超過になっており、特に11～30歳までが多くなっています。

○地域別で見ると、吹田市の割合が高くなっています。また21～30歳の転出先では池田市の割合が高くなっています。

(1) 第2期豊中市総合戦略の考え方及び新しい視点

○国の第2期総合戦略では、「継続を力にする」という姿勢で、現行の枠組みを引き続き維持しつつ、重点を置いて施策を推進する「新たな視点」が位置づけられています。

<第2期における新たな視点>

- (1) 地方へのひと・資金の流れを強化する
 - ◆将来的な地方移住にもつながる「関係人口」の創出・拡大
 - ◆企業や個人による地方への寄附・投資等を用いた地方への資金の流れの強化
- (2) 新しい時代の流れを力にする
 - ◆Society5.0の実現に向けた技術の活用
 - ◆SDGsを原動力とした地方創生
 - ◆「地方から世界へ」
- (3) 人材を育て活かす
 - ◆地方創生の基盤をなす人材に焦点を当て、掘り起こしや育成、活躍を支援
- (4) 民間と協働する
 - ◆地方公共団体に加え、NPOなどの地域づくりを担う組織や企業と連携
- (5) 誰もが活躍できる地域社会をつくる
 - ◆女性、高齢者、障害者、外国人など誰もが居場所と役割を持ち、活躍できる地域社会を実現
- (6) 地域経営の視点で取り組む
 - ◆地域の経済社会構造全体を俯瞰して地域をマネジメント

○本市においても、こうした視点をふまえ、第2期豊中市総合戦略の基本目標を設定していきます。

(2) 第2期豊中市総合戦略の基本目標

○第2期豊中市総合戦略では、第1期豊中市総合戦略の考えを引き継ぎつつ、第4次豊中市総合計画のまちの将来像「みらい創造都市とよなか～明日がもっと楽しみなまち～」を実現するための施策の中から、人口減少・少子高齢化に歯止めをかける施策を重点化します。

○人口減少・少子高齢化に歯止めをかけるためには、出生率向上施策と25～49歳の働き盛り世代の社会増につながる施策が効果的であること、また本市の女性の就業率が低いこと等から、子育て世帯を主なターゲットとしつつ、働き盛り世代にも焦点をあて、以下の5つの「基本目標」に基づき、基本的方向性と具体的な施策を着実に進めていきます。

「みらい創造都市とよなか ～明日がもっと楽しみなまち～」

基本目標(1)

“住みたい” “訪れたい” 魅力あふれるまち とよなか

基本目標(2)

働く場をつくるまち とよなか

基本目標(3)

地域でつながり支え合うまち とよなか

基本目標(4)

安心して産み育てられるまち とよなか

基本目標(5)

子どもが育ち・学び、社会で活躍するまち とよなか

4

施策体系

5つの基本目標に対する基本的方向と具体的施策の関係は次のとおりです。

なお、基本的方向性は前期基本計画の「施策の方向性」、具体的施策は前期基本計画の「主な取組み」に対応しています。またリーディングプロジェクト「南部地域活性化プロジェクト」はすべての基本目標に関連しています。

基本目標	基本的方向 (施策の方向性)	具体的施策 (主な取組み)
魅力あふれるまち 訪れたい とよなか	ア 地域特性を活かした都市の拠点づくりを進めます	① 千里中央駅周辺の活性化
		② 中心市街地の活性化
		③ 大阪国際空港を活かしたまちづくりの推進
	イ 社会環境の変化に応じた住まいの確保を支援します	① 良質な住宅ストック形成の促進
	ウ まちの魅力として継承される住環境づくりを進めます	① 良好な住環境の維持・継承
		② 空き家対策の推進
	エ 文化芸術の創造、歴史・文化資源の保全・活用を進めます	① 文化・芸術にふれる機会や活動の場の提供
② 文化芸術センターの活用		
③ 音楽あふれるまち豊中の推進		
(2) 働く場をつくるまち とよなか	ア 安心して子育てができるよう支援します	① 子育てと仕事の両立の推進
		② ひとり親家庭への支援
	イ 社会的援助が必要な子ども・若者への支援を充実します	① 若者就労支援
	ウ 就労支援の充実を図ります	① 就労に必要な能力の習得支援
	エ 地域産業の活性化による都市のにぎわいづくりを進めます	① 産業振興のための企業立地の促進
オ 新たな事業の創出や担い手の育成を支援します	① 地域産業の活性化に向けた起業・創業支援	
(3) 地域でつながり支え合うまち とよなか	ア 多様な福祉ニーズに重層的に対応した福祉コミュニティの実現に取り組みます	① 多分野で連携する地域福祉ネットワークの構築
		② 地域福祉活動活性化のための基盤づくりの推進
	イ 防災力の充実強化を図ります	① 地域防災力の充実強化
	ウ 交通安全意識の向上を図ります	① 交通安全教育の推進
		② 交通安全啓発の推進
	エ まちの魅力として継承される住環境づくりを進めます	① バリアフリー化の推進
	オ 地域課題の共有を図り、協働によるまちづくりを推進します	① 協働事業の充実
② 市民が主役のまちづくりの推進		
カ 多様な人たちが関わる地域自治を推進します	① 地域自治組織の設立および活動支援	
	② 地域活動の担い手の発掘・育成支援	

基本 目標	基本的方向 (施策の方向性)	具体的施策 (主な取組み)
(4) 安心して産み育てられるまち とよなか	ア 産前・産後の切れめのない支援を進めます	① 産前からの正しい知識習得の環境づくり ② 産後ケアの充実 ③ 妊産婦や乳幼児の健康を確保するためのさまざまな機会の充実
	イ 安心して子育てができるよう支援します	① 子育てと仕事の両立の推進【再掲】 ② ひとり親家庭への支援【再掲】
	ウ 地域で妊産婦および乳幼児期の親子を支えるしくみづくりを進めます	① 妊産婦や乳幼児期の親子が外出しやすい環境づくり ② 地域での子育て環境づくり
	エ 保育や幼児教育の充実を進めます	① 保育や幼児教育の質の確保・向上
	オ 子どもたちの学びを高める環境づくりを進めます	① 共に学ぶ教育の推進
	カ 子どもたちを育む学校・家庭・地域の連携を進めます	① 学校と家庭、地域をつなぐしくみづくりの推進 ② 家庭や地域の教育力向上の支援
	キ 子ども・若者がそれぞれの力を活かし、社会に関わっていくことができるよう支援します	① 子どもの居場所づくり
	ク 社会的援助が必要な子ども・若者への支援を充実します	① 発達の特性に応じた支援、障害のある子どもへの支援 ② 児童虐待防止対策の推進
	(5) 子どもが育ち・学び、社会で活躍するまち とよなか	ア 保育や幼児教育の充実を進めます
イ 子どもたちの学びを高める環境づくりを進めます		① 確かな学力と体力の向上、豊かな人間性の育成 ② 小中一貫教育の推進 ③ 共に学ぶ教育の推進
ウ 子どもたちを育む学校・家庭・地域の連携を進めます		① 学校と家庭、地域をつなぐしくみづくりの推進【再掲】 ② 家庭や地域の教育力向上の支援
エ 子ども・若者がそれぞれの力を活かし、社会に関わっていくことができるよう支援します		① 社会参加の促進 ② 子どもの居場所づくり【再掲】
オ 社会的援助が必要な子ども・若者への支援を充実します		① 発達の特性に応じた支援、障害のある子どもへの支援【再掲】 ② 若者就労支援【再掲】
カ 子ども・若者を取り巻く課題に総合的に対応するしくみづくりを進めます		① 子ども・若者を総合的に支援するしくみづくり
キ 就労支援の充実を図ります		① 就労に必要な能力の習得支援【再掲】

5

重要目標達成指標（KGI）と

基本目標の重要業績評価指標（KPI）

第2期豊中市総合戦略では、子育て世帯を主なターゲットとして、子育てしやすいまちをめざすとともに、働き盛り世代に焦点をあて、希望のしごとができるまちや住み続けたいと思えるまちをめざします。この最終的な目標の達成度合いを測る重要目標達成指標（KGI）を設定するとともに、このKGIを達成するための柱となる5つの基本目標に必要なプロセスを評価する重要業績評価指標（KPI）を設定します。KGI及びKPI、基本的方向性・具体的施策は下記のとおりです。

（注1）KGIの「現状」は令和元年（2019年）、「短期」は前期基本計画の目標年次である令和4年（2022年）、「長期」は豊中市人口ビジョンの目標年次である令和22年（2040年）を指しています。

（注2）特段表記がない場合は、KPIの「現状」は平成30年度（2018年度）、「数値目標」は前期基本計画の目標年次である令和4年度（2022年度）を指します。

第2期豊中市総合戦略の重要目標達成指標（KGI）

（1）推計人口

現状	短期	長期
398,479人	40万人	38万人

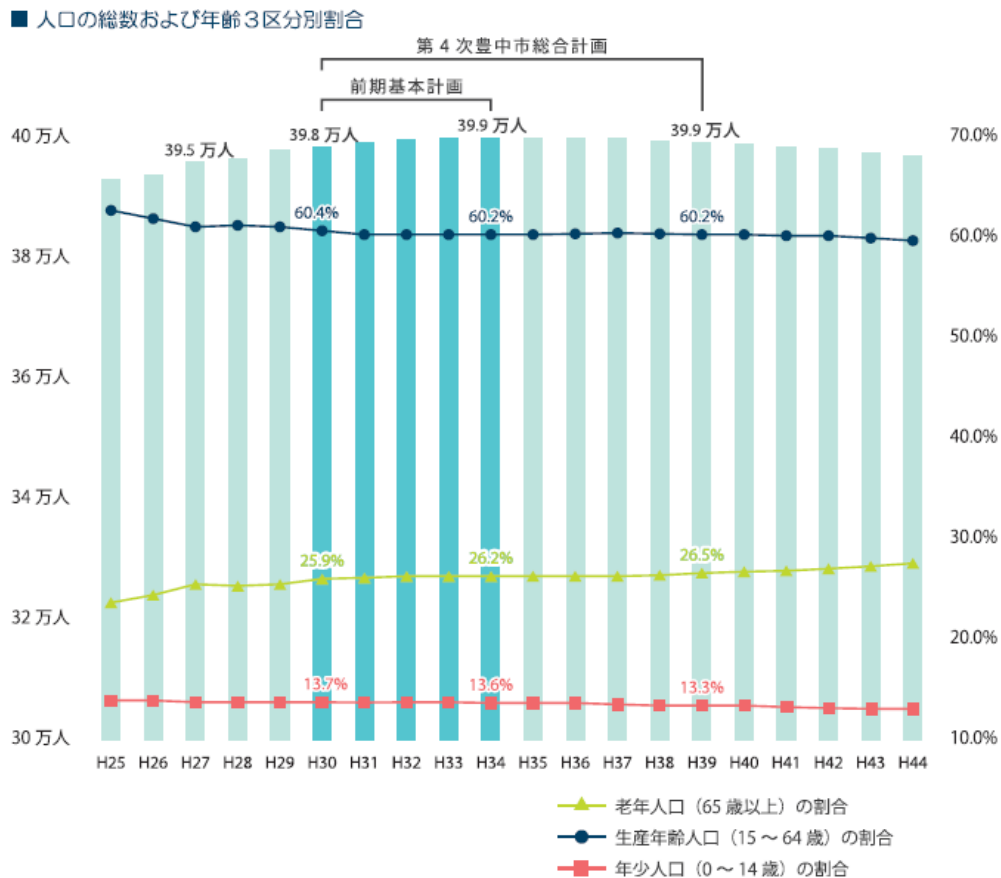
（2）年少人口の割合

現状	短期	長期
13.7%	13.6%	12.4%

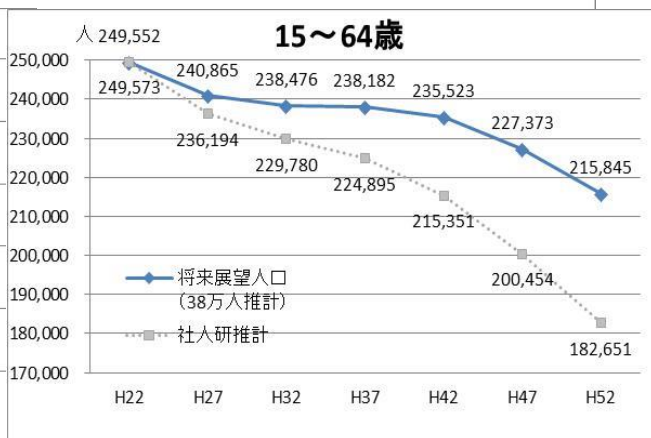
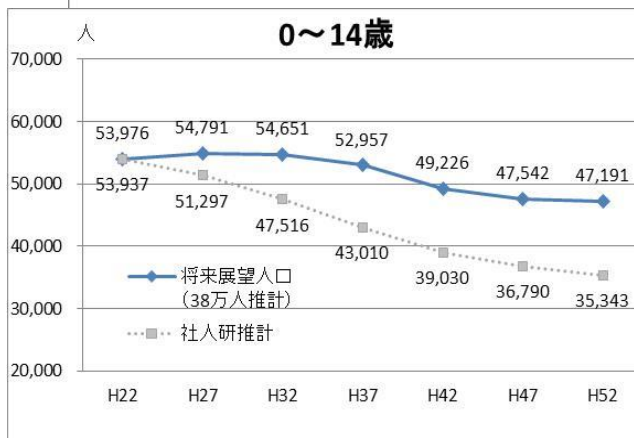
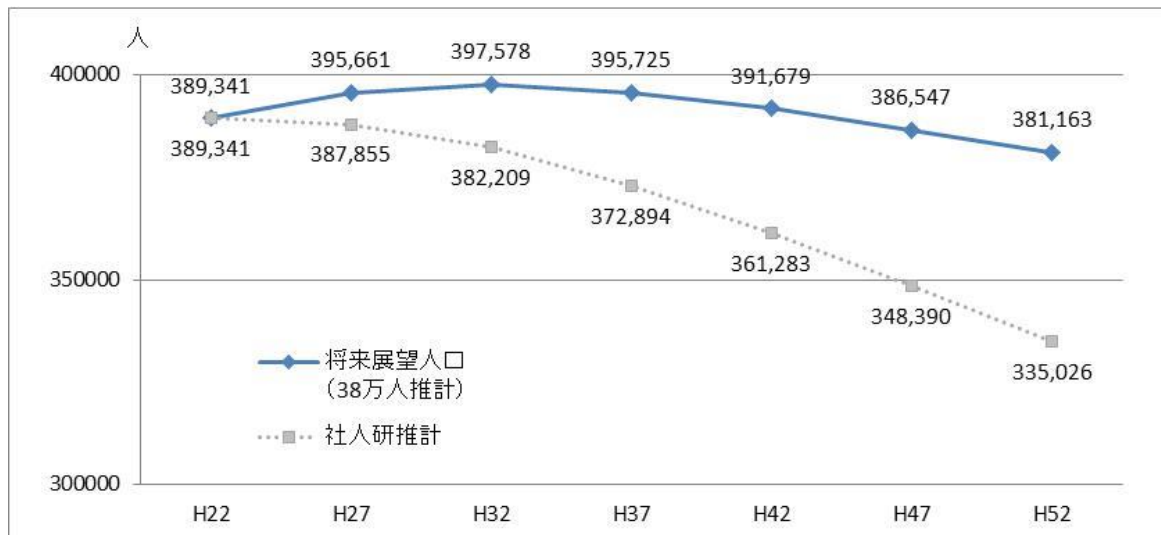
（3）生産年齢人口の割合

現状	短期	長期
60.7%	60.2%	56.6%

【参考】第4次豊中市総合計画前期基本計画の想定人口



【参考】豊中市まち・ひと・しごと創生人口ビジョンの人口の将来展望



基本目標(1) “住みたい” “訪れたい” 魅力あふれるまち とよなか

重要業績評価指標 (KPI)



指 標	数値目標
住み続けたいと感じている市民の割合 (対象：18～49歳の市民)：現状 令和元年度(2019年度) 83.3% 【参考】住み続けたいと感じている市民の割合 ：現状 令和元年度(2019年度) 85.0%	85%
社会増加数：現状 865人	3年間で3000人増加
市内の各駅乗降客数(1日平均)：現状 411,610人	維持
【参考】関係人口 ：現状 令和元年(2019年)12月31日現在 964件 ※ここでの「関係人口」は、市外在住の方からのふるさと納税等の寄附金の寄附件数をさします。	—

基本的方向(施策の方向性)と具体的施策(主な取組み)

ア 地域特性を活かした都市の拠点づくりを進めます

- ① 千里中央駅周辺の活性化
- ② 中心市街地の活性化
- ③ 大阪国際空港を活かしたまちづくりの推進

【総合計画の該当頁】 P76

イ 社会環境の変化に応じた住まいの確保を支援します

- ① 良質な住宅ストック形成の促進

【総合計画の該当頁】 P77

ウ まちの魅力として継承される住環境づくりを進めます

- ① 良好な住環境の維持・継承
- ② 空き家対策の推進

【総合計画の該当頁】 P77～78

エ 文化芸術の創造、歴史・文化資源の保全・活用を進めます

- ① 文化・芸術にふれる機会や活動の場の提供
- ② 文化芸術センターの活用
- ③ 音楽あふれるまち豊中の推進

【総合計画の該当頁】 P88～89

オ リーディングプロジェクト

- ① 南部地域活性化プロジェクト

【総合計画の該当頁】 P100～101

基本目標(2) 働く場をつくるまち とよなか

重要業績評価指標 (KPI)



指 標	数値目標
就業率(対象：15～49歳)：平成27年(2015年) 62.1% 【参考】就業率：平成27年(2015年) 51.6%	維持
市内事業所数：現状 13,044 事業所	維持
市内事業所の従業員数：現状 127,496 人	維持
開業率：現状 5.60%	7.50%
廃業率：現状 8.67%	開業率を下回る

基本的方向(施策の方向性)と具体的施策(主な取組み)

ア 安心して子育てができるよう支援します

- ① 子育てと仕事の両立の推進
- ② ひとり親家庭への支援

【総合計画の該当頁】 P45

イ 社会的援助が必要な子ども・若者への支援を充実します

- ① 若者就労支援

【総合計画の該当頁】 P51

ウ 就労支援の充実を図ります

- ① 就労に必要な能力の習得支援

【総合計画の該当頁】 P57

エ 地域産業の活性化による都市のにぎわいづくりを進めます

- ① 産業振興のための企業立地の促進

【総合計画の該当頁】 P80

オ 新たな事業の創出や担い手の育成を支援します

- ① 地域産業の活性化に向けた起業・創業支援

【総合計画の該当頁】 P81

カ リーディングプロジェクト

- ① 南部地域活性化プロジェクト

【総合計画の該当頁】 P100～101

基本目標(3) 地域でつながり支え合うまち とよなか

重要業績評価指標 (KPI)



指 標	数値目標
誰もが安全に安心して暮らせる環境が整っているまちだと思ふ理由として、地域住民同士が支えあう環境があるからと答えた市民の割合(対象：18～49歳)：現状 令和元年度(2019年度) 20.7% 【参考】地域住民同士が支えあう環境があるからと答えた市民の割合：現状 令和元年度(2019年度) 21.9%	23%
校区単位自主防災組織の組織率：現状 65.8%	73%
地域自治組織の数：現状 7団体	15団体
CSW(コミュニティソーシャルワーカー)相談支援件数：現状 1,048件	1,080件
とよなか地域創生塾卒塾後の活動者数：現状 29人	増加

基本的方向(施策の方向性)と具体的施策(主な取組み)

ア 多様な福祉ニーズに重層的に対応した福祉コミュニティに実現に取り組みます

- ① 多分野で連携する地域福祉ネットワークの構築
- ② 地域福祉活動活性化のための基盤づくりの推進

【総合計画の該当頁】 P54～55

イ 防災力の充実強化を図ります

- ① 地域防災力の充実強化

【総合計画の該当頁】 P64

ウ 交通安全意識の向上を図ります

- ① 交通安全教育の推進
- ② 交通安全啓発の推進

【総合計画の該当頁】 P65

エ まちの魅力として継承される住環境づくりを進めます

- ① バリアフリー化の推進

【総合計画の該当頁】 P78

オ 地域課題の共有を図り、協働によるまちづくりを推進します

- ① 協働事業の充実
- ② 市民が主役のまちづくりの推進

【総合計画の該当頁】 P95

カ 多様な人たちが関わる地域自治を推進します

- ① 地域自治組織の設立および活動支援
- ② 地域活動の担い手の発掘・育成支援

【総合計画の該当頁】 P95

キ リーディングプロジェクト

- ① 南部地域活性化プロジェクト

【総合計画の該当頁】 P100～101

基本目標(4) 安心して産み育てられるまち とよなか

重要業績評価指標 (KPI)



指 標	数値目標
自然増加数：現状 246 人減少	増加に転じる
子育てがしやすいまちであると感じている市民の割合 (対象：18 歳以下の子どもがいる、18～49 歳の市民) ：現状 令和元年度（2019 年度）62.2% 【参考】子育てがしやすいまちであると感じている市民の割合 ：現状 令和元年度（2019 年度）43.2%	65%
合計特殊出生率：現状 1.52	上昇
待機児童数：0 人	維持
妊娠出産について満足している者の割合：現状 78.2%	80.0%
子育て応援団登録数：現状 185 団体	220 団体

基本的方向(施策の方向性)と具体的施策(主な取組み)

ア 産前・産後の切れめのない支援を進めます

- ① 産前からの正しい知識習得の環境づくり
- ② 産後ケアの充実
- ③ 妊産婦や乳幼児の健康を確保するためのさまざまな機会の充実

【総合計画の該当頁】 P44

イ 安心して子育てができるよう支援します

- ① 子育てと仕事の両立の推進
- ② ひとり親家庭への支援

【総合計画の該当頁】 P45

ウ 地域で妊産婦および乳幼児期の親子を支えるしくみづくりを進めます

- ① 妊産婦や乳幼児期の親子が外出しやすい環境づくり
- ② 地域での子育て環境づくり

【総合計画の該当頁】 P45

エ 保育や幼児教育の充実を進めます

- ① 保育や幼児教育の質の確保・向上

【総合計画の該当頁】 P46

オ 子どもたちの学びを高める環境づくりを進めます

- ① 共に学ぶ教育の推進

【総合計画の該当頁】 P47

カ 子どもたちを育む学校・家庭・地域の連携を進めます

- ① 学校と家庭、地域をつなぐしくみづくりの推進
- ② 家庭や地域の教育力向上の支援

【総合計画の該当頁】 P48

キ 子ども・若者がそれぞれの力を活かし、社会に関わっていくことができるよう支援します

- ① 子どもの居場所づくり

【総合計画の該当頁】 P51

ク 社会的援助が必要な子ども・若者への支援を充実します

- ① 発達の特性に応じた支援、障害のある子どもへの支援
- ② 児童虐待防止対策の推進

【総合計画の該当頁】 P51

ケ リーディングプロジェクト

- ① 南部地域活性化プロジェクト

【総合計画の該当頁】 P100～101

基本目標(5) 子どもが育ち・学び、社会で活躍するまち とよなか

重要業績評価指標 (KPI)



指 標	数値目標
保育・教育環境が充実していると感じる市民の割合 (18歳以下の子どもがいる、18～49歳の市民) : 現状 令和元年度(2019年度) 52.6% 【参考】保育・教育環境が充実していると感じる市民の割合 : 現状 令和元年度(2019年度) 40.8%	55%
地域や社会をよくするために何をすべきか考えることがあると 答えた児童・生徒の割合 : 現状 小学校 17.5% 中学校 11.5%	増加
若者就業率(対象:15～34歳) : 現状 平成27年(2015年) 51.3%	維持

基本的方向(施策の方向性)と具体的施策(主な取組み)

ア 保育や幼児教育の充実を進めます

- ① 保育や幼児教育の質の確保・向上

【総合計画の該当頁】 P46

イ 子どもたちの学びを高める環境づくりを進めます

- ① 確かな学力と体力の向上、豊かな人間性の育成
- ② 小中一貫教育の推進
- ③ 共に学ぶ教育の推進

【総合計画の該当頁】 P47

ウ 子どもたちを育む学校・家庭・地域の連携を進めます

- ① 学校と家庭、地域をつなぐしくみづくりの推進
- ② 家庭や地域の教育力向上の支援

【総合計画の該当頁】 P48

エ 子ども・若者がそれぞれの力を活かし、社会に関わっていくことができるよう支援します

- ① 社会参加の促進
- ② 子どもの居場所づくり

【総合計画の該当頁】 P51

オ 社会的援助が必要な子ども・若者への支援を充実します

- ① 発達の特徴に応じた支援、障害のある子どもへの支援
- ② 若者就労支援

【総合計画の該当頁】 P51

カ 子ども・若者を取り巻く課題に総合的に対応するしくみづくりを進めます

- ① 子ども・若者を総合的に支援するしくみづくり

【総合計画の該当頁】 P52

キ 就労支援の充実を図ります

- ① 就労に必要な能力の習得支援

【総合計画の該当頁】 P57

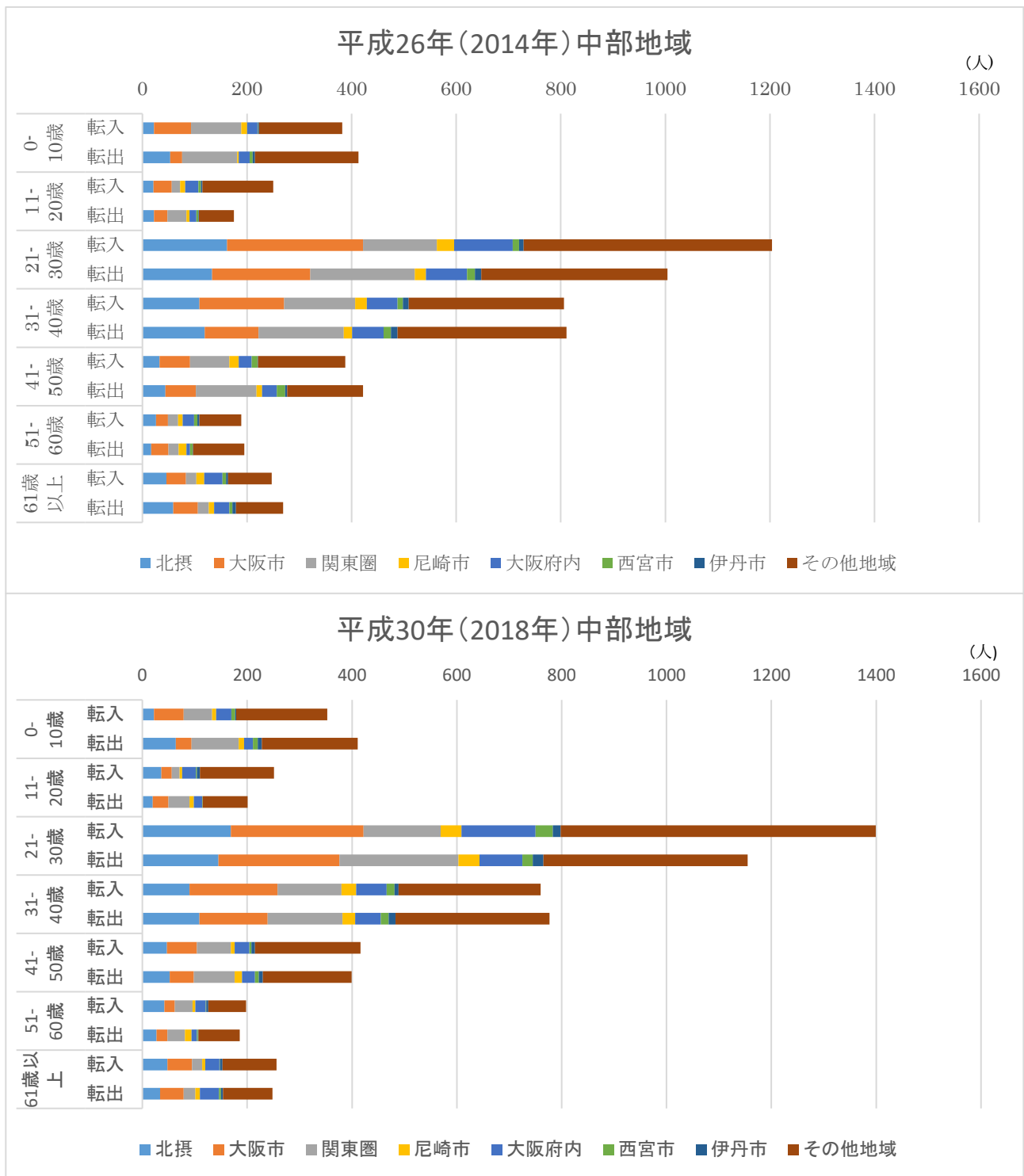
ク リーディングプロジェクト

- ① 南部地域活性化プロジェクト

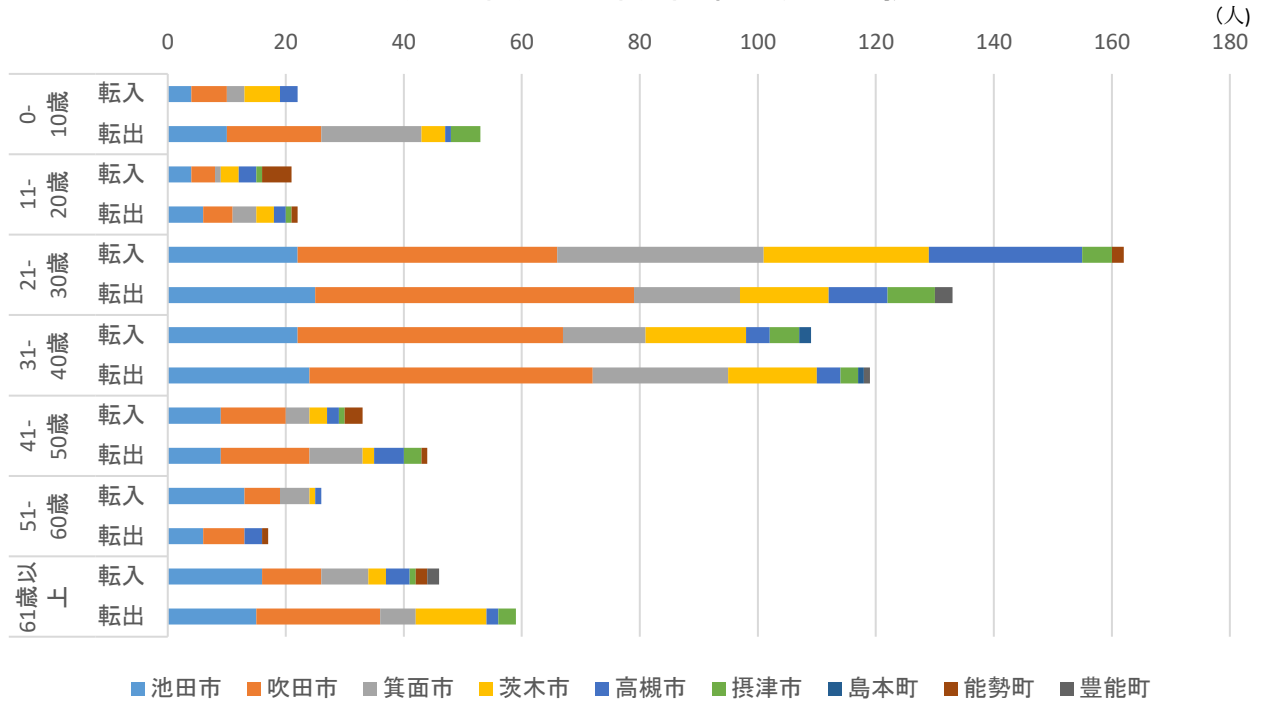
【総合計画の該当頁】 P100～101

< 参考資料 >

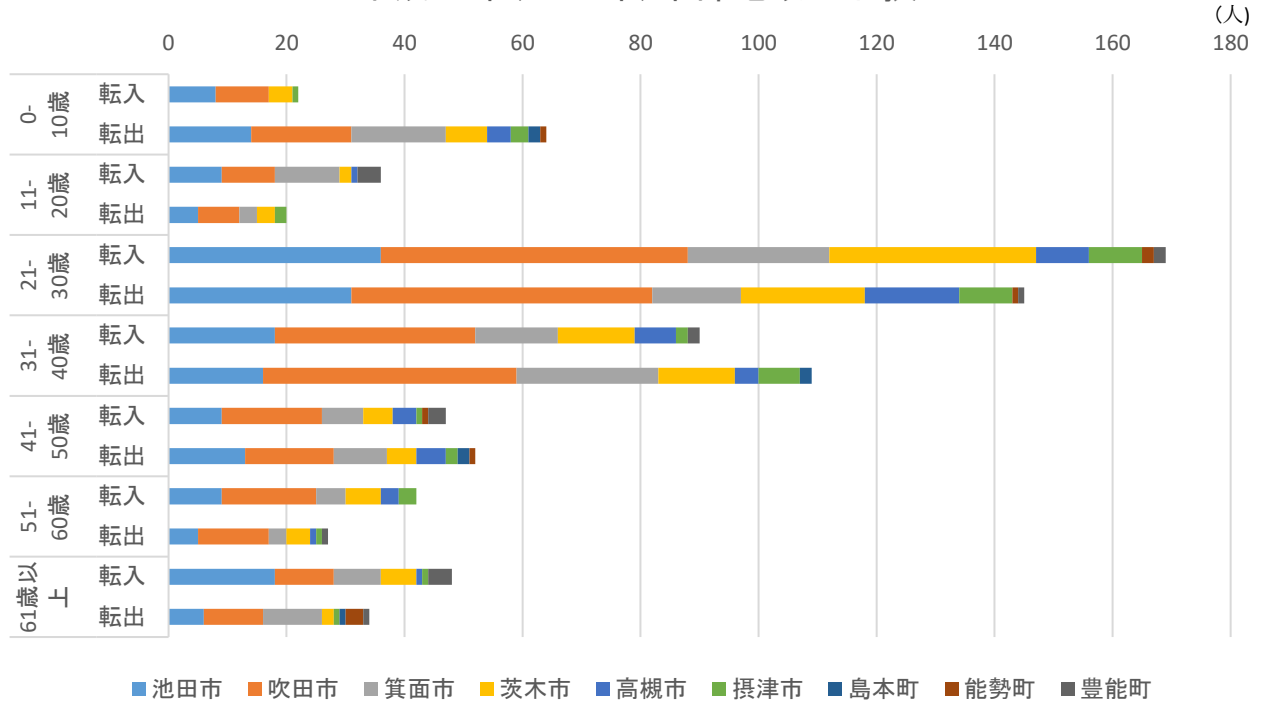
● 中部地域



平成26年(2014年)中部地域一北摂

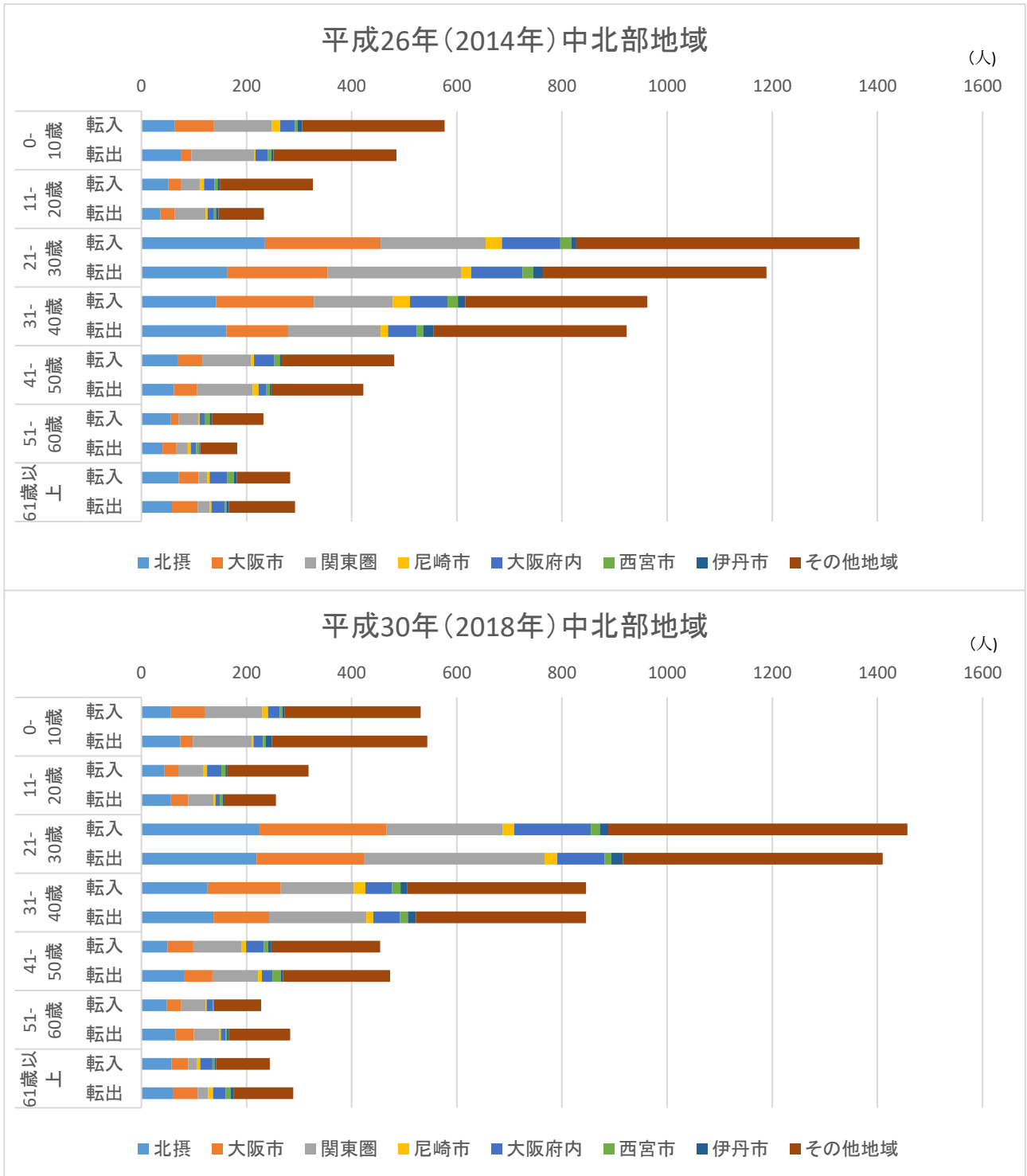


平成30年(2018年)中部地域一北摂

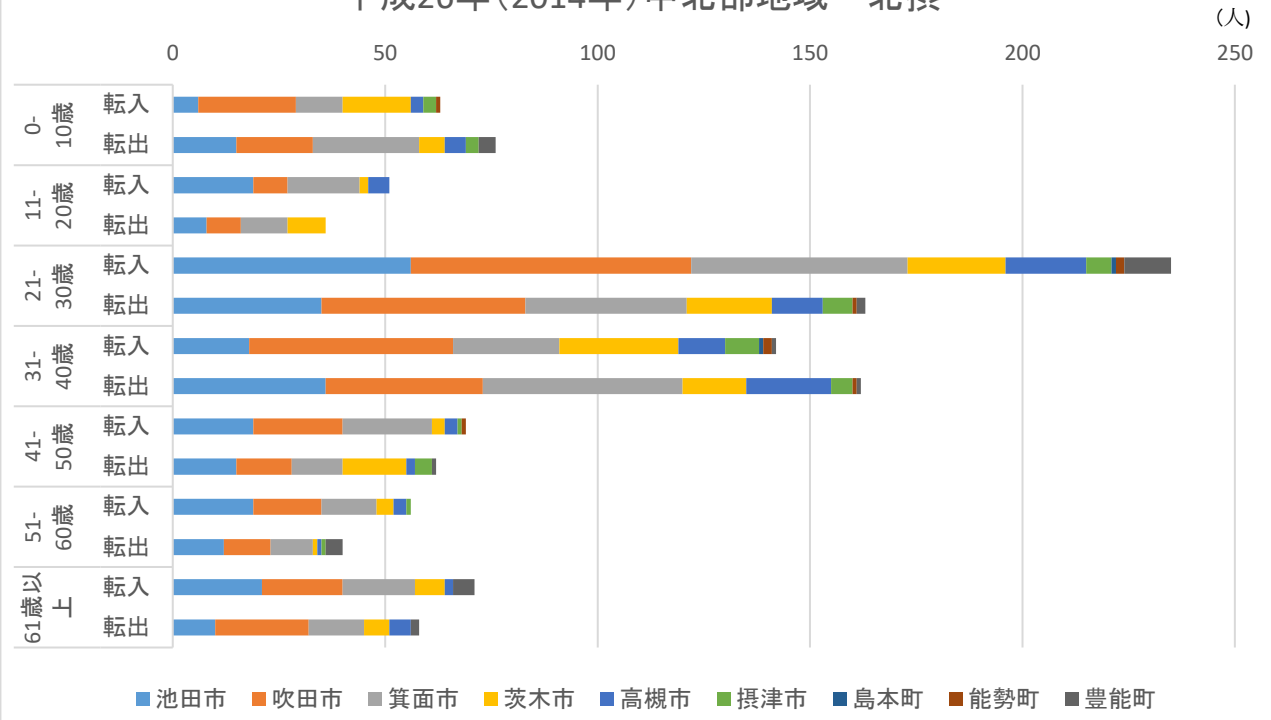


資料：住民基本台帳

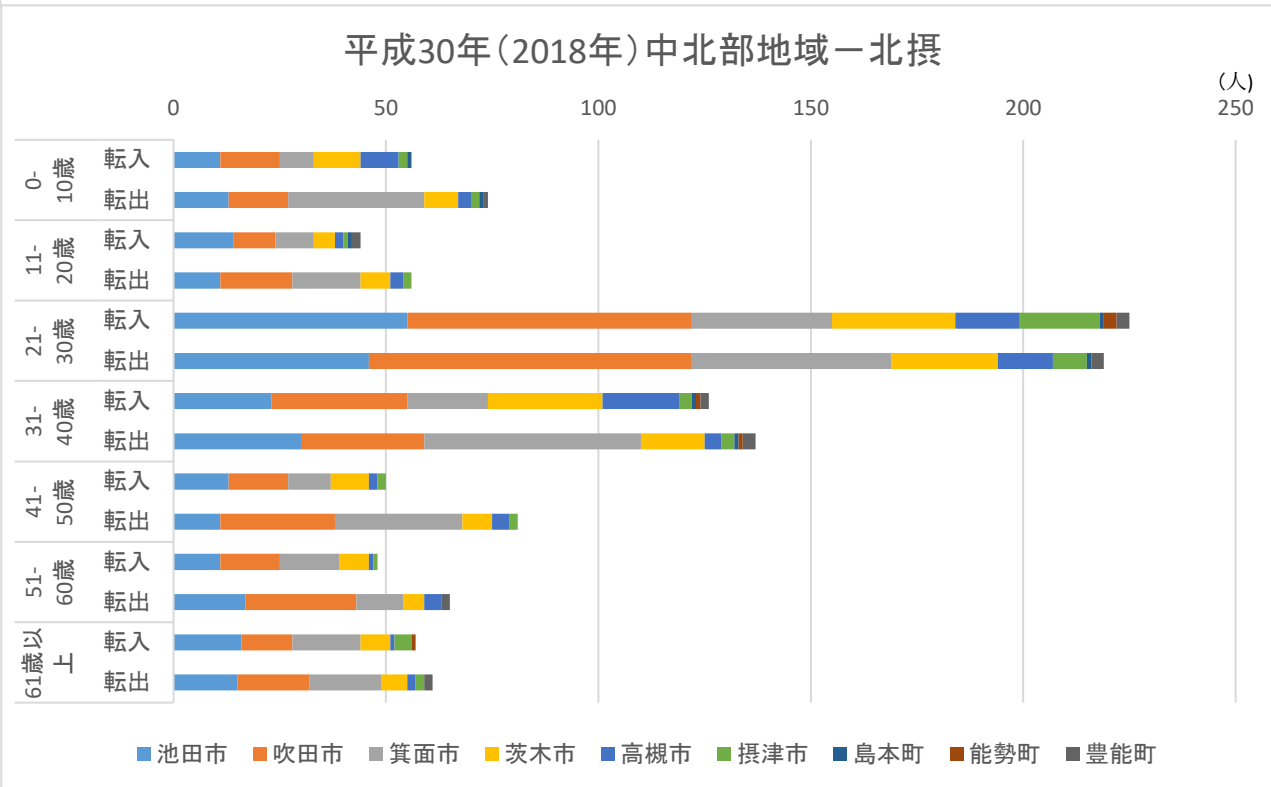
● 中北部地域



平成26年(2014年)中北部地域—北摂

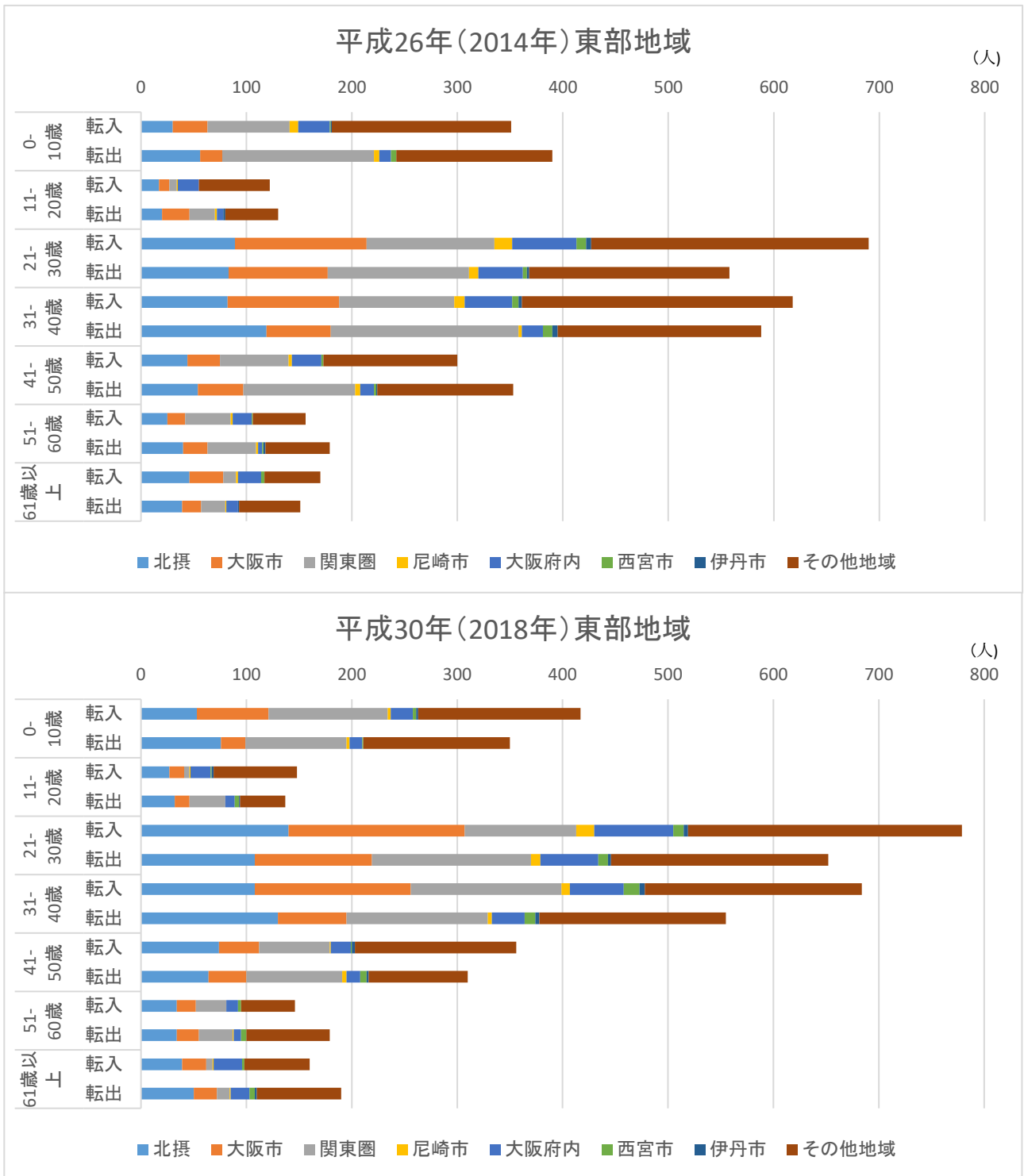


平成30年(2018年)中北部地域—北摂



資料：住民基本台帳

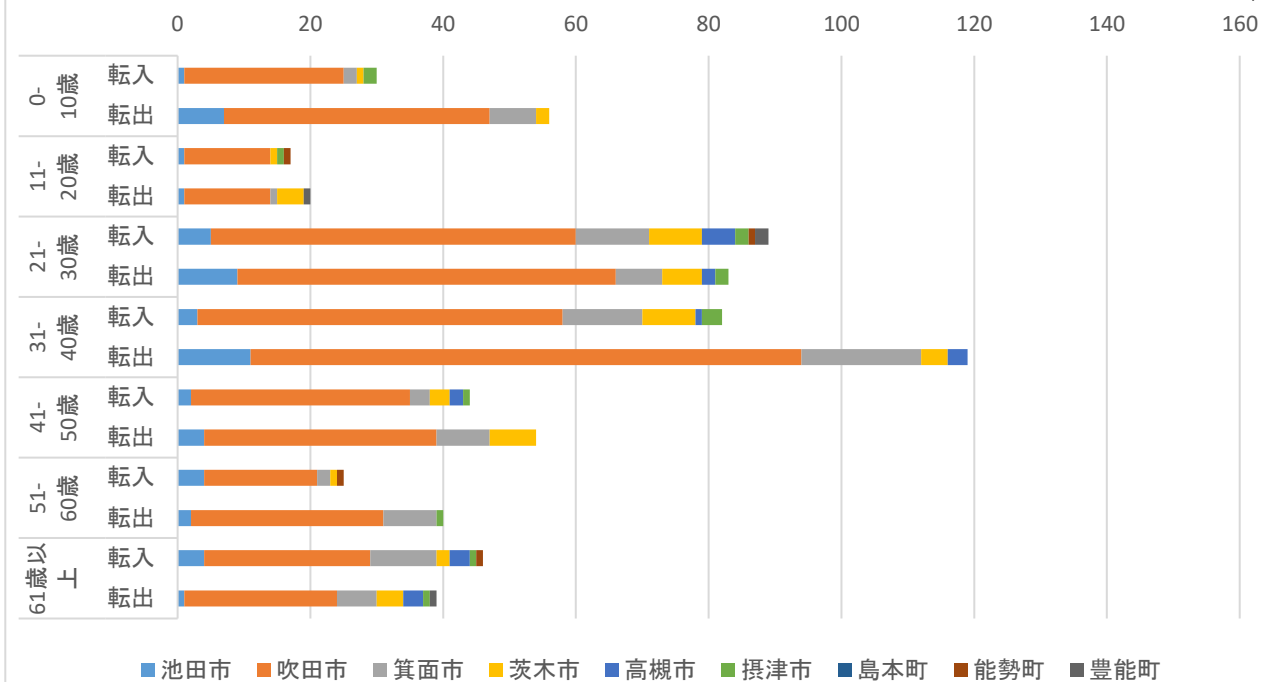
● 東部地域



資料：住民基本台帳

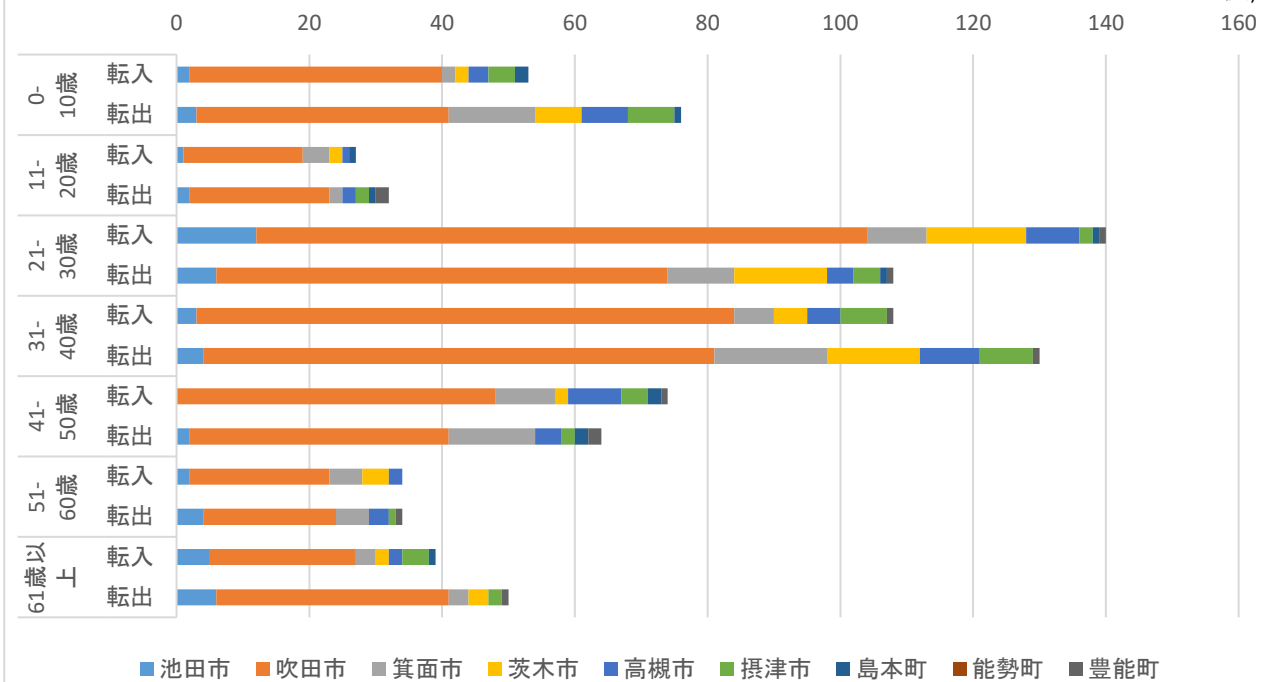
平成26年(2014年)東部地域一北摂

(人)



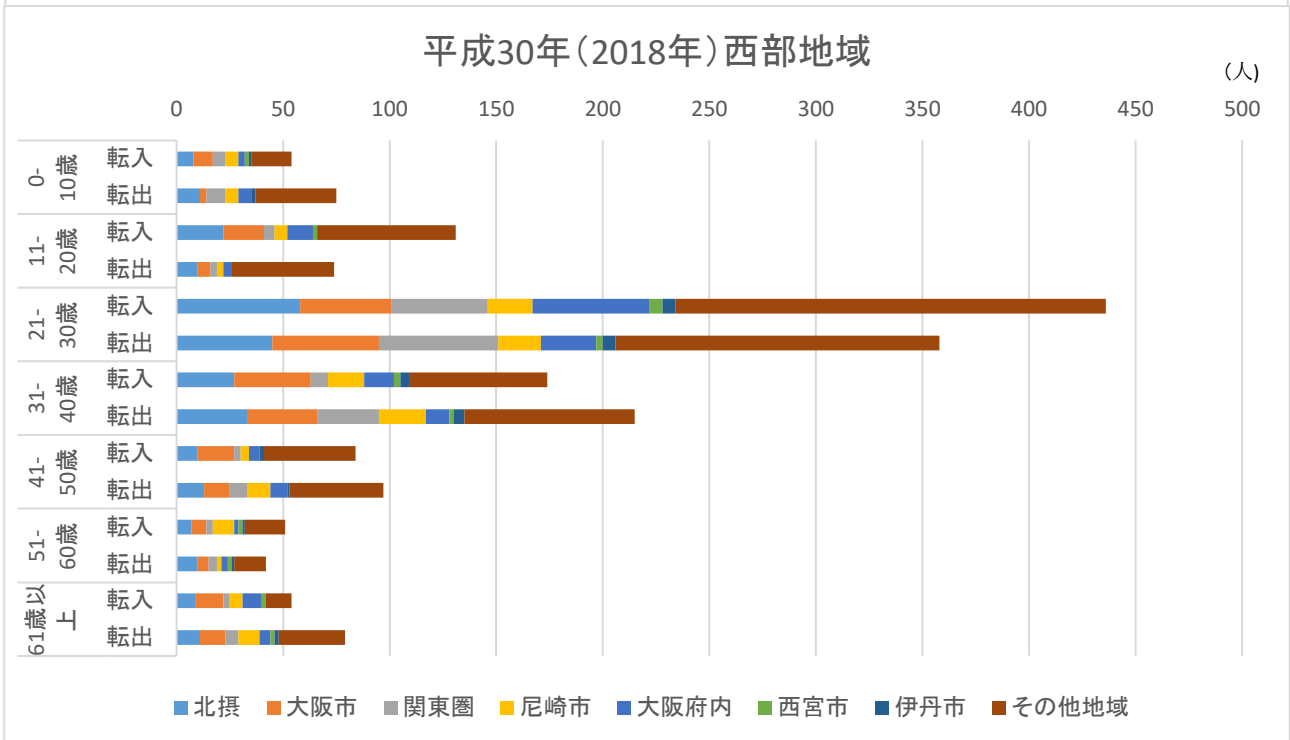
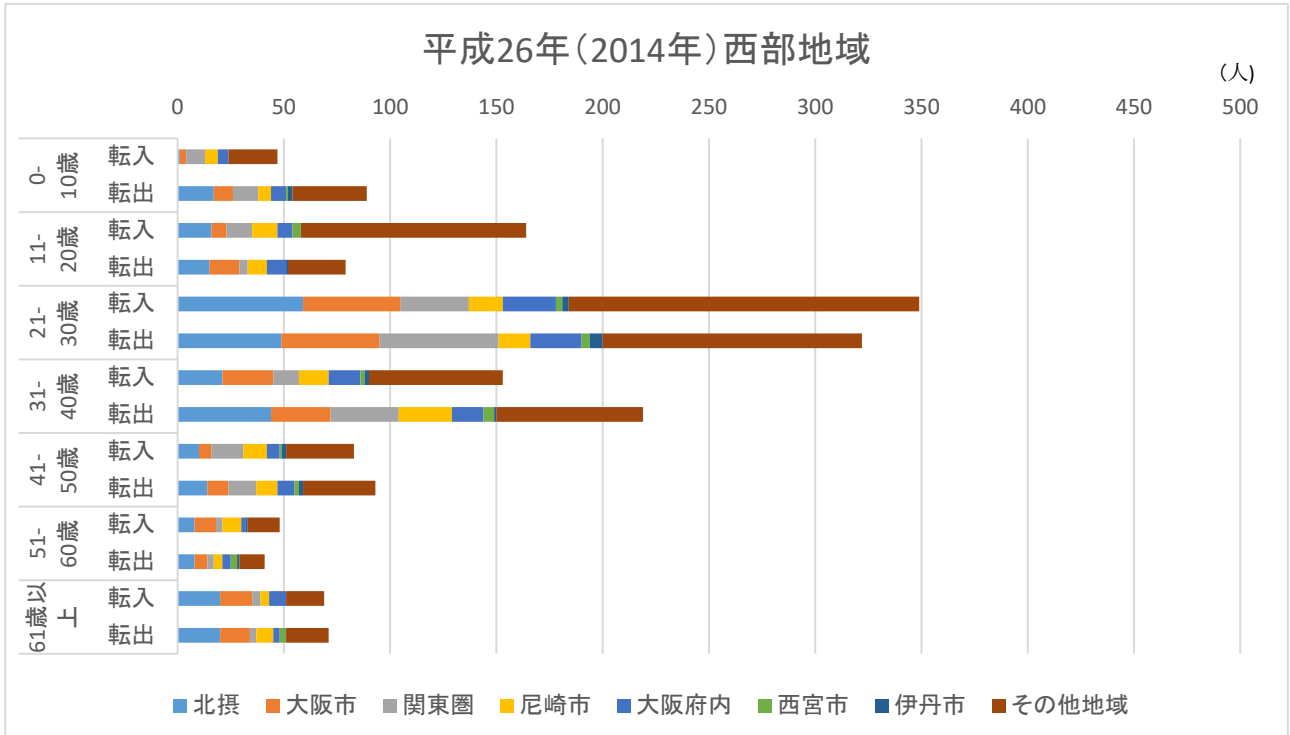
平成30年(2018年)東部地域一北摂

(人)



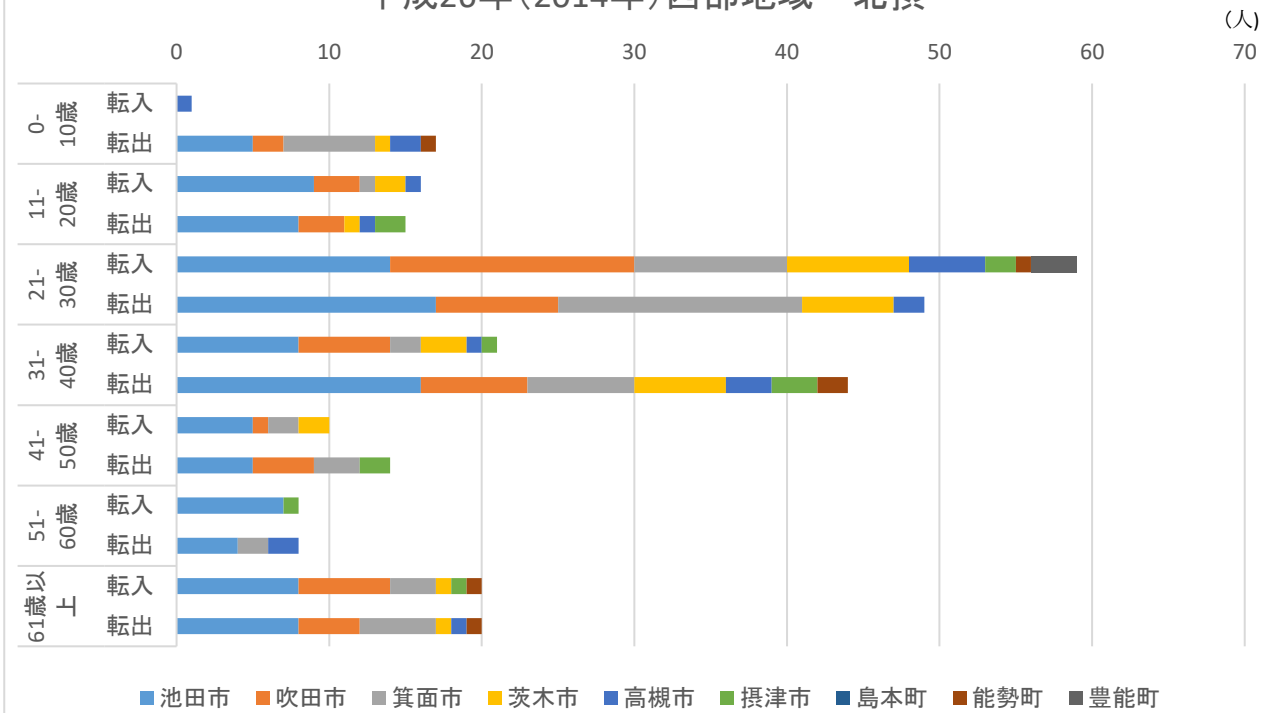
資料：住民基本台帳

●西部地域

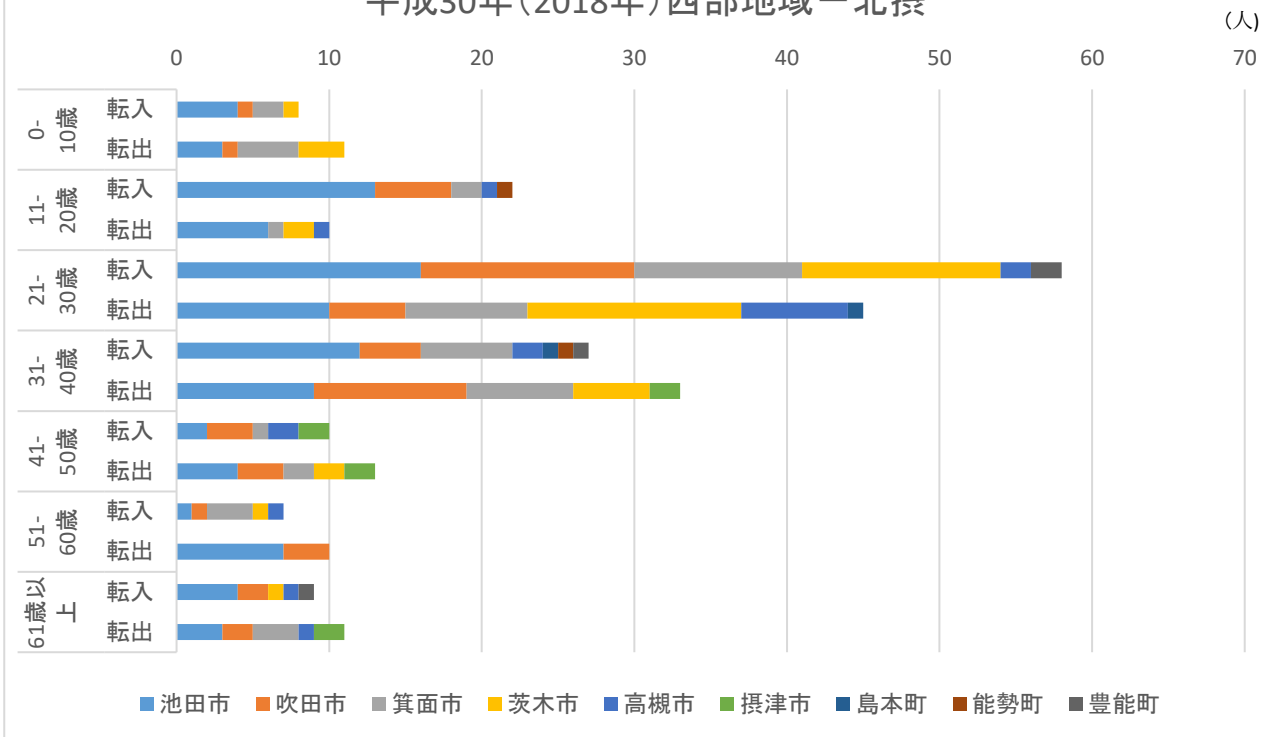


資料：住民基本台帳

平成26年(2014年)西部地域－北摂



平成30年(2018年)西部地域－北摂



資料：住民基本台帳

○第1期豊中市総合戦略での答申内容について

年度	答申内容
平成 28 年度 (2016 年度)	<ul style="list-style-type: none"> ・施策の進捗状況について、経年比較での問題点を提起することはできないが、目標達成に向け、K P I の実績値の根拠となる要因の分析を進めていただきたい。 ・都市魅力を高める施策の推進を通して、まちに愛着をもっていただけるよう、取組みを進めていただきたい。
平成 29 年度 (2017 年度)	<ul style="list-style-type: none"> ・社会環境が急速に変化する現在において、実績値が変動することがあるので、目標達成に向け、要因分析を適切に進められたい。 ・常に危機感を持ち、各地域の特性を踏まえ、市全体で次の施策展開へと取り組まれたい。 ・取組みの内容や成果、課題を、市と市民が共有していくことが大切であり留意されたい。
平成 30 年度 (2018 年度)	<ul style="list-style-type: none"> ・社会環境が日々変化していくなか、K P I 等だけでなく、時代の変化に対応した柔軟な取組みを進める必要がある。 ・今回、隔年の市民意識調査を実施し、初めて進捗を測ったK P I があった。「子育てがしやすいまちであると感じている市民の割合」を例にあげると、平成 27 年度から数値が 10 ポイントも下がっているが、市民意識調査の回答を見ると「そう思う」、「どちらかといえばそう思う」は減っているものの、「わからない」が 20 ポイント近く増えている。市民意識調査を活用するK P I 等については、数値のみを見るのではなく、前例の「わからない」が増えている理由、年代別と地域別を組み合わせたクロス集計などを行うなど、数値の示す背景も分析いただきたい。また、背景が見えにくいものについては、他市比較をするなどの方法も検討されたい。 ・豊中市総合戦略に掲げている「人口の将来展望」と取組み結果における今回の推計人口の比較や、社会増加数が大幅に増えた分析を行われたい。その分析を通して豊中の魅力を見つめ直し、市民の方が市内外に発信しやすい環境を作るために、市がわかりやすい発信をする必要がある。
令和元年度 (2019 年度)	<ul style="list-style-type: none"> ・通学路交通安全点検の実施割合は 100%を維持しているが、子どもが巻き込まれる事故が多発するなど、社会環境の変化に対応したK P I 等の見直しも必要である。 ・総合戦略に掲げている人口の減少に歯止めをかける観点では、現在、微増ながら人口は増えている。要因は社会増加数によるものだが、これがどういう政策の効果の結果であるのか、また社会増加数だけでなく自然増加数も検証するなどの検討も必要である。そのために、社会増加数の分析を行い、転入・転出している人の年齢構成や地域ごとの転入・転出の状況等を検証する必要がある。 ・次期総合戦略を策定する上では、R E S A S など、国が提供している統計資料やビッグデータをさらに活用したK P I 等を設定し検証する必要がある。



第2期豊中市まち・ひと・しごと創生総合戦略

令和2年（2020年）3月

発行：豊中市都市経営部経営計画課

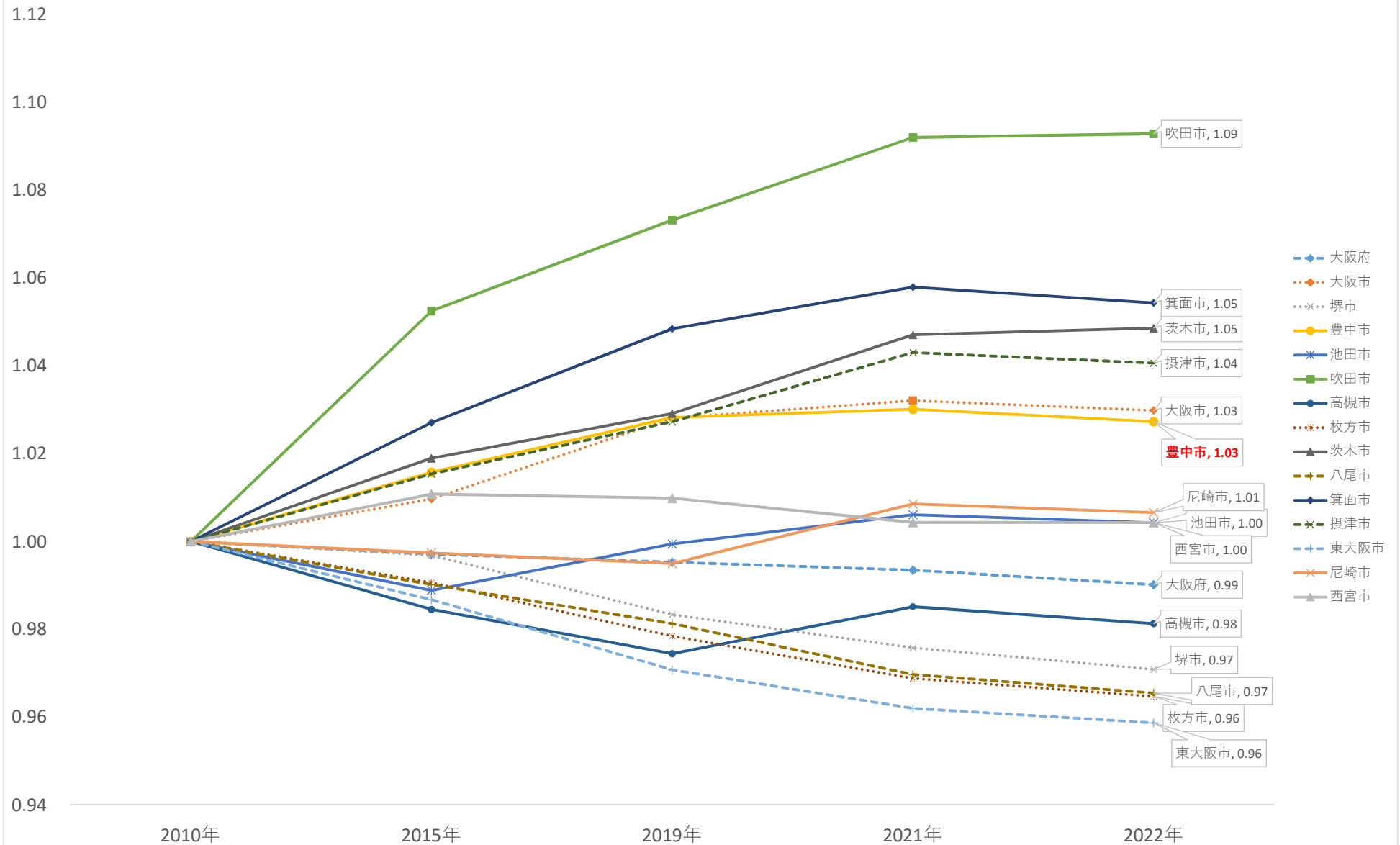
〒561-8501 豊中市中桜塚3丁目1番1号

電話 (06) 6858-2773

ホームページ <http://www.city.toyonaka.osaka.jp>

大阪府、政令市、中核市、近隣市の人口増減率（2010年比）

【参考2】



(問8) 転入先として、豊中市や豊中市以外のまちを検討しましたか。(1つに○印)

1. 他のまちは検討せず、豊中市内だけで探した
2. 他のまちも検討したが、豊中市に決めた
 ↳ 具体的にどこを検討されましたか。(複数選択可)

[1. 大阪市 2. 吹田市 3. 箕面市 4. 尼崎市 5. 西宮市 6. その他()]

(問9) 豊中市を転入先に選んだ理由はなんですか。(あてはまる番号すべてに○印)

1. 交通の利便性がよい ※内容にも○をつけてください
 [新大阪に近い・大阪国際空港に近い・梅田に近い・高速道路に近い・その他()]
2. 日常生活に必要なお店が揃っている ※内容にも○をつけてください
 [スーパーマーケット・ドラッグストア・ホームセンター・飲食店・その他()]
3. 職場・学校に近い
4. 気に入った物件があった
5. 子育て・教育環境がよい
6. 市の子育て・教育施策が充実している
7. 病院などの保健・医療体制が整っている
8. 市の福祉施策が充実している
9. 公園・緑地が多い
10. 道路などの都市基盤の整備がよい
11. まちが安全で安心して暮らせる
12. まちのイメージがよい
13. 以前豊中市に住んでいた
14. 親族や知人の家に近い
15. 親族や知人に薦められた
16. 不動産会社から薦められた
17. その他()

(問10) 豊中市のまちづくりに対して、どんなことを期待しますか。(あてはまる番号すべてに○印)

1. 子育て環境の充実
2. 教育環境の充実
3. 子ども・若者への支援の充実
4. 福祉(高齢者・障害者・生活困窮者)の充実
5. 病院などの保健医療体制の充実
6. 救急・防災などの救急時体制の確保
7. 犯罪や交通事故防止など安全性の確保
8. 公園や水辺などのうるおいのある環境づくり
9. リサイクルなど環境に配慮したまちづくり
10. 通勤・通学がしやすい公共交通の充実
11. 駅周辺の整備
12. 美しいまちなみの形成
13. 製造業など元気な産業づくり
14. 雇用の場の充実
15. 多彩な文化活動の展開
16. 生涯学習の機会や場づくり
17. スポーツなどを通じた健康づくり
18. 高齢者が元気に活動できるまちづくり
19. 住民による「まちづくり活動」の活発化
20. その他()

以上でアンケートは終わりです。ご協力いただき、誠にありがとうございました。

『転入者の皆様へのアンケート調査』（それ以外）

(問1) あなたの性別を教えてください。(1つに○印)

1. 男性 2. 女性 3. その他

(問2) あなたの年齢を教えてください。(1つに○印)

1. 10歳代 2. 20歳代 3. 30歳代 4. 40歳代
-
5. 50歳代 6. 60歳代 7. 70歳代 8. 80歳以上

(問3) 転入前と転入後の家族構成について教えてください。

(転入前、転入後それぞれ1つに○印)

転入前	1. 自分のみ	2. 夫婦・パートナー	3. 二世帯(親・子)
	4. 三世帯(親・子・孫)	5. その他()	
転入後	1. 自分のみ	2. 夫婦・パートナー	3. 二世帯(親・子)
	4. 三世帯(親・子・孫)	5. その他()	

(問4) 上記の(問3)の転入後で「3」、「4」、「5」を選択された方にお伺いします。

転入されるお子さんについて、人数を教えてください。

年齢層別の人数の内訳			
ア. 3歳未満	人	オ. 中学卒業後18歳まで	人
イ. 3歳以上小学校入学前	人	カ. 18歳以上39歳以下	
ウ. 小学生	人	キ. 40歳以上	
エ. 中学生	人		

(問5) 転入前の住所と豊中市のご住所を教えてください。

転入前	都道府県()市町村名()
豊中市	豊中市()(町)()丁目

(問6) 転入前のお住まいと豊中市のお住まいについて教えてください。

(転入前、豊中市それぞれ1つに○印)

転入前	1. 持ち家の一戸建て	2. 持ち家の集合住宅(マンションなど)
	3. 賃貸の一戸建て	4. 賃貸のアパート・マンションなど
	5. 社宅・寮	6. その他
豊中市	1. 持ち家の一戸建て	2. 持ち家の集合住宅(マンションなど)
	3. 賃貸の一戸建て	4. 賃貸のアパート・マンションなど
	5. 社宅・寮	6. その他

(問7)豊中市に転入される最も大きなきっかけを教えてください。(1つに○印)

- | | |
|-----------------------|------------------------|
| 1. 住宅の都合(新築・借り換えなど) | 2. お子さんの都合(出産、進学、通学など) |
| 3. 配偶者やパートナーと同居するため | 4. 配偶者やパートナーと別居するため |
| 5. 親や子ども、その他親族との同居のため | 7. 親や子ども、その他親族との近居のため |
| 8. 親や子ども、その他親族との別居のため | 9. よりよい周囲環境を求めて |
| 10. よりよい住宅を求めて | 11. その他() |

(問8)転入前に、豊中市について、十分な生活情報(市内の交通の便や買い物施設、医療施設、文化施設や公園など)をお持ちでしたか。(1つに○印)

- | | | |
|---------------|--------------|--------------|
| 1. よく知っていた | 2. ある程度知っていた | 3. あまり知らなかった |
| 4. ほとんど知らなかった | | |

(問9)問8で「1及び2」に○をつけられた方にお伺いします。

豊中市についての情報は、どのように集められましたか。(1つに○印)

- | | |
|---------------------|--------------------------------|
| 1. 市ホームページ | 2. 市SNS(LINE、Twitter、Facebook) |
| 3. 住宅の広告やインターネットから | 4. マスコミの情報 |
| 5. 勤務先の同僚から | 6. 不動産業者や住宅会社から |
| 7. 豊中市に住んでいる親族や知人から | 8. 豊中市以外に住んでいる親族や知人から |
| 9. その他() | |

(問10)転入先として、豊中市や豊中市以外のまちを検討しましたか。(1つに○印)

- | |
|-------------------------------|
| 1. 他のまちは検討せず、豊中市内だけで探した |
| 2. <u>他のまち</u> も検討したが、豊中市に決めた |
| ↳ 具体的にどこを検討されましたか。(複数選択可) |

[1. 大阪市 2. 吹田市 3. 箕面市 4. 尼崎市 5. 西宮市 6. その他()]

(問11)豊中市を転入先に選んだ理由はなんですか。(あてはまる番号すべてに○印)

- | | |
|---|----------------------|
| 1. 交通の利便性がよい ※内容にも○をつけてください | |
| [新大阪に近い・大阪国際空港に近い・梅田に近い・高速道路が近い・その他()] | |
| 2. 日常生活に必要なお店が揃っている ※内容にも○をつけてください | |
| [スーパーマーケット・ドラッグストア・ホームセンター・飲食店・その他()] | |
| 3. 職場・学校に近い | 4. 気に入った物件があった |
| 5. 子育て・教育環境がよい | 6. 市の子育て・教育施策が充実している |
| 7. 病院などの保健・医療体制が整っている | 8. 市の福祉施策が充実している |
| 9. 公園・緑地が多い | 10. 道路などの都市基盤の整備がよい |
| 11. まちが安全で安心して暮らせる | 12. まちのイメージがよい |
| 13. 買い物など日常生活が便利 | 14. 以前豊中市に住んでいた |
| 15. 親族や知人の家に近い | 16. 親族や知人に薦められた |
| 17. 不動産会社から薦められた | 18. その他() |

(問12)豊中市のまちづくりに対して、どんなことを期待しますか。(あてはまる番号すべてに○印)

- | | |
|------------------------|-------------------------|
| 1. 子育て環境の充実 | 2. 教育環境の充実 |
| 3. 子ども・若者への支援の充実 | 4. 福祉（高齢者・障害者・生活困窮者）の充実 |
| 5. 病院などの保健医療体制の充実 | 6. 救急・防災などの救急時体制の確保 |
| 7. 犯罪や交通事故防止など安全性の確保 | 8. 公園や水辺などのうるおいのある環境づくり |
| 9. リサイクルなど環境に配慮したまちづくり | 10. 通勤・通学がしやすい公共交通の充実 |
| 11. 駅周辺の整備 | 12. 美しいまちなみの形成 |
| 13. 製造業など元気な産業づくり | 14. 雇用の場の充実 |
| 15. 多彩な文化活動の展開 | 16. 生涯学習の機会や場づくり |
| 17. スポーツなどを通じた健康づくり | 18. 高齢者が元気に活動できるまちづくり |
| 19. 住民による「まちづくり活動」の活発化 | |
| 20. その他（ | ） |

以上でアンケートは終わりです。ご協力いただき、誠にありがとうございました。

(問7)豊中市にお住まいになって、ご不満だった点として、次のどれが当てはまりますか。

(あてはまる番号すべてに○印)

- | | |
|-------------------------------------|--------------------|
| 1. 交通の利便性が悪い | 2. 歩行者や自転車が通行しづらい |
| 3. 日常生活に必要なお店が揃っていない ※内容にも○をつけてください | |
| [スーパーマーケット・ドラッグストア・日用品・飲食店・その他()] | |
| 4. 子育て環境がよくない | 5. 市の子育て施策が充実していない |
| 6. 教育環境がよくない | 7. 市の教育施策が充実していない |
| 8. 病院などの医療施設が近くにない | 9. 市の福祉施策が充実していない |
| 10. 公園・緑地が少ない | 10. ご近所づきあいがわずらわしい |
| 12. まちの安全面に不安がある | 12. 地震など災害時に不安がある |
| 14. 車の騒音・振動 | 14. 飛行機の騒音 |
| 16. その他 () | |

(問8)豊中市にお住まいになって、満足されましたか。(1つに○印)

1. 満足 2. どちらかといえば満足 3. どちらかといえば不満足 4. 不満足

(問9)もし機会があれば、豊中市にもう一度住みたいと思われませんか。(1つに○印)

1. 住みたい 2. 住みたいと思わない 3. わからない
4. 状況が変われば住みたい

(どういう状況になったら住みたいですか:)

以上でアンケートは終わりです。ご協力いただき、誠にありがとうございました。

『転出者の皆様へのアンケート調査』（それ以外）

(問1) あなたの性別を教えてください。(1つに○印)

1. 男性 2. 女性 3. その他

(問2) あなたの年齢を教えてください。(1つに○印)

1. 10歳代 2. 20歳代 3. 30歳代 4. 40歳代
-
5. 50歳代 6. 60歳代 7. 70歳代 8. 80歳以上

(問3) 転出前と転出後の家族構成について教えてください。

(転出前、転出後それぞれ1つに○印)

転出前	1. 自分のみ	2. 夫婦・パートナー	3. 二世帯(親・子)
	4. 三世帯(親・子・孫)	5. その他()	
転出後	1. 自分のみ	2. 夫婦・パートナー	3. 二世帯(親・子)
	4. 三世帯(親・子・孫)	5. その他()	

(問4) 上記の(問3)の転出後で「3」、「4」、「5」を選択された方にお伺いします。

転出されるお子さんについて、人数を教えてください。

年齢層別の人数の内訳			
ア. 3歳未満	人	オ. 中学卒業後18歳まで	人
イ. 3歳以上小学校入学前	人	カ. 18歳以上39歳以下	
ウ. 小学生	人	キ. 40歳以上	
エ. 中学生	人		

(問5) 現在の住所と転出後の住所を教えてください。

現在	豊中市() (町) () 丁目
転出後	都道府県() 市町村名()

(問6) 現在のお住まいと転出後のお住まいについて教えてください。

(現在、転出後それぞれ1つに○印)

現在	1. 持ち家の一戸建て	2. 持ち家の集合住宅(マンションなど)
	3. 賃貸の一戸建て	4. 賃貸のアパート・マンションなど
	5. 社宅・寮	6. その他
転出後	1. 持ち家の一戸建て	2. 持ち家の集合住宅(マンションなど)
	3. 賃貸の一戸建て	4. 賃貸のアパート・マンションなど
	5. 社宅・寮	6. その他

(問7)豊中市から転出される最も大きなきっかけを教えてください。(1つに○印)

- | | |
|-----------------------|------------------------|
| 1. 住宅の都合(新築・借り換えなど) | 2. お子さんの都合(出産、進学、通学など) |
| 3. 配偶者やパートナーと同居するため | 4. 配偶者やパートナーと別居するため |
| 5. 親や子ども、その他親族との同居のため | 7. 親や子ども、その他親族との近居のため |
| 8. 親や子ども、その他親族との別居のため | 9. よりよい周囲環境を求めて |
| 10. よりよい住宅を求めて | 11. その他() |

(問8)豊中市にお住まいになって、どのような点に魅力を感じましたか。

(あてはまる番号すべてに○印)

- | | |
|--|----------------------|
| 1. 交通の利便性がよい | 2. 通勤・通学が便利 |
| 3. 日常生活に必要なお店が揃っている ※内容にも○をつけてください
[スーパーマーケット・ドラッグストア・ホームセンター・飲食店・その他()] | |
| 4. 住宅条件(家賃・立地など)がよい | 5. 公園・緑地が多い |
| 6. 子育て・教育環境がよい | 7. 市の子育て・教育施策が充実している |
| 8. 病院などの保健・医療体制が整っている | 9. 市の福祉施策が充実している |
| 10. 公園・緑地が多い | 11. 道路などの都市基盤の整備がよい |
| 12. まちが安全で安心して暮らせる | 13. まちのイメージがよい |
| 14. その他() | |

(問9)豊中市にお住まいになって、ご不満だった点として、次のどれが当てはまりますか。

(あてはまる番号すべてに○印)

- | | |
|---|--------------------|
| 1. 交通の利便性が悪い | 2. 歩行者や自転車が通行しづらい |
| 3. 日常生活に必要なお店が揃っていない ※内容にも○をつけてください
[スーパーマーケット・ドラッグストア・日用品・飲食店・その他()] | |
| 4. 子育て環境がよくない | 5. 市の子育て施策が充実していない |
| 6. 教育環境がよくない | 7. 市の教育施策が充実していない |
| 8. 病院などの医療施設が近くにない | 9. 市の福祉施策が充実していない |
| 10. 公園・緑地が少ない | 10. ご近所づきあいがわずらわしい |
| 12. まちの安全面に不安がある | 12. 地震など災害時に不安がある |
| 14. 車の騒音・振動 | 14. 飛行機の騒音 |
| 16. その他() | |

(問10)豊中市にお住まいになって、満足されましたか。(1つに○印)

1. 満足 2. どちらかといえば満足 3. どちらかといえば不満足 4. 不満足

(問11)もし機会があれば、豊中市にもう一度住みたいと思われますか。(1つに○印)

1. 住みたい 2. 住みたいと思わない 3. わからない
4. 状況が変われば住みたい

(どういふ状況になったら住みたいですか：

)

以上でアンケートは終わりです。ご協力いただき、誠にありがとうございました。

『転入者の皆様へのアンケート調査』

① (問1) あなたの性別を教えてください。(1つに○印)

1. 男性 2. 女性 3. その他

② (問2) あなたの年齢を教えてください。(1つに○印)

1. 10歳代 2. 20歳代 3. 30歳代 4. 40歳代
-
5. 50歳代 6. 60歳代 7. 70歳代 8. 80歳以上

(問3) 転入前と転入後の家族構成について教えてください。

(転入前、転入後それぞれ1つに○印)

③ 転入前	1. 自分のみ 2. 夫婦・パートナー 3. 18歳未満を含む二世帯(親・子) 4. 18歳以上のみの二世帯(親・子) 5. 18歳未満を含む三世帯(親・子・孫) 6. 18歳以上のみの三世帯(親・子・孫) 7. その他
④ 転入後	1. 自分のみ 2. 夫婦・パートナー 3. 18歳未満を含む二世帯(親・子) 4. 18歳以上のみの二世帯(親・子) 5. 18歳未満を含む三世帯(親・子・孫) 6. 18歳以上のみの三世帯(親・子・孫) 7. その他

⑤ (問4) 18歳未満を含む世帯の方は同居されている18歳未満の方について教えてください。

年齢層別の人数の内訳			
ア. 3歳未満	人	イ. 3歳以上小学校入学前	人
ウ. 小学生	人	エ. 中学生	人
オ. 中学卒業後18歳まで	人		

(問5) 転入前の住所と豊中市のご住所を教えてください。

⑥ 転入前	都道府県 () 市町村名 ()
⑦ 豊中市	豊中市 () (町) () 丁目

⑧ (問6) 豊中市に転入される最も大きなきっかけを教えてください。(当てはまるもの1つを選択)

- | | |
|------------------------|---------------------|
| 1. 自身・家族の転勤のため | 2. 自身・家族の転職・就職のため |
| 3. 大学や専門学校への進学のため | 4. 住宅の都合(新築・借り換えなど) |
| 5. お子さんの都合(出産、進学、通学など) | 6. 配偶者やパートナーと同居するため |
| 7. 配偶者やパートナーと別居するため | 8. 親族(親や子など)との同居のため |

9. 親族（親や子など）との近居のため
10. 親族（親や子など）との別居のため
11. その他（ ⑨ ）

⑩（問7）転入前に、豊中市について、十分な生活情報（市内の交通の便や買い物施設、医療施設、文化施設や公園など）をお持ちでしたか。（1つのみ○）

1. よく知っていた 2. ある程度知っていた 3. あまり知らなかった
4. ほとんど知らなかった

⑪（問8）問7で「1及び2」に○をつけられた方にお伺いします。

豊中市についての情報は、主にどのように集められましたか。（あてはまるもの1つを選択）

1. 市ホームページ 2. 市SNS（LINE、Twitter、Facebook）
3. 住宅の広告やインターネットから 4. マスコミの情報
5. 勤務先の同僚から 6. 不動産業者や住宅会社から
7. 豊中市に住んでいる（いた）人から 8. 豊中市以外に住んでいる（いた）人から
9. 以前豊中市に住んでいた 10. その他（ ⑫ ）

⑬（問9）転入先として、豊中市や豊中市以外のまちを検討しましたか。

1. 他のまちは検討せず、豊中市内だけで探した
2. 他のまちも検討したが、豊中市に決めた

↳ ⑭～⑯具体的にどこを検討されましたか。（上位3つ）

- [1. 大阪市 2. 吹田市 3. 箕面市 4. 尼崎市 5. 西宮市 6. その他（ ⑰ ）]

⑱（問10）豊中市を転入先に選んだ最も大きな理由はなんですか。（1つのみ○）

1. 交通の利便性がよい 2. 日常生活に必要なお店が揃っている
3. 自身や家族の職場・学校に近い 4. 気に入った物件があった
5. 子育て・教育環境がよい 6. 公園・緑地が多い
7. まちが安全で安心して暮らせる 8. まちのイメージがよい
9. 以前豊中市に住んでいた 10. 親族や知人の家に近い
11. 親族や知人に薦められた 12. 不動産会社から薦められた
13. その他（ ⑲ ）

⑳（問11）豊中市のまちづくりに対して、1番期待することは何ですか。（1つのみ○）

1. 子育て環境の充実 2. 教育環境の充実
3. 高齢者・障害者・生活困窮者等への福祉サービスの充実
4. 医療体制や救急救命体制の充実 5. 通勤・通学がしやすい公共交通の充実
6. 公園や緑があふれるまちづくり 7. 環境に配慮した取組みの充実
8. 産業や雇用の場の充実 9. 文化・芸術・スポーツの場の充実
10. その他（㉑）

以上でアンケートは終わりです。ご協力いただき、誠にありがとうございました。

『転出者の皆様へのアンケート調査』

① (問1) あなたの性別を教えてください。(1つに○印)

1. 男性 2. 女性 3. その他

② (問2) あなたの年齢を教えてください。(1つに○印)

1. 10歳代 2. 20歳代 3. 30歳代 4. 40歳代
-
5. 50歳代 6. 60歳代 7. 70歳代 8. 80歳以上

(問3) 転出前と転出後の家族構成について教えてください。

(転出前、転出後それぞれ1つに○印)

③ 転出前	1. 自分のみ 2. 夫婦・パートナー 3. 18歳未満を含む二世帯(親・子) 4. 18歳以上のみの二世帯(親・子) 5. 18歳未満を含む三世帯(親・子・孫) 6. 18歳以上のみの三世帯(親・子・孫) 7. その他
④ 転出後	1. 自分のみ 2. 夫婦・パートナー 3. 18歳未満を含む二世帯(親・子) 4. 18歳以上のみの二世帯(親・子) 5. 18歳未満を含む三世帯(親・子・孫) 6. 18歳以上のみの三世帯(親・子・孫) 7. その他

⑤ (問4) 18歳未満を含む世帯の方は同居されている18歳未満の方について教えてください。

年齢層別の人数の内訳			
ア. 3歳未満	人	イ. 3歳以上小学校入学前	人
ウ. 小学生	人	エ. 中学生	人
オ. 中学卒業後18歳まで	人		

(問5) 現在の住所と転出後の住所を教えてください。

⑥現在	豊中市() (町) () 丁目
⑦転出後	都道府県() 市町村名()

⑨ (問6) 豊中市から転出される最も大きなきっかけを教えてください。(1つのみ○)

- | | |
|------------------------|---------------------|
| 1. 自身・家族の転勤のため | 2. 自身・家族の転職・就職のため |
| 3. 大学や専門学校への進学のため | 4. 住宅の都合(新築・借り換えなど) |
| 5. お子さんの都合(出産・進学・通学など) | 6. 配偶者やパートナーと同居するため |

【参考4】

7. 配偶者やパートナーと別居するため
8. 親族（親・子など）との同居のため
9. 親族（親・子など）との近居のため
10. 親族（親・子など）との別居のため
11. その他（ ⑨ ）

⑩（問7）豊中市にお住まいの年数について教えてください。

1. 1年未満
2. 1年以上～3年未満
3. 3年以上～5年未満
4. 5年以上～10年未満
5. 10年以上～20年未満
6. 20年以上

⑪（問8）豊中市にお住まいになって、最も魅力に感じたことは何ですか。（1つのみ○）

1. 交通の利便性がよい
2. 日常生活に必要なお店が揃っている
3. 通勤・通学が便利
4. 住宅条件（家賃・立地など）がよい
5. 子育て・教育環境がよい
6. 公園・緑地が多い
7. まちが安全で安心して暮らせる
8. まちのイメージがよい
9. 親族や知人の家に近い
10. その他（⑫）

⑫（問9）豊中市にお住まいになって、特にご不満だった点は何ですか。（1つのみ○）

1. 交通の利便性が悪い
2. 歩行者や自転車が通行しづらい
3. 日常生活に必要なお店が揃っていない
4. 子育て環境がよくない
5. 教育環境がよくない
6. 病院などの医療施設が近くにない
7. 福祉サービスが充実していない
8. 公園・緑地が少ない
9. まちの安全面に不安がある
10. 飛行機や車の騒音・振動
11. 不満だった点は特にない
12. その他（⑬）

⑬（問10）豊中市にお住まいになって、満足されましたか。

1. 満足 2. どちらかといえば満足 3. どちらかといえば不満足 4. 不満足

⑭（問11）もし機会があれば、豊中市にもう一度住みたいと思われませんか。

1. 住みたい 2. 住みたいと思わない 3. わからない
4. 状況が変われば住みたい

（どういう状況になったら住みたいですか：

⑮

）

以上でアンケートは終わりです。ご協力いただき、誠にありがとうございました。